

錦江町

創生総合戦略等の策定に係る町民アンケート
調査報告書

平成 27 年 7 月

鹿児島県 錦江町

～ 目 次 ～

第1章 調査概要	1
I 調査の目的	3
II 調査の設計	3
III 調査結果利用上の注意	3
IV マトリックス分析について	4
V 調査回答者の属性	5
第2章 調査結果概要	7
I 国との比較	9
1. まち・ひと・しごと創生総合戦略との比較	9
II 錦江町の状況	10
1. 産業について	10
2. 出生について	11
III 錦江町への定住・移住意向	12
1. 定住・移住意向について	12
2. 錦江町で生活したいと思う理由	13
3. 錦江町で生活したいと思わない理由	13
IV 錦江町に求められている施策	14
1. 創生総合戦略関連施策への評価	14
2. 錦江町総合振興計画・基本計画への評価	16
第3章 調査結果	19
I 仕事について	21
1. 現在の状況	21
2. 今後の希望	24
II 高校生の進路希望について	27
1. 就学状況	27
2. 高校卒業後の進路希望	29
3. 将来希望する職業	30
III 結婚・出産・子育てについて	31
1. 結婚・出産・子育ての状況	31
2. 夫婦の出生希望	37
3. 独身者の結婚・出生希望	41
IV 観光について	43
1. 観光の状況	43
V 地域に対するイメージについて	45
1. 地域に対するイメージ	45
2. 高校生の錦江町に対するイメージ	48

VI 錦江町への定住・移住について	49
1. 転出の状況	49
2. 転入の状況	52
3. 定住・移住意向	54
4. 錦江町への評価	58
VII 自由意見	62

第 1 章 調査概要

I 調査の目的

錦江町創生総合戦略を策定するにあたり、総合戦略策定のための基礎資料にすることを目的とする。

II 調査の設計

調査期間は平成27年6月

調査対象者の抽出は、調査種類毎に無作為抽出にて行った。

調査方法等については、下表の通りである。

調査種類	町民 アンケート	高校生（15～18歳） アンケート	転出者 アンケート
調査対象	平成27年3月31日時点で18～69歳の町民	平成27年3月31日時点で15～17歳の町民	錦江町からの転出者
調査方法	郵送配布、郵送回収		
配布数 (宛先不明分を除く)	1,000件	185件	235件
回収数	349件	52件	61件
有効回答数	348件	52件	60件
有効回答率	34.8%	28.1%	25.5%

III 調査結果利用上の注意

- ・ 回答率は百分比の小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
- ・ 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を越える。
- ・ 数表、図表は、スペースの都合上、文言を省略している場合がある。

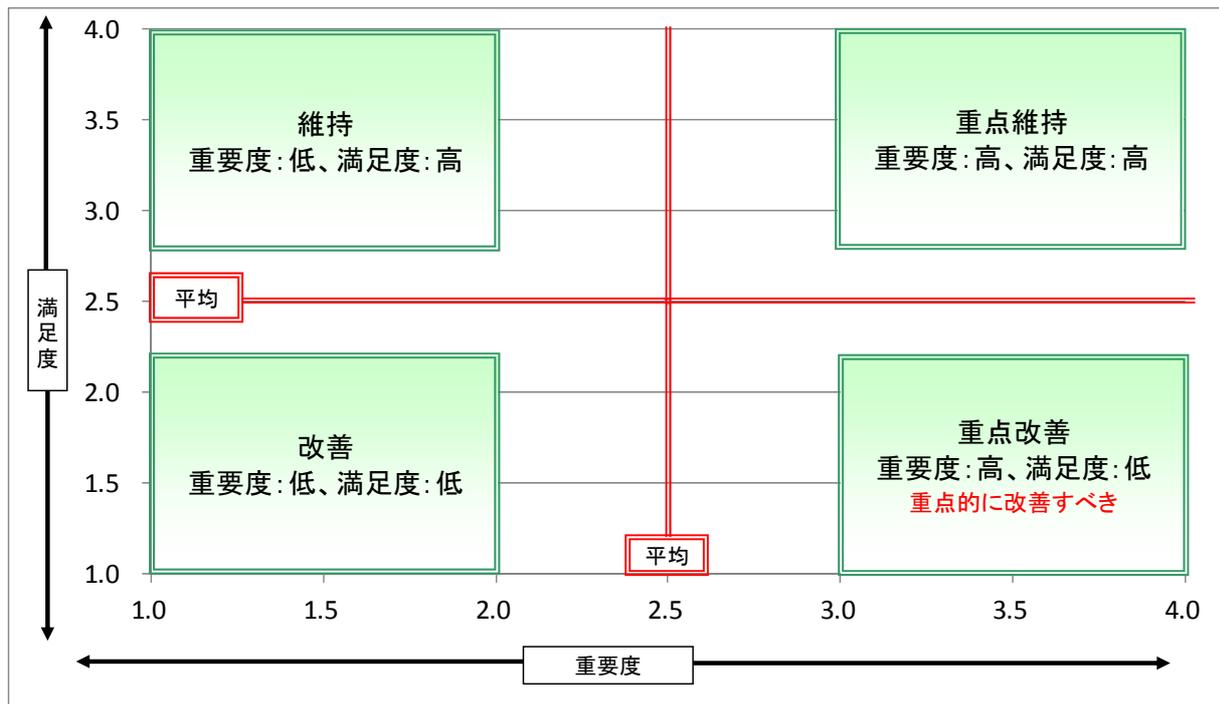
IV マトリックス分析について

施策への満足度や重要度の評価に関する設問においては、各施策への回答を1～4点（低→高）として数値化を行い、分析を行った。

全施策の平均値を基準に、

- ①満足度が平均値を下回っている
- ②重要度が平均値を上回っている

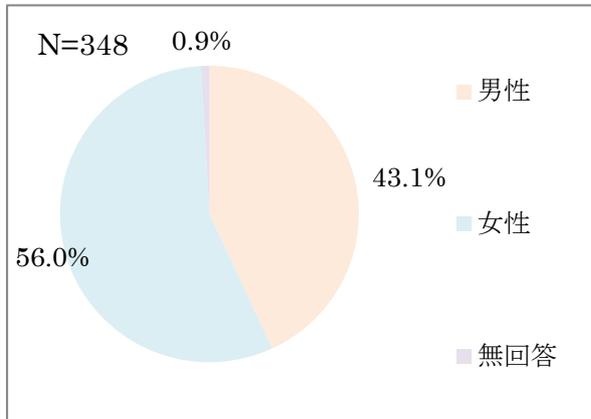
のどちらにも該当する施策を重点的に取り組む必要がある施策（重点改善施策）とした。



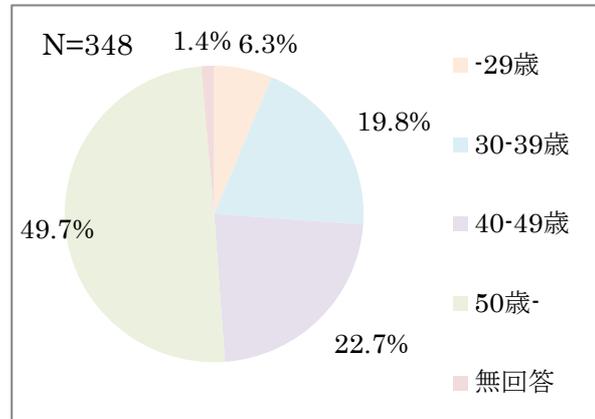
V 調査回答者の属性

1. 町民アンケート

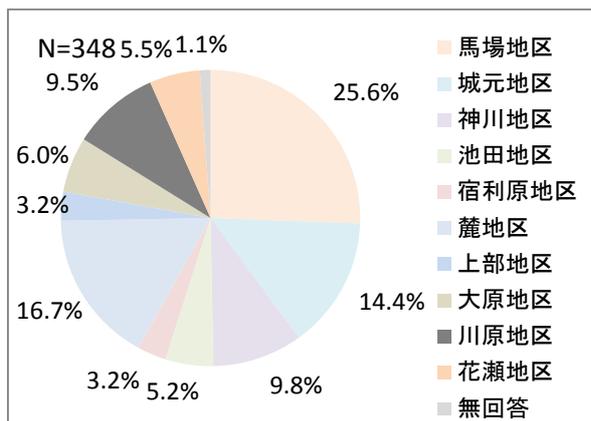
・性別



・年齢

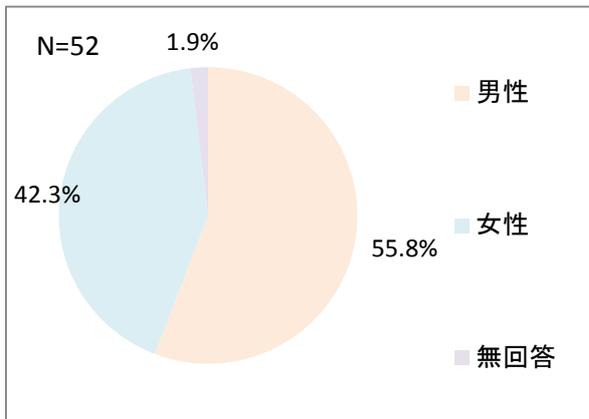


・居住地

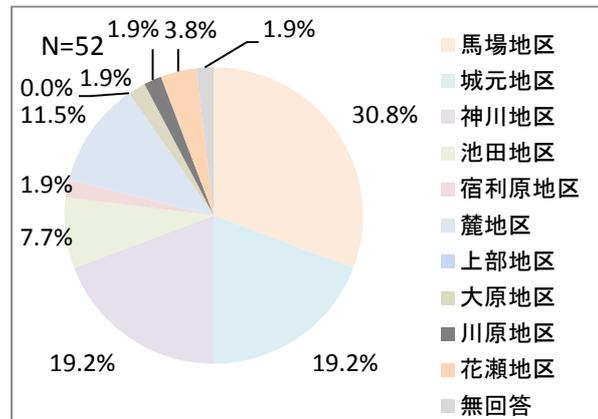


2. 高校生（15～18歳）アンケート

・性別

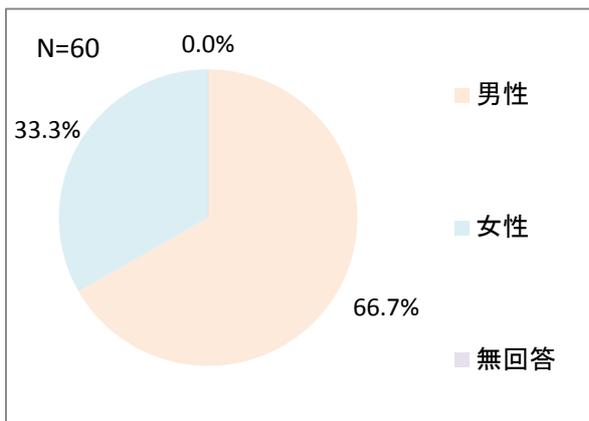


・居住地

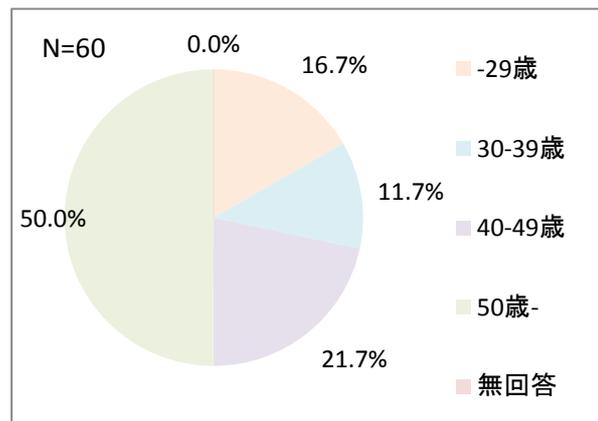


3. 転出者アンケート

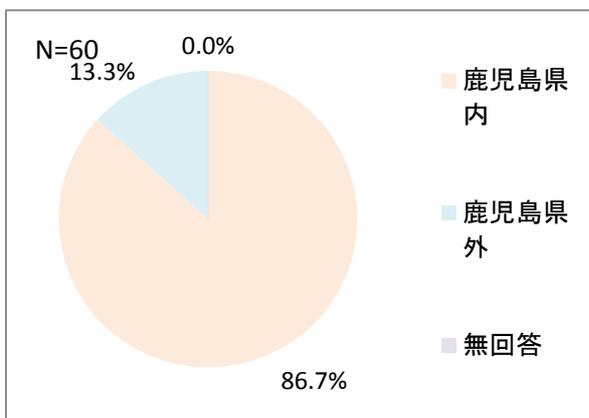
・性別



・年齢



・居住地



第 2 章 調査結果概要

I 国との比較

1. まち・ひと・しごと創生総合戦略との比較

今回の調査結果より、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略において設定されているKPI（評価指標）と比較可能な数値について、国の現状値との比較を行った。

結果は以下のとおりである。

※国の現状値は国のまち・ひと・しごと創生総合戦略より

指標	錦江町	国	
		現状値	目標
◎若い世代の正規雇用労働者等(自らの希望による非正規雇用労働者を含む)の割合※1	18～34歳 83.0% すべての世代 85.5%※2	15～34歳 92.2%(H25) すべての世代 93.4%(H25)	全ての世代と同水準を目指す
◎安心して結婚・妊娠・出産・子育てできるような社会を達成していると考えている人の割合※3	20～59歳 38.3%	20～59歳 19.4%(H25)	40%以上
◎夫婦子ども数予定実績指標※4	102% ※5	93%(H22)	95%
三世代同居・近居の希望に対する実現比率 【参考】祖母(夫婦の母親)との同居・近居・別居別子ども数※6 (同居:2.09、近居:1.99、別居1.84)	71.3% ※7	-	向上させる
週労働時間 60 時間以上の雇用者の割合	5.0%	8.8%(H25)	5%
年次有給休暇取得率※8	27.4%	48.8%(H25)	70%
子育てにかかる経済的負担として大きいと思われるものとして「保育所・幼稚園・認定こども園にかかる費用」を挙げる人の割合	20～59歳 39.3%	20～59歳 39.1%(H24)	低下させる

※1 ◎は国の基本目標において設定されたKPIを示す。(以下同じ)

※2 一般職員・正社員の割合+正規雇用の希望がない派遣社員・契約社員、パートタイマー・アルバイトの割合より算出

※3 「安心して妊娠・出産できるような社会」の達成度について、「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合

※4 初婚同士の夫婦の平均予定子ども数(完結出生児数の調査対象となる夫婦(対象者は妻)が調査対象であった期間の平均)に対する完結出生児数(結婚持続期間15～19年の夫婦の子ども数)の比率

※5 完結出生児数の調査対象となる夫婦(対象者は妻)の結婚時の平均予定子ども数に対する完結出生児数(結婚持続期間15～19年の夫婦の子ども数)の比率より算出

※6 出生動向基本調査より

※7 三世代もしくは(現在子どもと住んでいる、かつ、親との同居を望んでいるもしくは親の近くに住んでいる)二世帯の世帯のうち、(子どもと住んでいる、かつ、親との同居を望んでいる)二世帯の世帯を除いた割合より算出

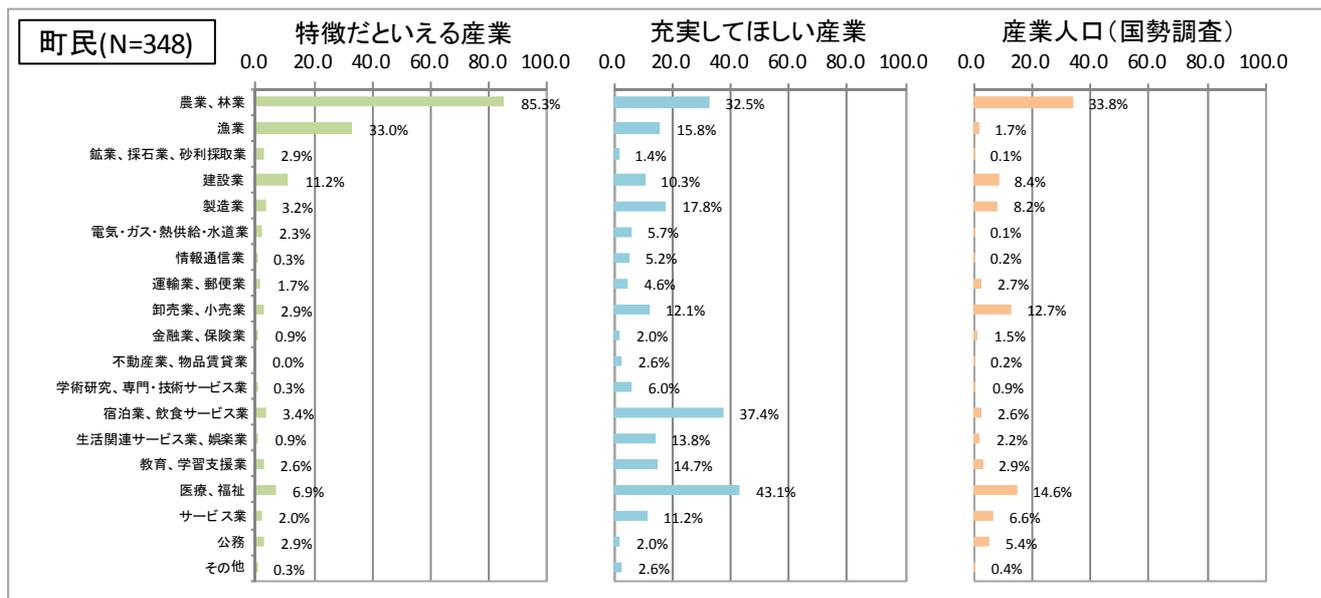
※8 取得日数/付与日数

II 錦江町の状況

1. 産業について

錦江町の産業の状況については、産業人口は「農業、林業」が33.8%と最も多くなっている。特徴だといえる産業については、「農業、林業」が85.3%と大多数を占めている。

一方、充実して欲しい産業については、「医療、福祉」が43.1%と最も多く、次いで、「宿泊業、飲食サービス業」の37.4%、「農業、林業」の32.5%の順となっている。

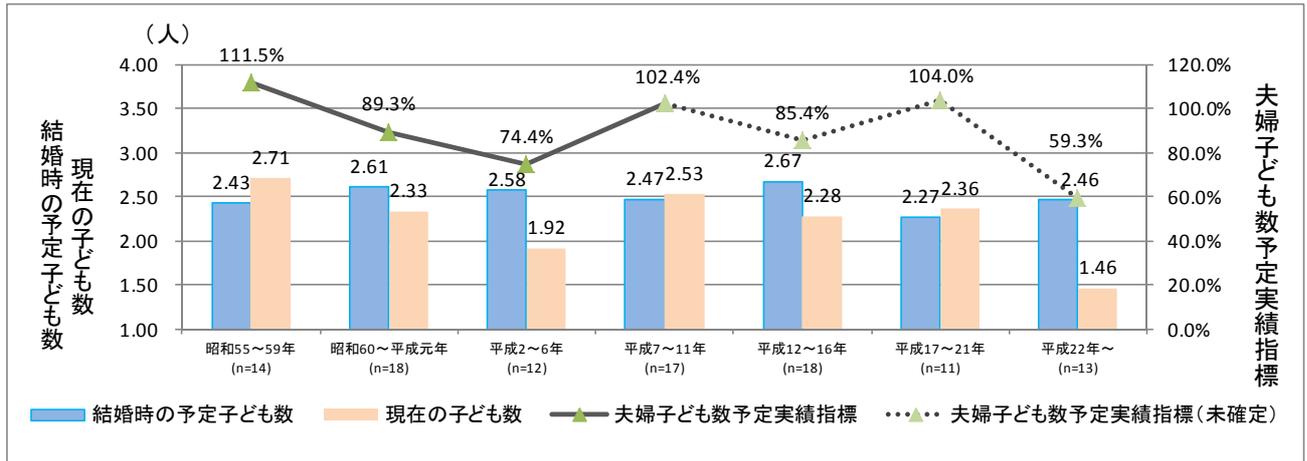


2. 出生について

夫婦子ども数予定実績指標を結婚した年代別にみると、数値が確定している直近値である平成7～11年に結婚した夫婦の値は102.4%となっており、国の直近値93%を上回っている。

※夫婦子ども数予定実績指標…出生動向基本調査において、結婚15～19年の夫婦の子ども数を完結出生児数として、その夫婦（調査対象は妻）の調査対象期間における予定子ども数の平均値との比率によって算出される値。本市においては、結婚時の予定子ども数との比率を用いて算出を行った。

※平成12年以降に結婚した夫婦は結婚後15年が経過していないため、夫婦子ども数予定実績指標は未確定値である。



III 錦江町への定住・移住意向

1. 定住・移住意向について

錦江町への今後の定住・移住意向について、町民の52.6%が今後も錦江町に住み続けたいと回答している一方、41.4%が市外に移り住みたいまたは分からないと回答している。

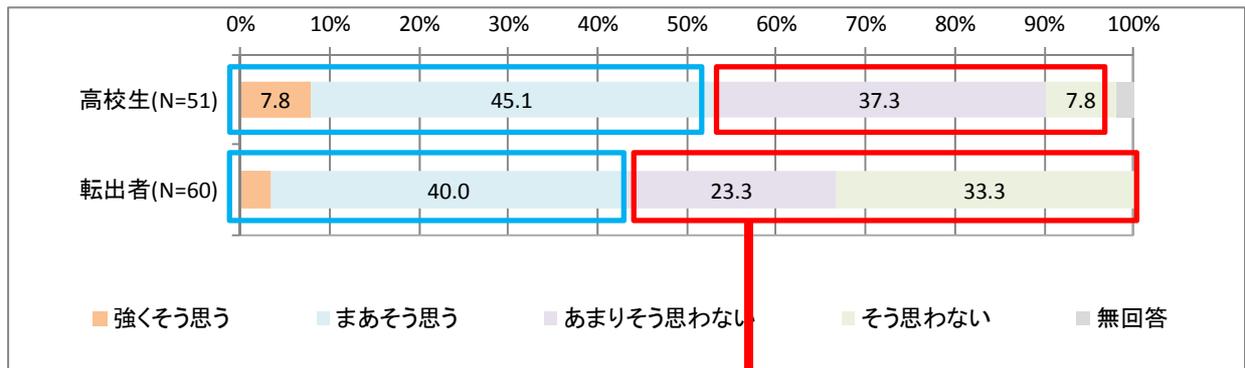
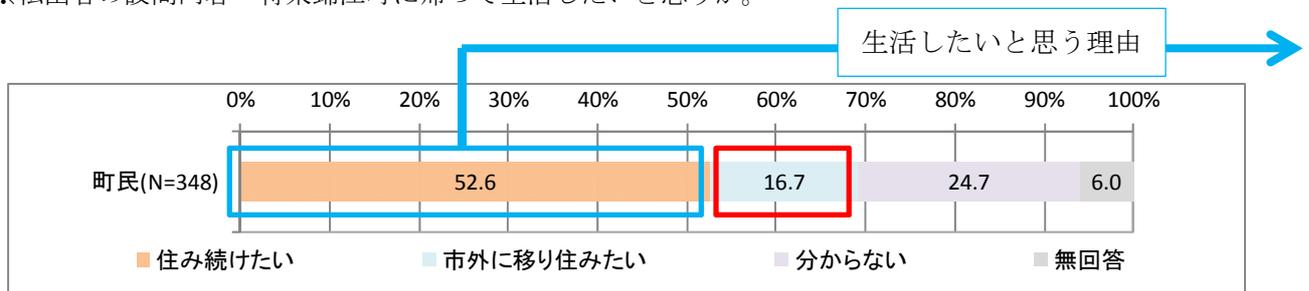
高校生においては、52.9%が将来錦江町で生活したいと考えている一方、45.1%がそう思わないと回答している。

転出者においては、43.3%が将来錦江町に帰って生活したいと考えている一方、56.6%がそう思わないと回答している。

※町民の設問内容…これからも錦江町に住み続けたいと思うか。

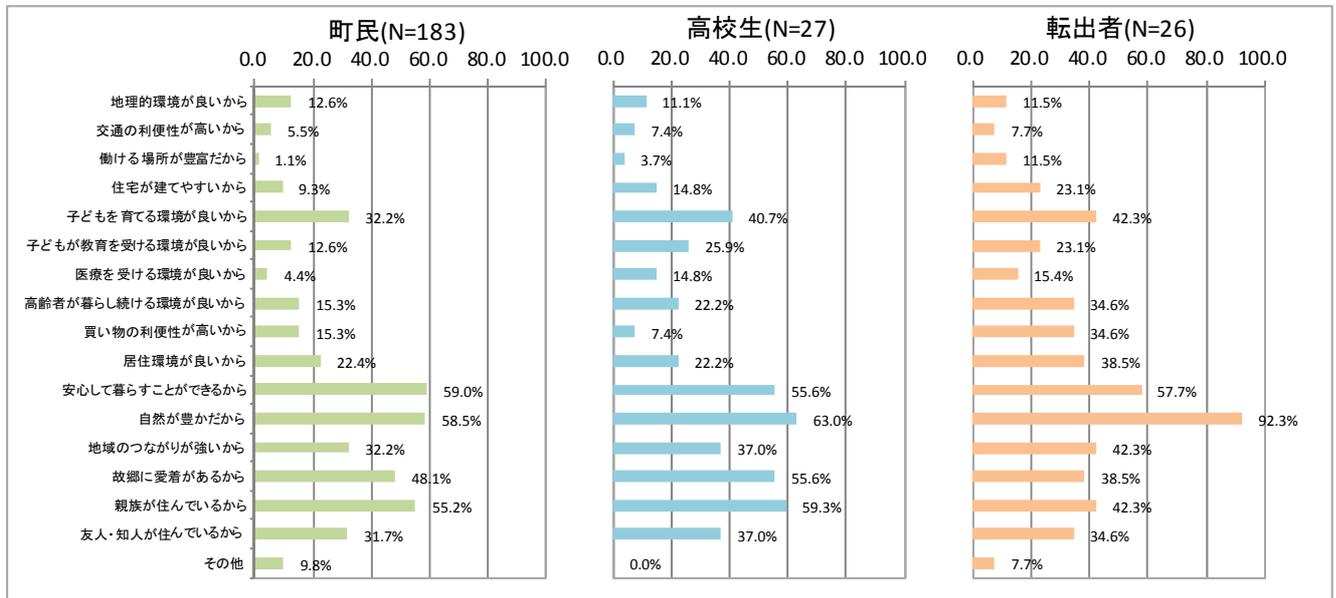
※高校生の設問内容…進学・就職で市外へ転出した場合でも将来錦江町で生活したいと思うか。

※転出者の設問内容…将来錦江町に帰って生活したいと思うか。



2. 錦江町で生活したいと思う理由

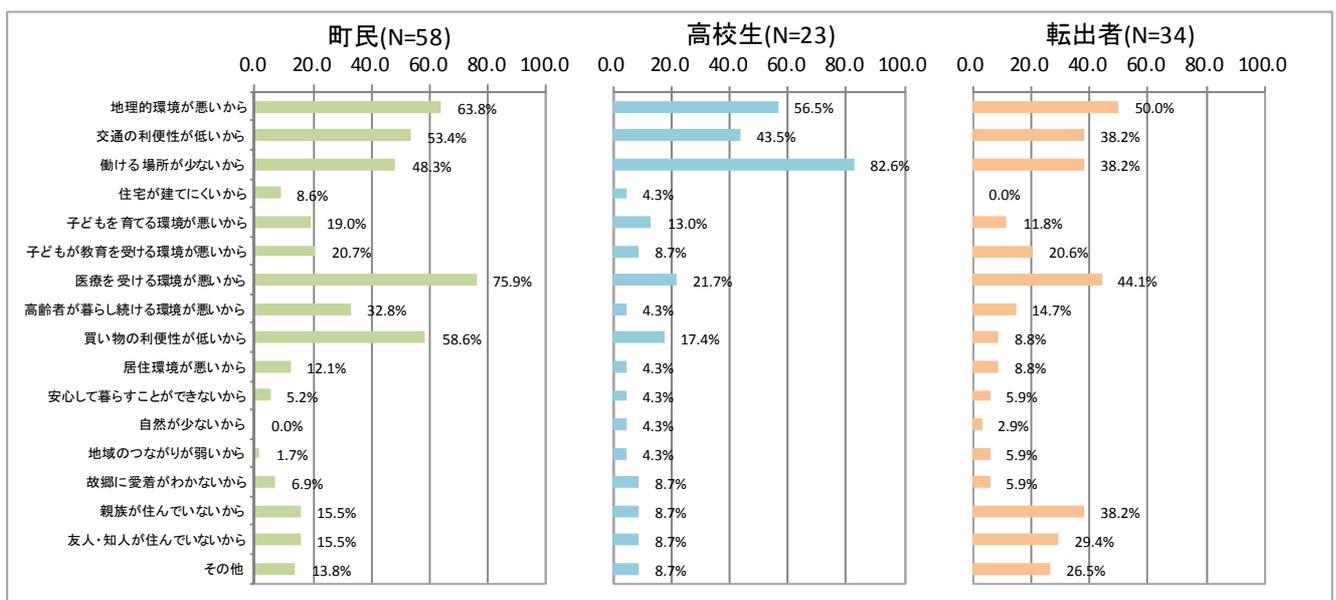
錦江町で生活したいと思う理由として、3種類の調査すべてにおいて「安心して暮らすことができるから」「自然が豊かだから」「親族が住んでいるから」が上位3項目として挙げられた。



3. 錦江町で生活したいと思わない理由

錦江町で生活したいと思わない理由として、町民の「医療を受ける環境が悪いから」、高校生の「働ける場所が少ないから」、転出者の「地理的環境が悪いから」がそれぞれ最も多くなっている。

「地理的環境が悪いから」は3種類の調査すべてにおいて上位3項目として挙げられた。



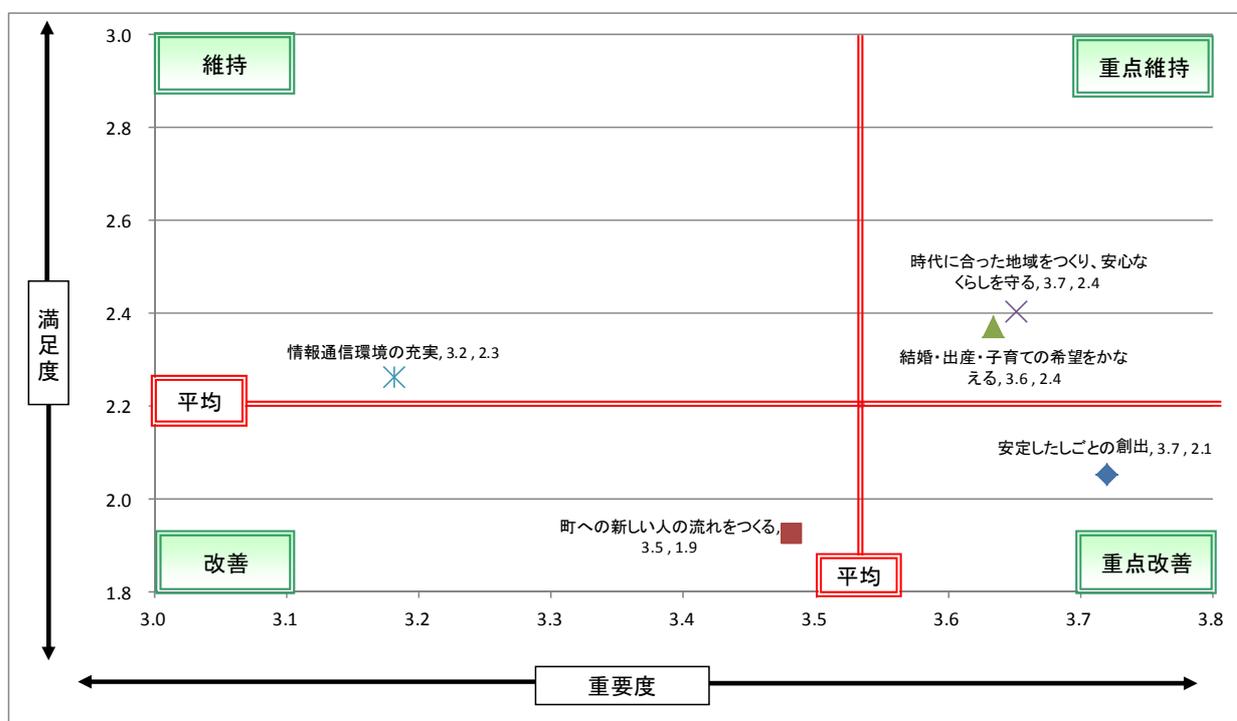
IV 錦江町に求められている施策

「錦江町に住みたい・住み続けたいまちづくり」という観点から、錦江町に求められている施策の抽出を行った。

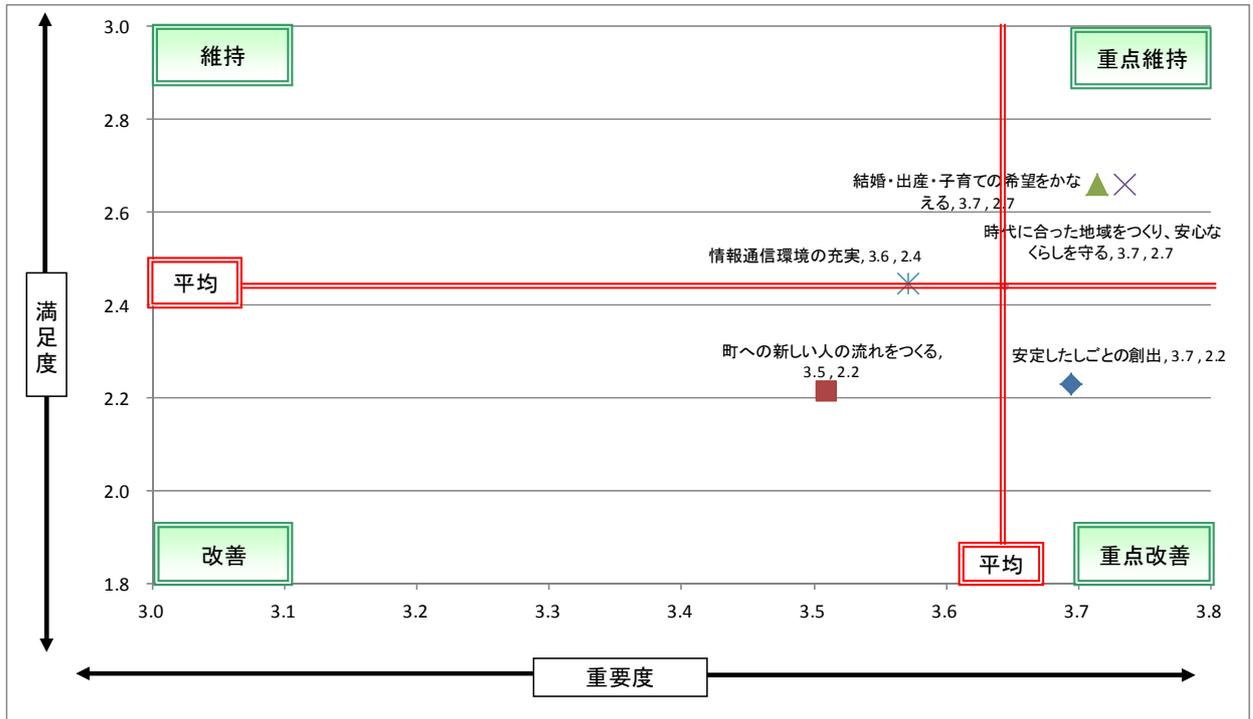
1. 創生総合戦略関連施策への評価

錦江町創生総合戦略策定において、現在検討している6つの施策のうち、「安定したしごとの創出」は3種類の調査すべてにおいて重点改善として抽出され、重点的に施策に取り組む必要があると考えられる。

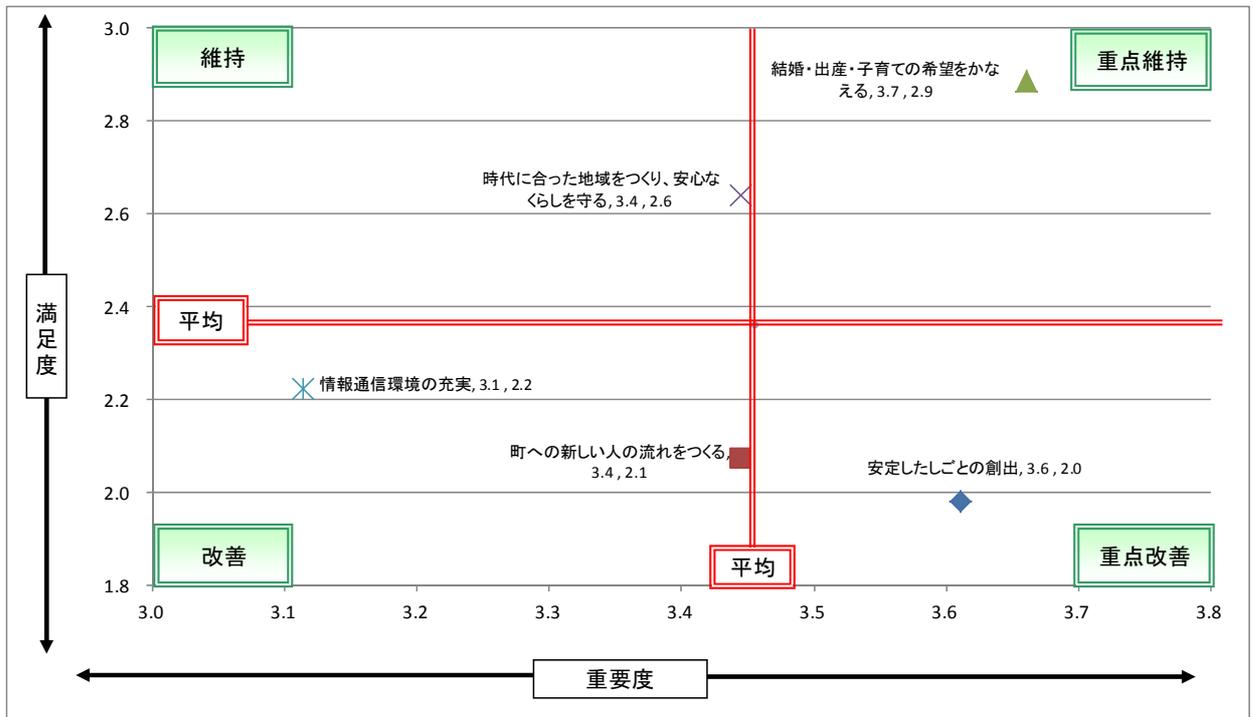
・町民



・高校生



・転出者

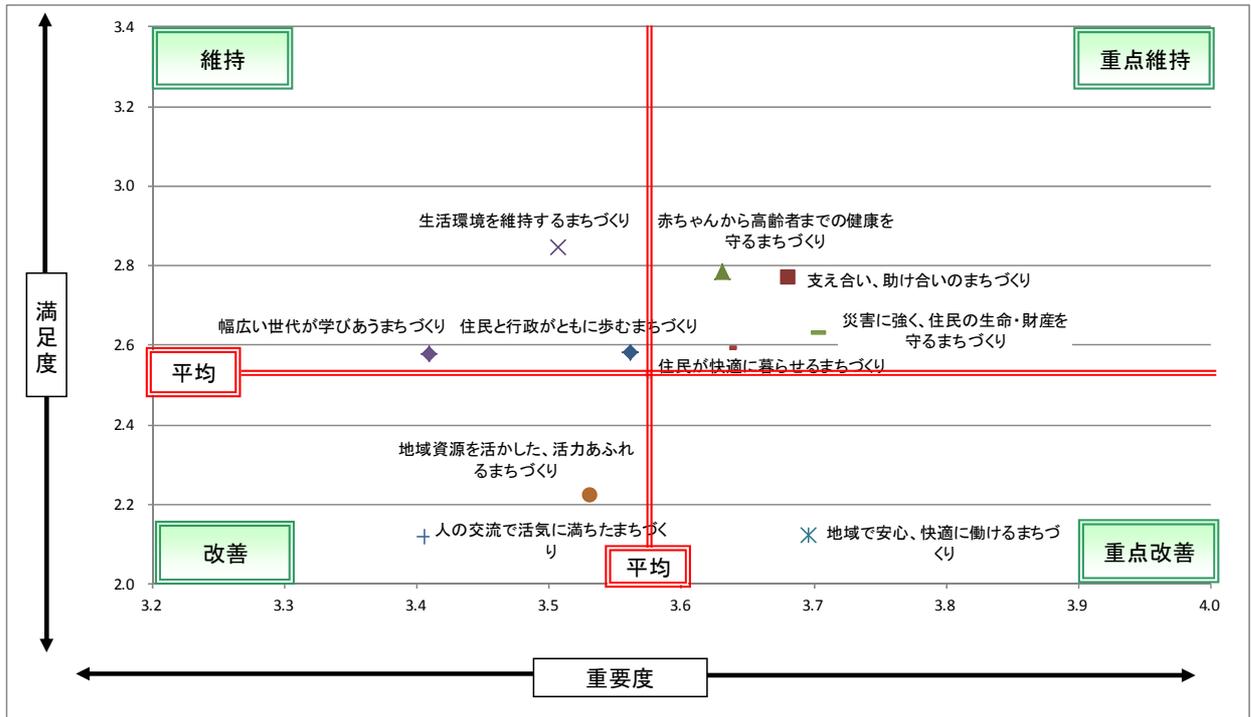


2. 錦江町総合振興計画・基本計画への評価

錦江町総合振興計画で掲げられた10の基本計画のうち、「地域で安心、快適に働けるまちづくり」「災害に強く、住民の生命・財産を守るまちづくり」が重点改善として抽出された。

錦江町総合振興計画・基本計画
①住民と行政がともに歩むまちづくり
②支え合い、助け合いのまちづくり
③赤ちゃんから高齢者までの健康を守るまちづくり
④生活環境を維持するまちづくり
⑤地域で安心、快適に働けるまちづくり
⑥地域資源を活かした、活力あふれるまちづくり
⑦人の交流で活気に満ちたまちづくり
⑧住民が快適に暮らせるまちづくり
⑨災害に強く、住民の生命・財産を守るまちづくり
⑩幅広い世代が学びあうまちづくり

・町民



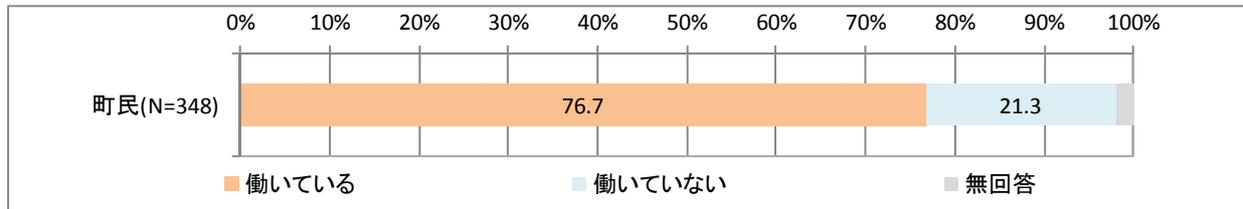
第 3 章 調査結果

I 仕事について

1. 現在の状況

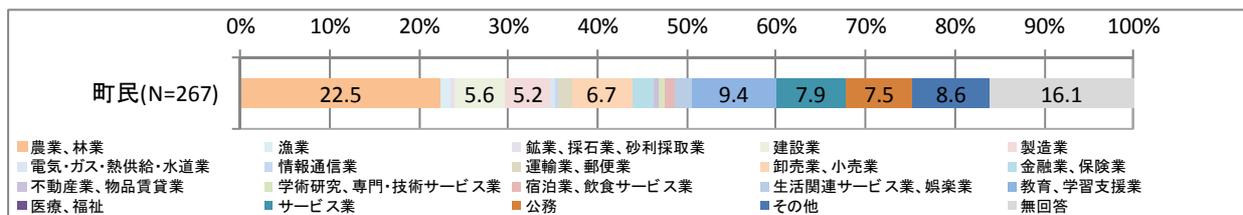
(1) 現在働いていますか。(町民・問9)

「働いている」が76.7%、「働いていない」が21.3%となっている。



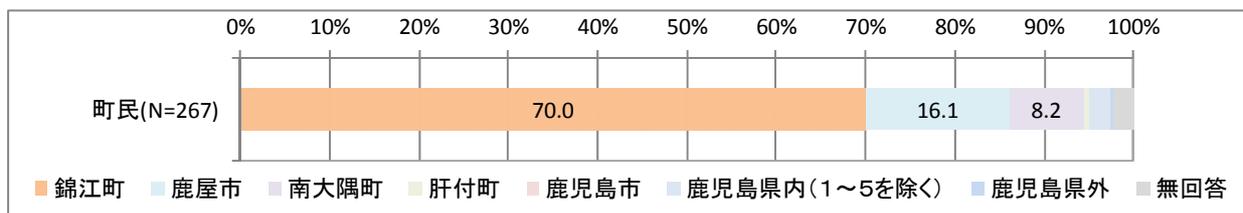
(2) 現在の職業 (町民・問10)

無回答を除くと「農業、林業」が22.5%と最も多く、次いで、「教育、学習支援業」9.4%の順となっている。



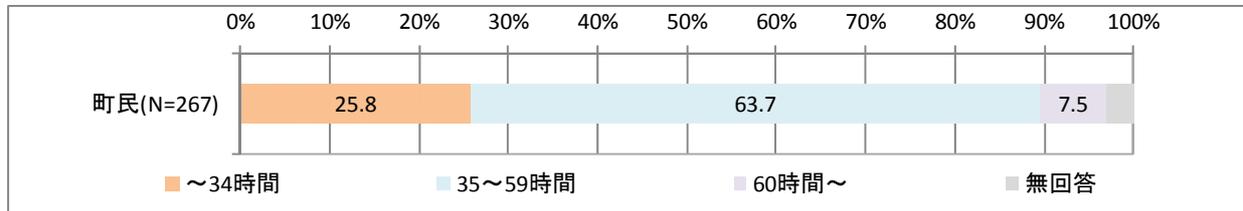
(3) 勤務場所 (町民・問11)

「錦江町」が70.0%と最も多く、次いで、「鹿屋市」の16.1%、「南大隅町」の8.2%の順となっている。



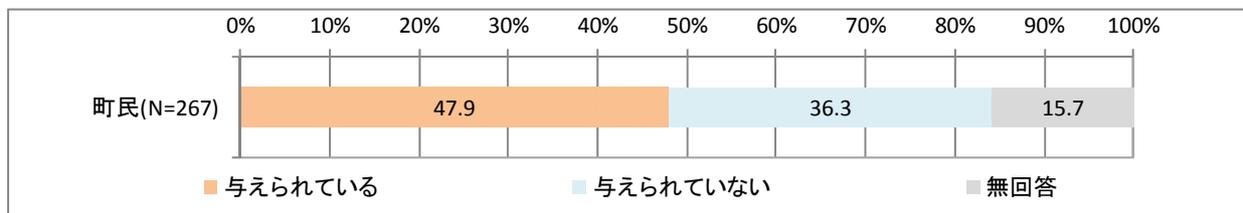
(4) 1週間あたりの労働時間（町民・問12）

「35～59時間」が63.7%と最も多く、次いで、「～34時間」の25.8%、「60時間～」の7.5%の順となっている。



(5) 有給休暇の有無（町民・問13）

「与えられている」が47.9%、「与えられていない」が36.3%となっている。

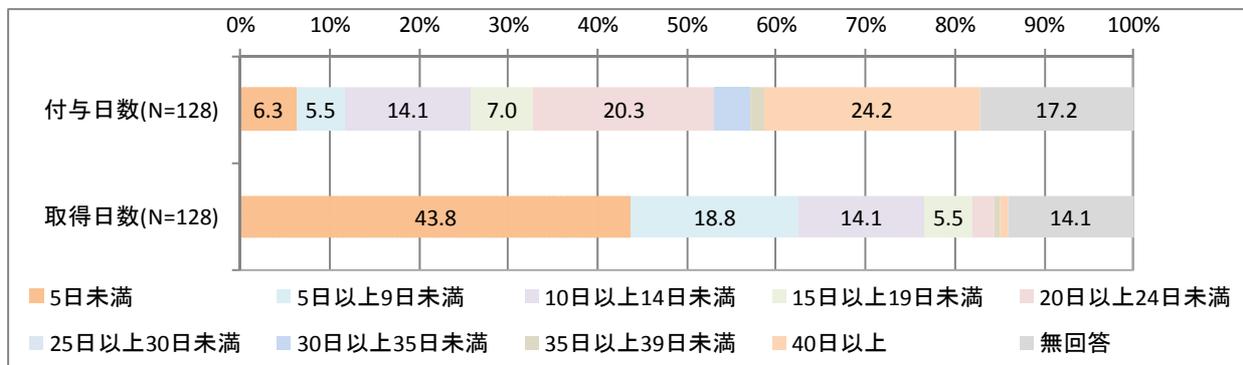


(6) 有給休暇の付与日数と取得日数（町民・問13-1）

付与日数においては、「40日以上」が24.2%と最も多く、次いで、「20日以上24日未満」の20.3%の順となっている。

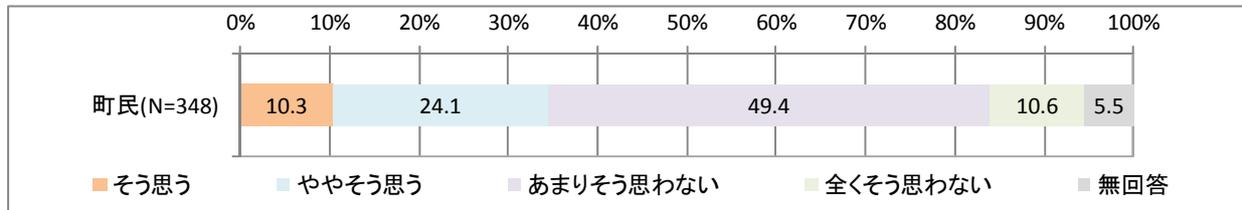
取得日数においては、「5日未満」が43.8%と最も多く、次いで、「5日以上9日未満」の18.8%の順となっている。

付与日数に対する取得日数の割合は、27.4%となっており、全国値（48.8%）を大きく下回っている。



(7) 現在の錦江町は働き続けることができる環境にあると思いますか。(町民・問16)

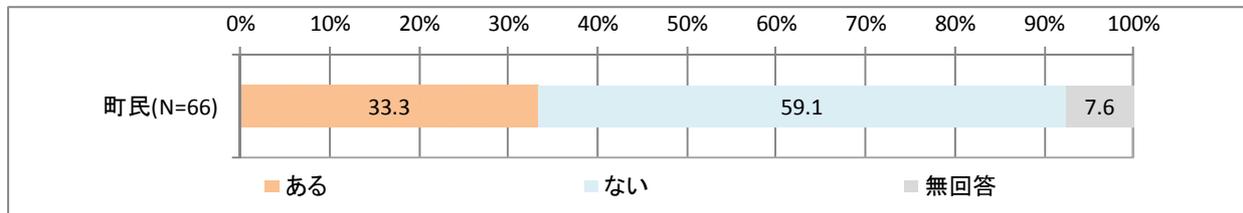
「あまりそう思わない」が49.4%と最も多く、次いで、「ややそう思う」の24.1%、「全くそう思わない」の10.6%の順となっており、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合は34.4%にとどまっている。



2. 今後の希望

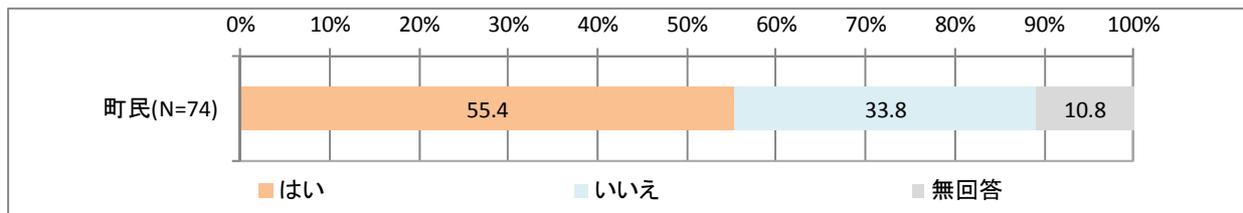
(1) (現在、派遣社員・契約社員、パート・アルバイトの方) 一般職員・正社員等での雇用希望 (町民・問14)

「ない」が59.1%、「ある」が33.3%となっている。



(2) (現在、働いていない方) 今後働くことを希望しますか。(町民・問15)

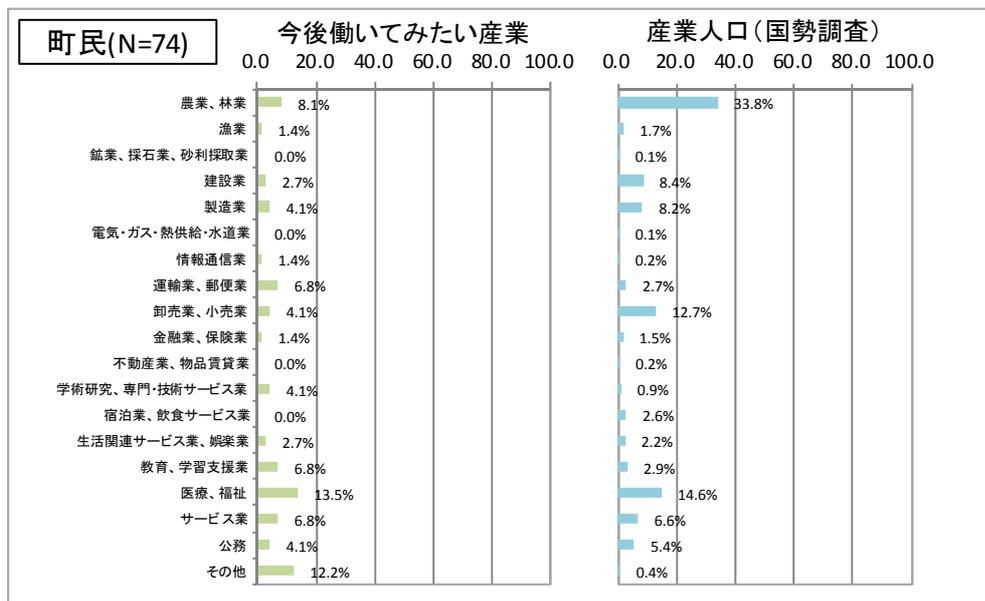
「はい」が55.4%、「いいえ」が33.8%となっている。



(3) (現在、働いていない方) 今後、働いてみたい職業 (町民・問10)

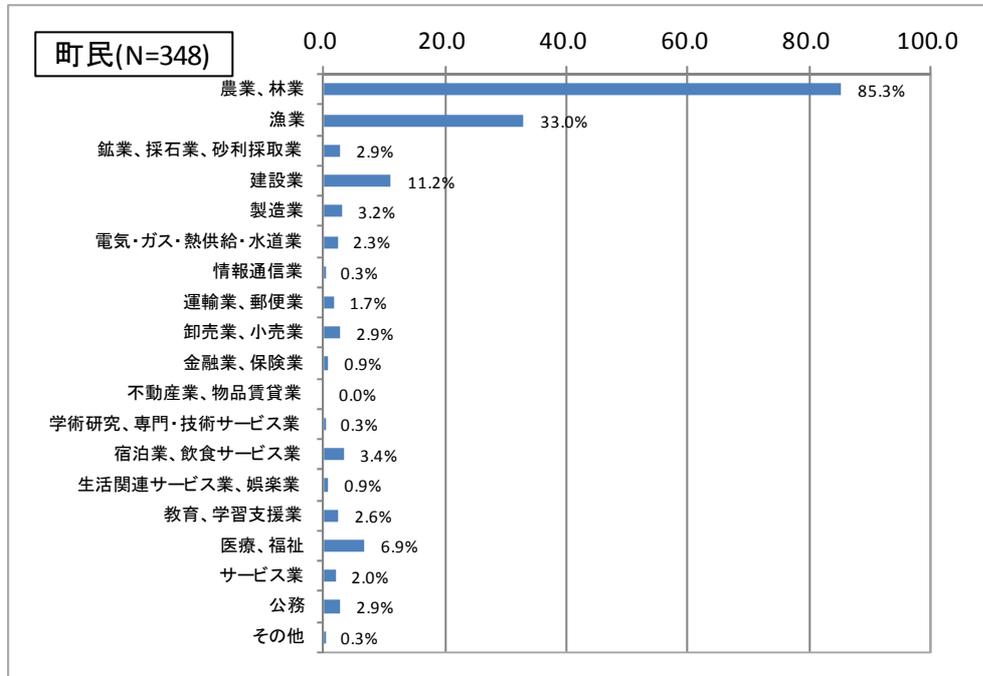
「医療、福祉」が13.5%と最も多く、次いで、「その他」の12.2%、「農業、林業」の8.1%の順となっている。

国勢調査の産業人口と比較すると、「農業、林業」「卸売業、小売業」の割合が低く、「医療、福祉」の割合が高くなっている。



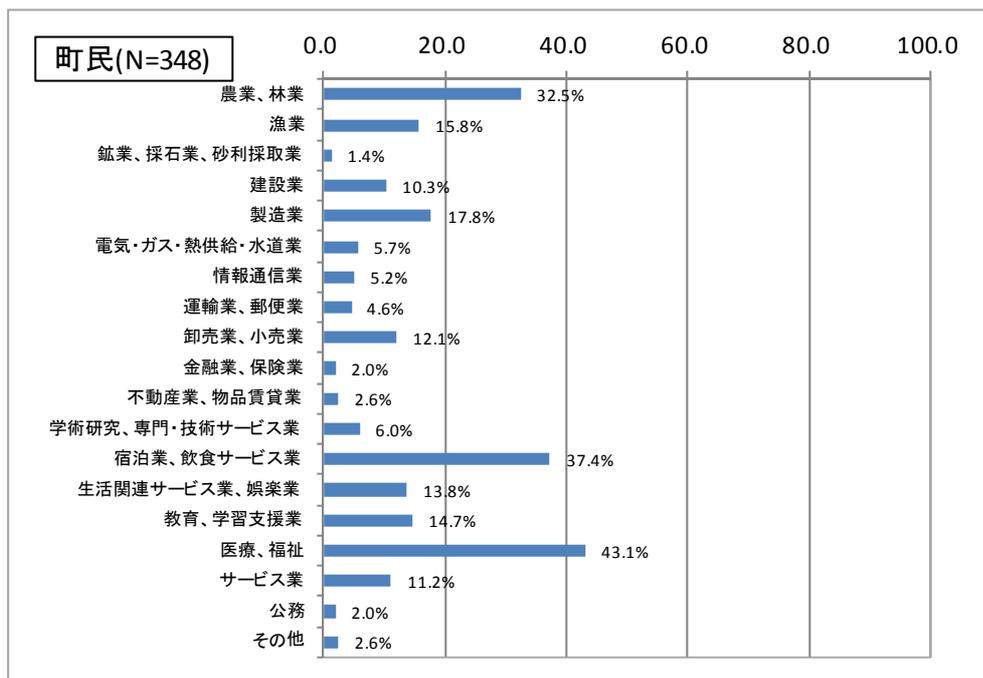
(4) 錦江町の特徴だといえる産業（町民・問17）

「農業、林業」が85.3%と最も多く、次いで、「漁業」の33.0%、「建設業」の11.2%の順となっている。



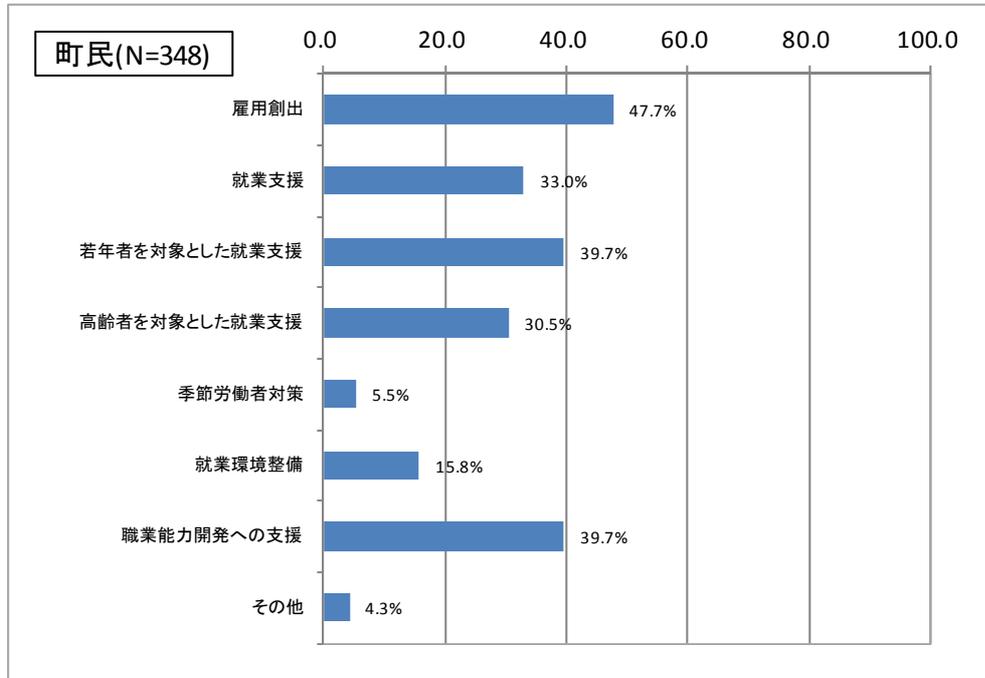
(5) 錦江町に充実してほしい産業（町民・問17）

「医療、福祉」が43.1%と最も多く、次いで、「宿泊業、飲食サービス業」の37.4%、「農業、林業」の32.5%の順となっている。



（6）錦江町の雇用を安定・充実させるためにどのような支援策を実施すれば良いと思いますか。（町民・問18）

「雇用創出」が47.7%と最も多く、次いで、「若年者を対象とした就業支援」「職業能力開発への支援」の39.7%の順となっている。

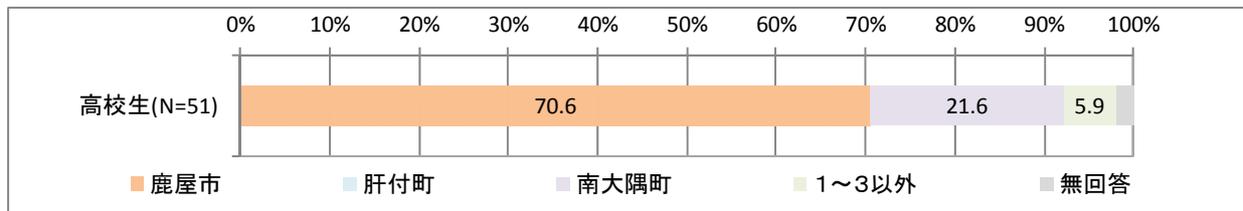


II 高校生の進路希望について

1. 就学状況

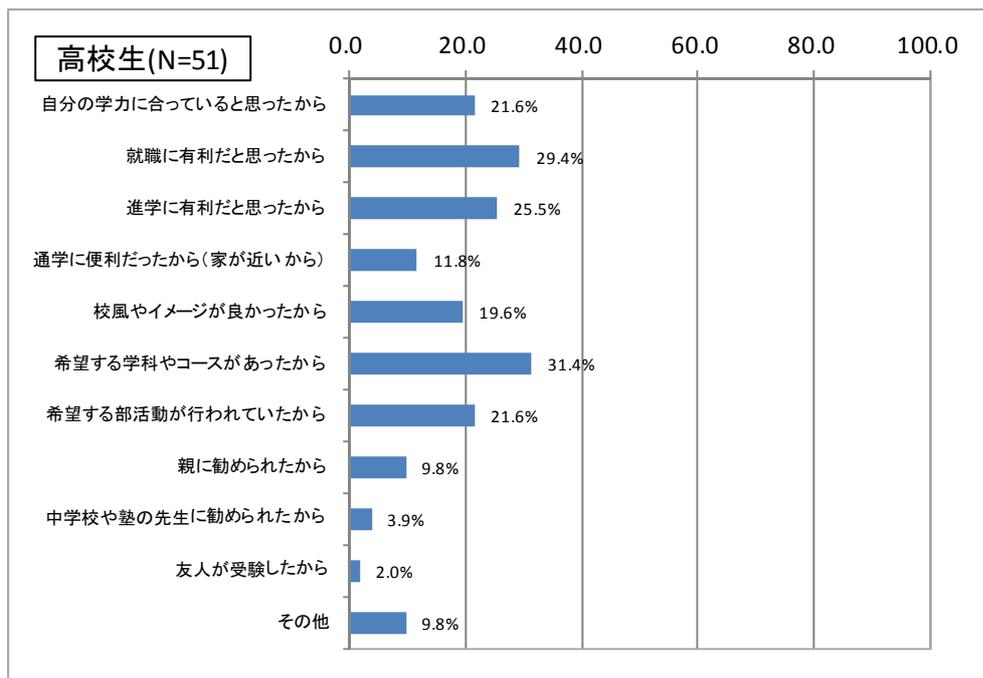
(1) 高校所在地（高校生・問5）

「鹿屋市」が70.6%と最も多く、次いで、「南大隅町」の21.6%の順となっている。



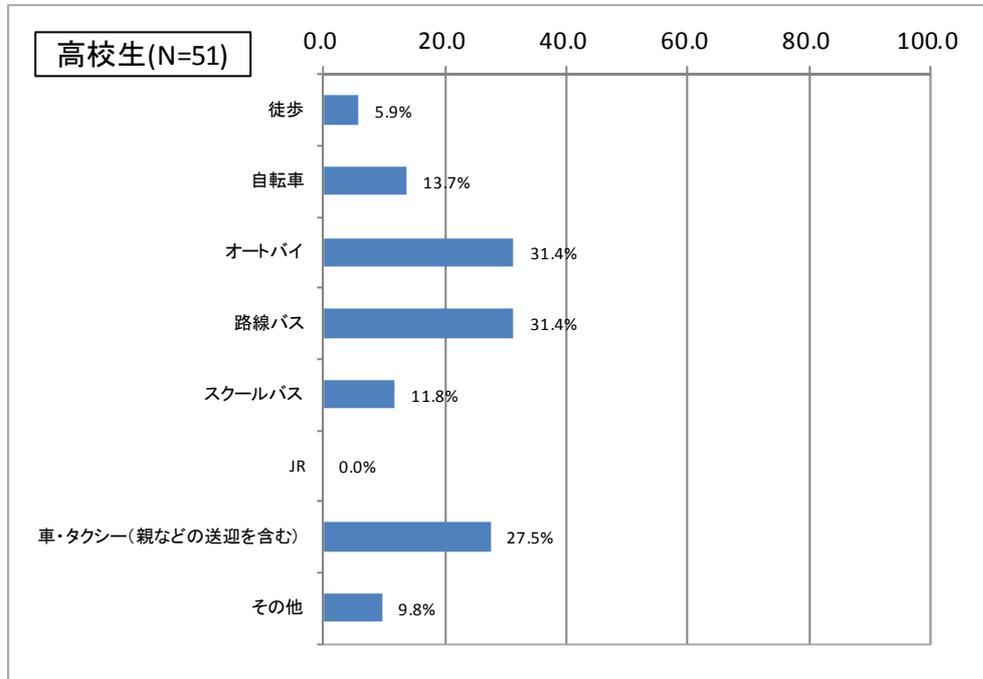
(2) 高校を選んだ理由（高校生・問6）

「希望する学科やコースがあったから」が31.4%と最も多く、次いで、「就職に有利だと思ったから」の29.4%、「進学に有利だと思ったから」の25.5%の順となっている。



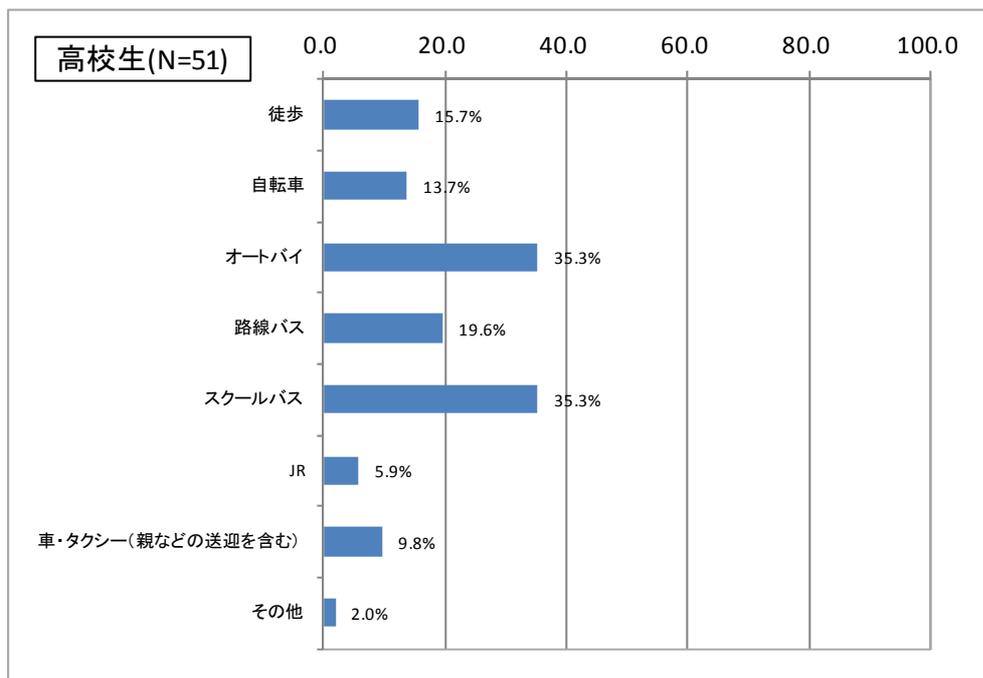
(3) 通学方法（高校生・問7）

「オートバイ」「路線バス」が31.4%と最も多く、次いで、「車・タクシー（親などの送迎を含む）」の27.5%の順となっている。



(4) 希望する通学方法（高校生・問8）

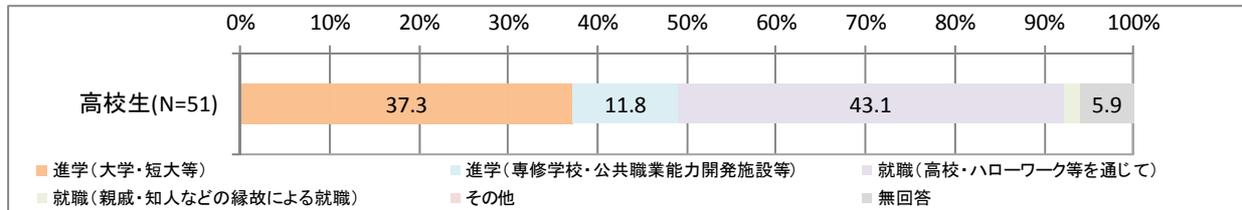
「オートバイ」「スクールバス」が35.3%と最も多く、次いで、「路線バス」の19.6%の順となっており、実際の移動手段と比較して、「スクールバス」の割合が高くなっている。



2. 高校卒業後の進路希望

(1) 高校卒業後の進路について①希望するもの（高校生・問9）

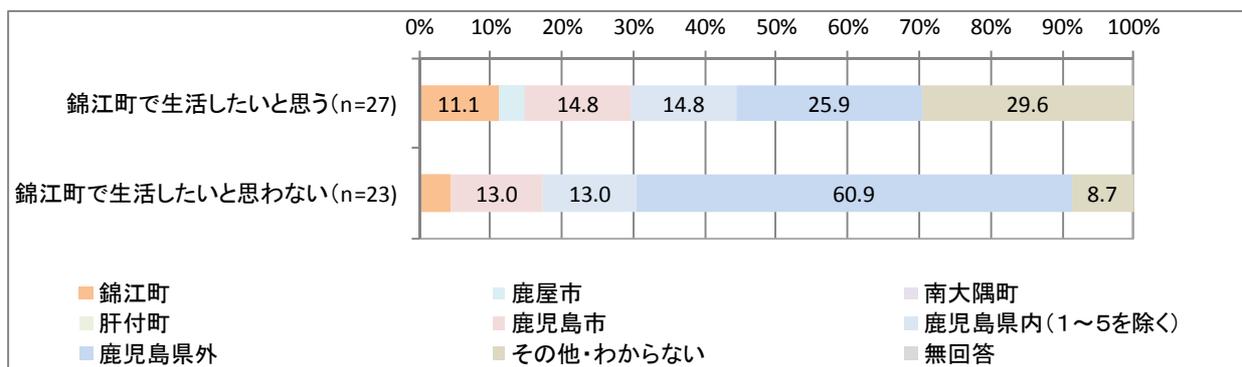
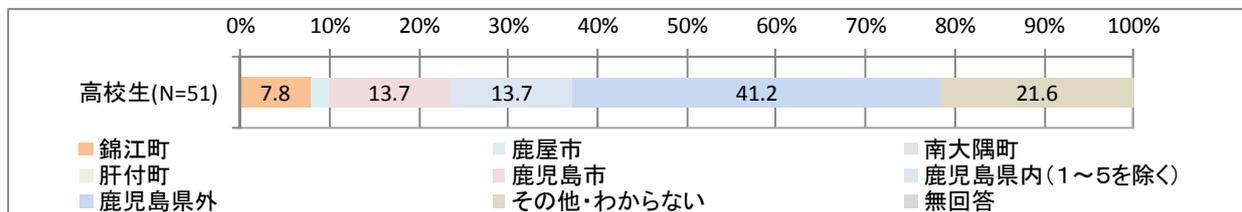
「就職（高校・ハローワーク等を通じて）」が43.1%と最も多く、次いで、「進学（大学・短大等）」の37.3%、「進学（専修学校・公共職業能力開発施設等）」の11.8%の順となっている。



(2) 高校卒業後に住む場所について①希望した進路に進んだ場合（高校生・問10）

「鹿児島県外」が41.2%と最も多く、次いで、「その他・わからない」の21.6%、「鹿児島市」「鹿児島県内（1～5を除く）」の13.7%の順となっている。

将来の居留意向別でみると、錦江町で生活したいと思わない高校生は「鹿児島県外」が60.9%と最も多くなっている一方、錦江町で生活したいと思う高校生は「その他・わからない」が29.6%と最も多くなっている。

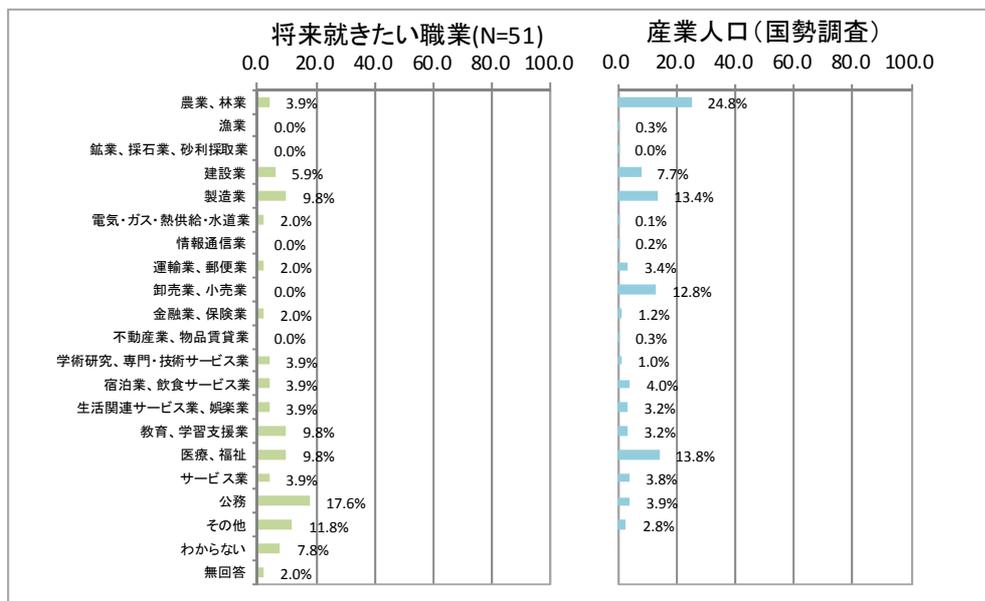


3. 将来希望する職業

(1) 将来就きたい職業（高校生・問13）

「公務」が17.6%と最も多く、次いで、「その他」の11.8%の順となっている。

国勢調査の産業人口と比較すると、「農業、林業」「卸売業、小売業」の割合が低く、「農業、林業」は3.9%、「卸売業、小売業」は0.0%となっている。

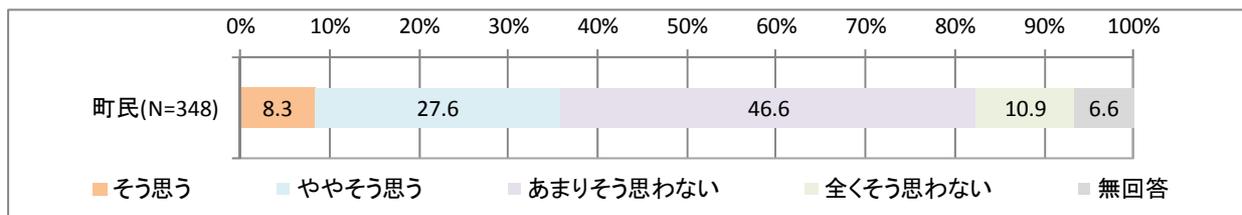


III 結婚・出産・子育てについて

1. 結婚・出産・子育ての状況

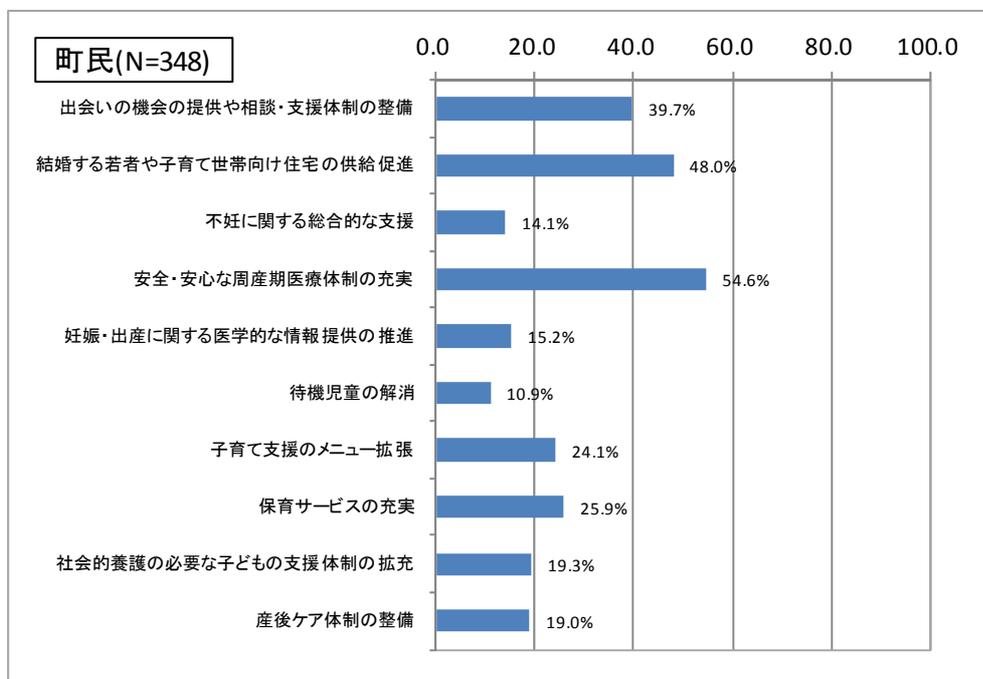
(1) 現在、安心して妊娠・出産できるような環境・社会であると思いますか (町民・問22)

「あまりそう思わない」が46.6%と最も多く、次いで、「ややそう思う」の27.6%、「全くそう思わない」の10.9%の順となっており、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合は35.9%にとどまっている。



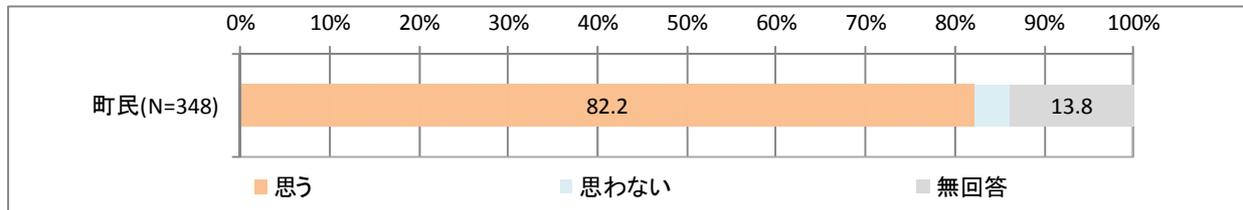
(2) 錦江町で、結婚・出産・子育てをするためにはどのような支援策を実施すれば良いと思いますか。(町民・問23)

「安全・安心な周産期医療体制の充実」が54.6%と最も多く、次いで、「結婚する若者や子育て世帯向け住宅の供給促進」の48.0%、「出会いの機会の提供や相談・支援体制の整備」の39.7%の順となっている。



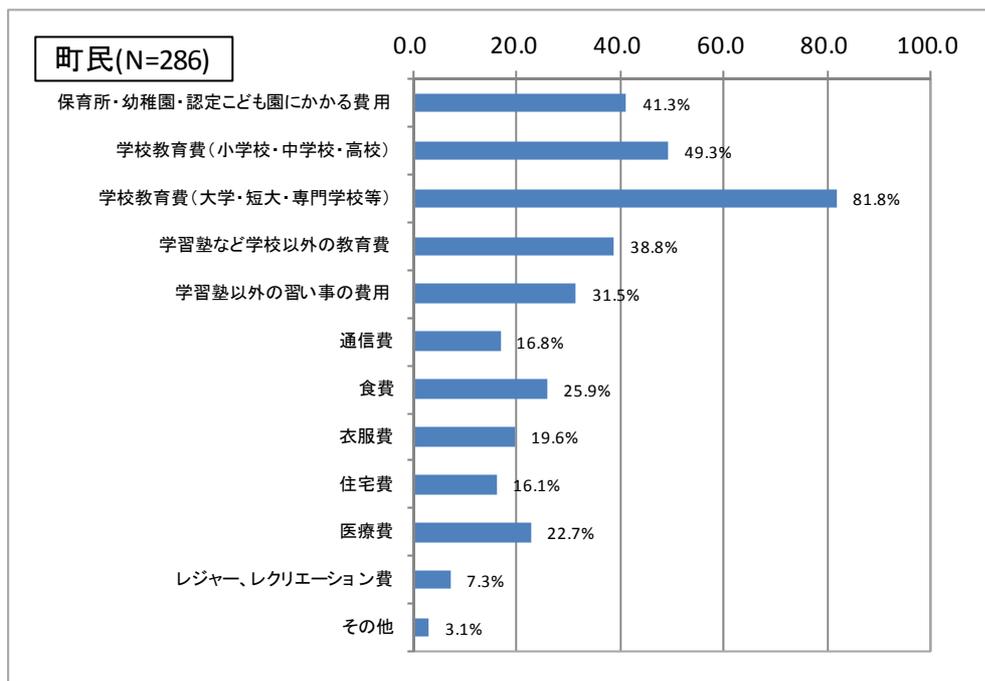
**(3) 子育てをしていく上で経済的負担は大きいと思いますか。
(町民・問 33)**

「思う」が82.2%、「思わない」が4.0%となっている。



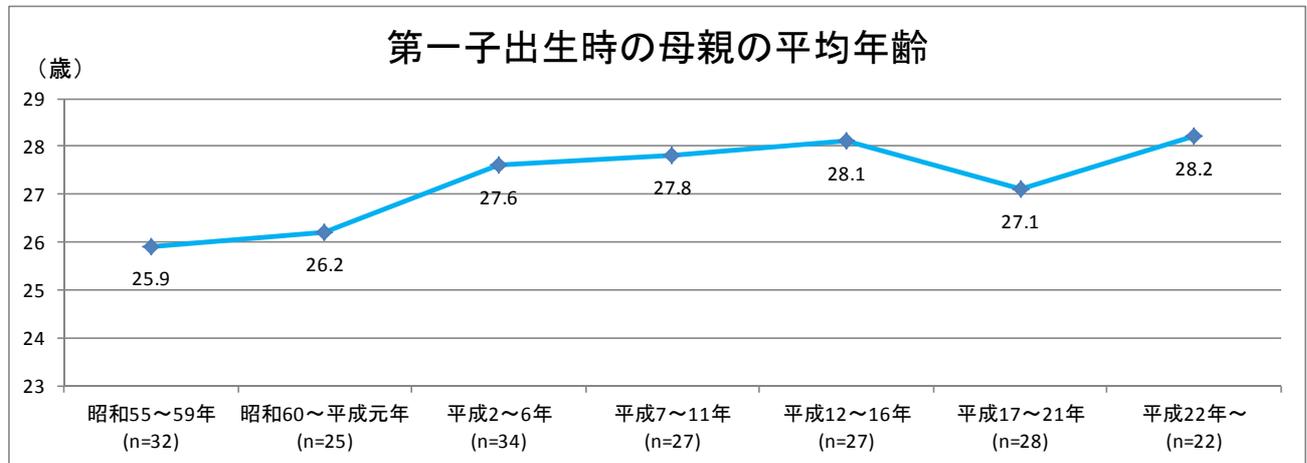
(4) 負担として大きいと思われるものは次のどれですか。(町民・問 33-1)

「学校教育費(大学・短大・専門学校等)」が81.8%と最も多く、次いで、「学校教育費(小学校・中学校・高校)」の49.3%、「保育所・幼稚園・認定こども園にかかる費用」の41.3%の順となっている。



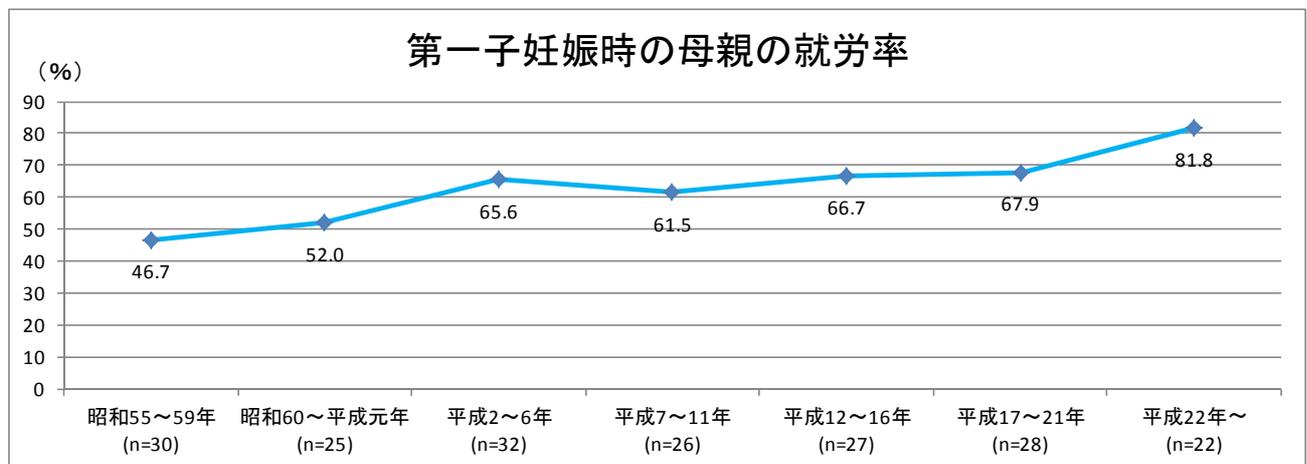
(5) 第一子出産時の母親の年齢（町民・問35）

第一子を「いつ」「何歳の時に」出産をしたかを年代別にみると、全体として上昇傾向となっており、平成22年以降に第一子を出産した母親の平均年齢は28.2歳となっている。



(6) 第一子妊娠時の母親の就業の有無（町民・問36）

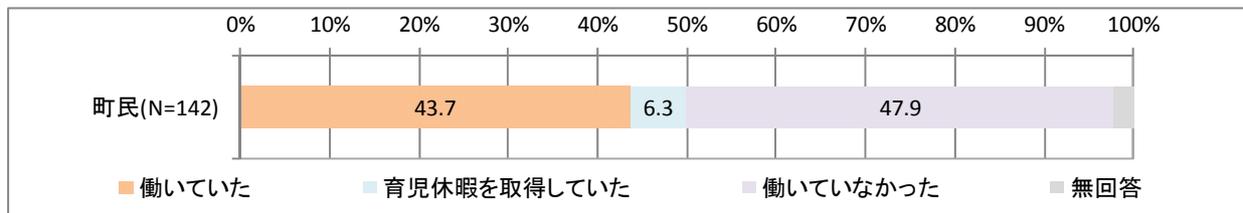
第一子を妊娠した時の就業の有無を年代別にみると、近年は上昇傾向が見られ、平成22年以降に第一子を出産した母親の妊娠時の就労率は81.8%となっている。



(7) (第一子妊娠時に働いていた母親) 第一子1歳時の母親の就業の状況 (町民・問36-1)

「働いていなかった」が47.9%と最も多く、次いで、「働いていた」の43.7%、「育児休暇を取得していた」の6.3%の順となっている。

※サンプル数が少ないため、経年変化による分析は行わなかった。

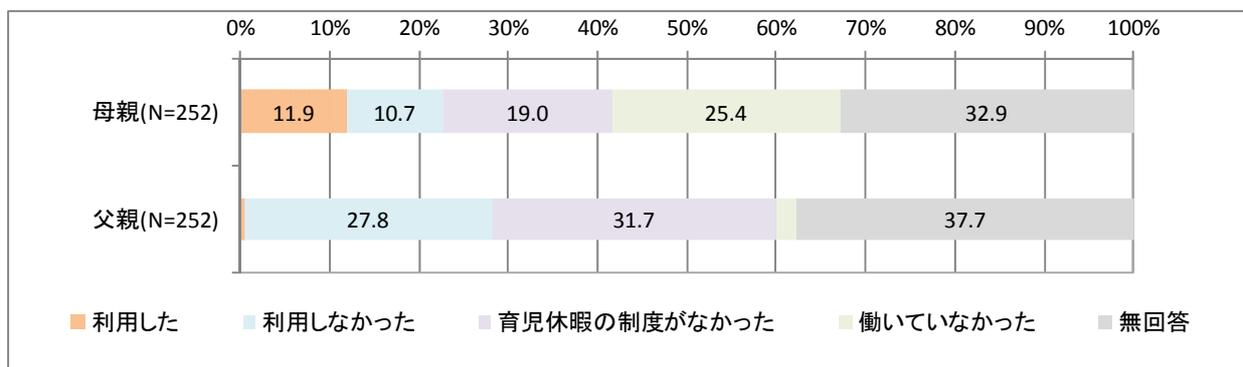


(8) 第一子出生後の育児休暇の取得の有無 (町民・問37、38)

母親においては、無回答を除くと「働いていなかった」が25.4%と最も多くなっている。

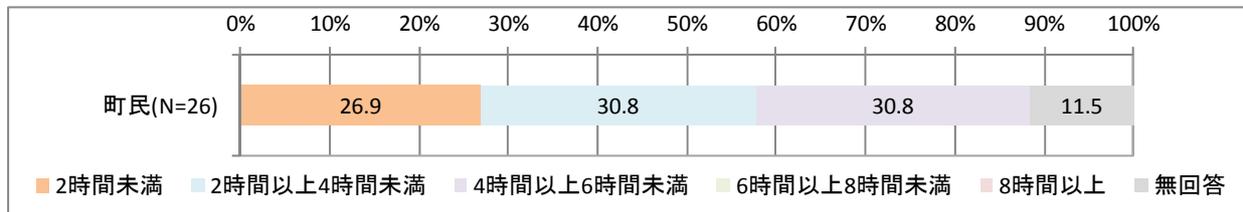
父親においては、無回答を除くと「育児休暇の制度がなかった」が31.7%と最も多く、次いで、「利用しなかった」の27.8%の順となっており、「利用した」は0.4%にとどまっている。

※サンプル数が少ないため、経年変化による分析は行わなかった。



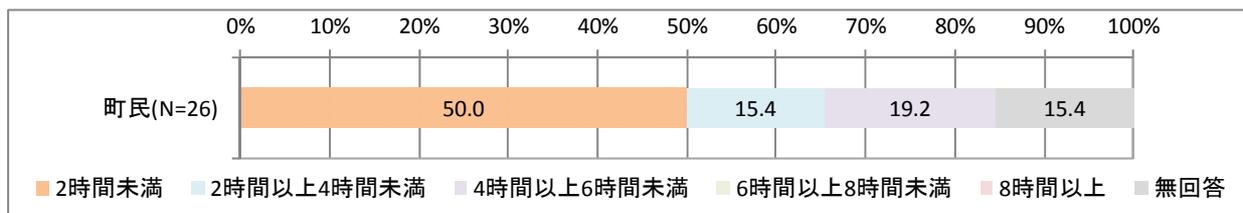
(9) (未就学児を持つ父親) 1日あたりの家事や育児に携わる時間 (町民・問39)

「2時間以上4時間未満」「4時間以上6時間未満」が30.8%と最も多く、次いで、「2時間未満」の26.9%の順となっている。



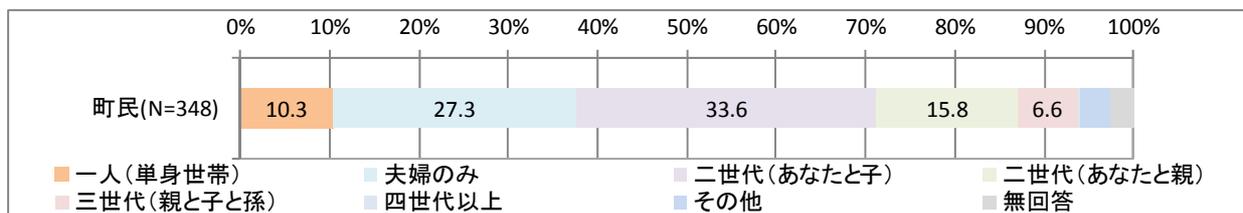
(10) (未就学児を持つ父親) 1日あたりの育児に携わる時間 (町民・問39-1)

「2時間未満」が50.0%と最も多く、次いで、「4時間以上6時間未満」の19.2%の順となっている。



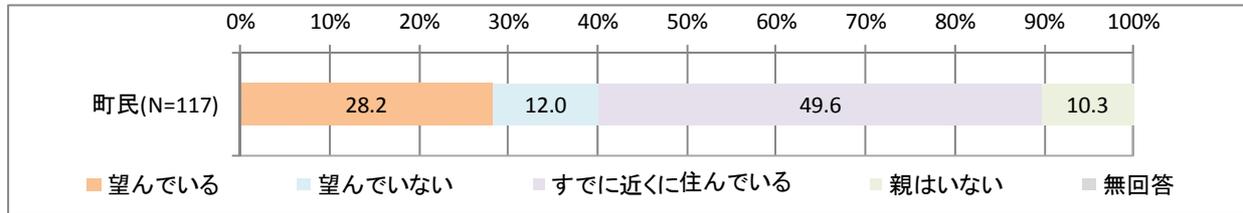
(11) 世帯構成 (町民・問6)

「二世代(あなたと子)」が33.6%と最も多く、次いで、「夫婦のみ」の27.3%、「二世代(あなたと親)」の15.8%の順となっている。



(12) (世帯構成が二世帯(あなたと子)の方) 自分または配偶者の親との同居・近居の希望の有無 (町民・問6-1)

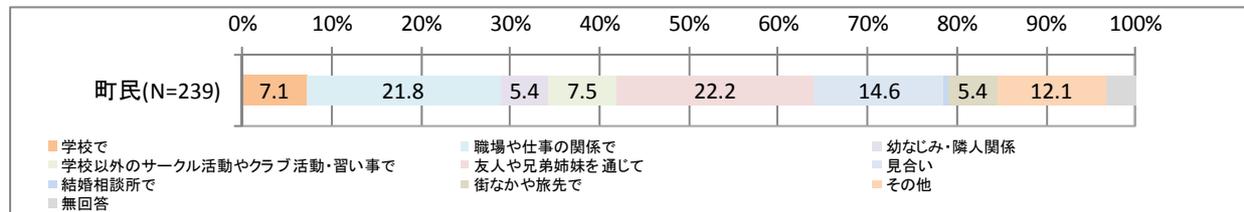
「すでに近くに住んでいる」が49.6%と最も多く、次いで、「望んでいる」の28.2%、「望んでいない」の12.0%の順となっている。



2. 夫婦の出生希望

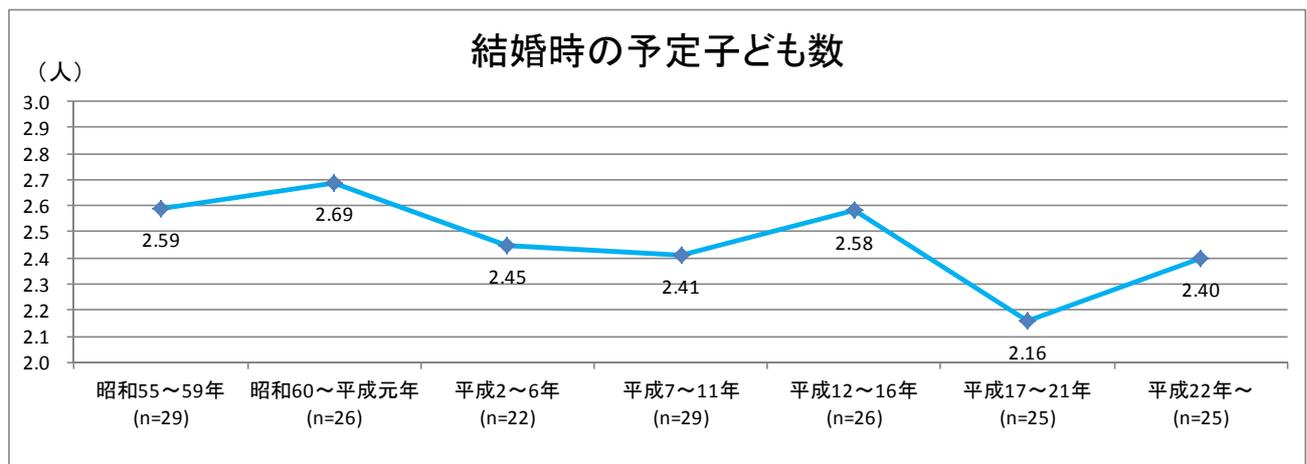
(1) 配偶者と知り合ったきっかけ（町民・問24）

「友人や兄弟姉妹を通じて」が22.2%と最も多く、次いで、「職場や仕事の関係で」の21.8%、「見合い」の14.6%の順となっている。



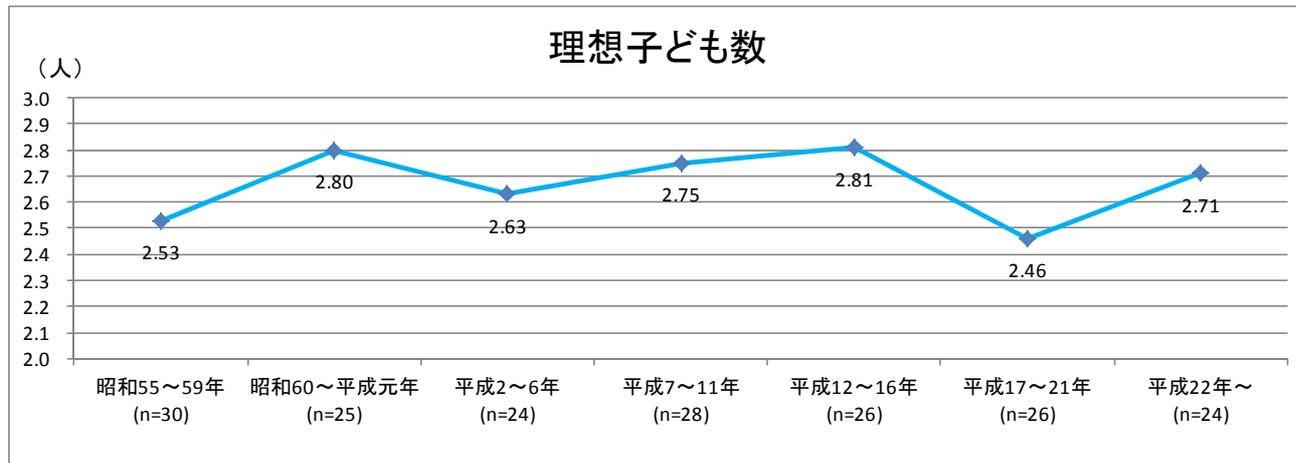
(2) 結婚時の予定子ども数（町民・問26）

結婚当初予定していた子ども数を結婚した年代別にみると、平成17～21年が2.16と最も少なくなっていたが、平成22年以降に結婚した夫婦の結婚時の予定子ども数は2.40となっている。



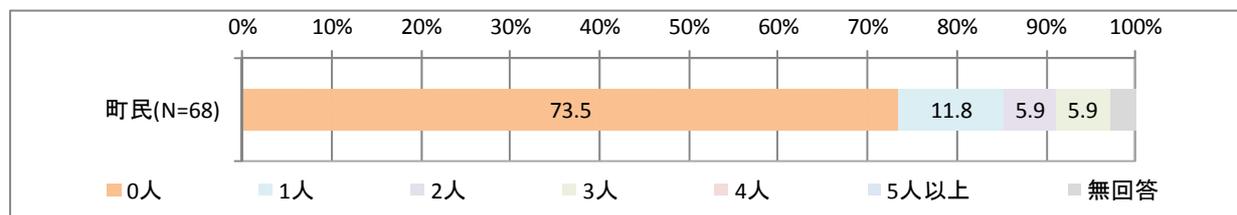
(3) 理想子ども数 (町民・問 27)

現在の理想子ども数を結婚した年代別にみると、平成17～21年が2.46と最も少なくなっていたが、平成22年以降に結婚した夫婦の理想子ども数は2.71となっている。



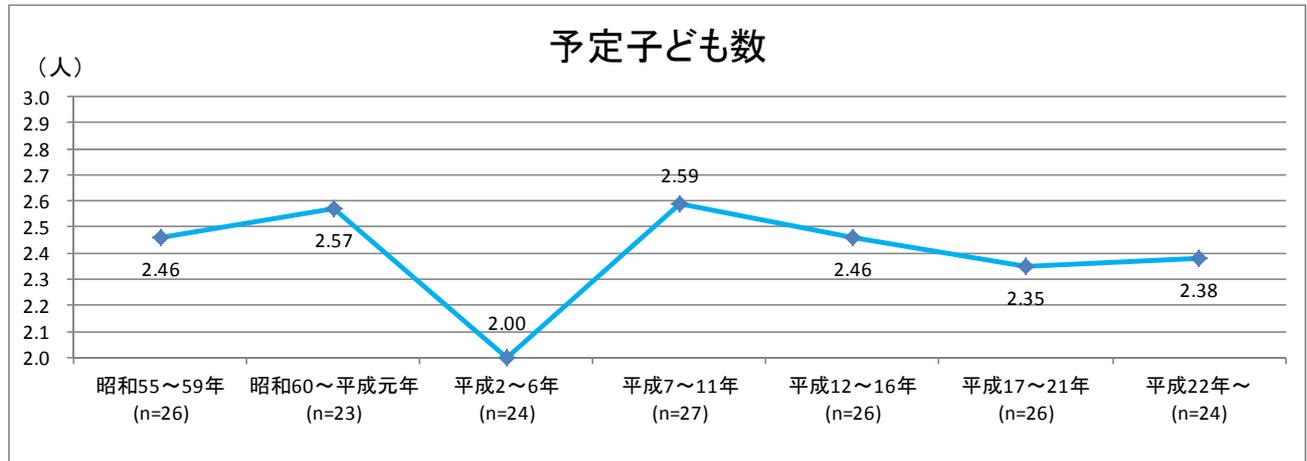
(4) (結婚している50歳未満の女性) 今後の予定子ども数 (町民・問 28)

「0人」が73.5%と最も多くなっており、次いで、「1人」の11.8%、「2人」「3人」の5.9%の順となっている。平均値は0.42人となっている。



(5) 夫婦の最終的な予定子ども数 (町民・問 29)

今後予定している子どもの数を含めた夫婦の最終的な予定子ども数を結婚した年代別にみると、平成2～6年に2.00と最も少なくなっていたが、平成22年以降に結婚した夫婦の予定子ども数は2.38となっている。

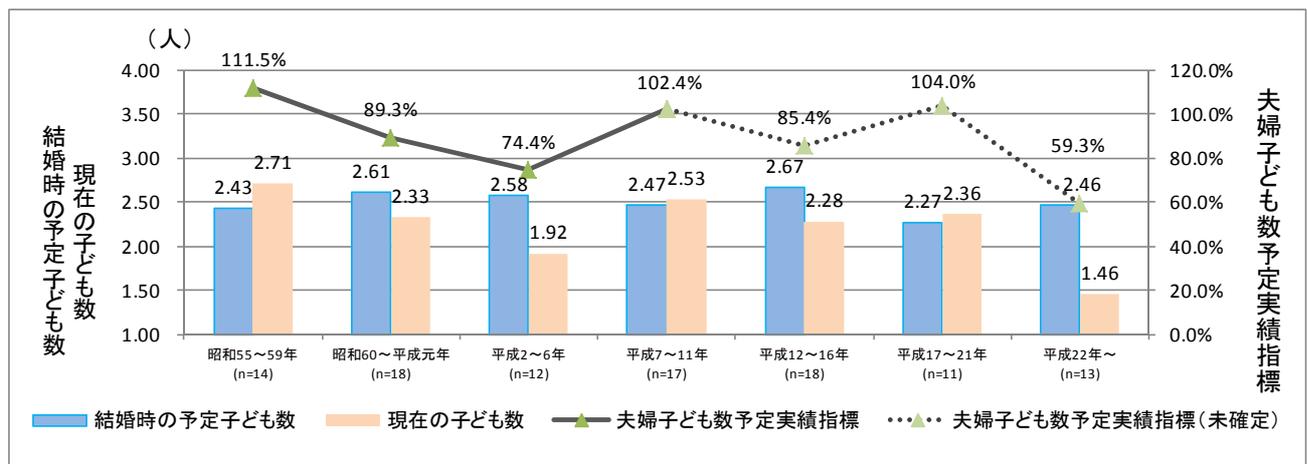


(6) 夫婦子ども数予定実績指標 (町民・問 7、問 26)

夫婦子ども数予定実績指標を結婚した年代別にみると、数値が確定している直近値である平成7～11年に結婚した夫婦の値は102.4%となっている。現在の子どもの数で比較すると平成2～6年に結婚した夫婦と比較して、0.61人多くなっている。

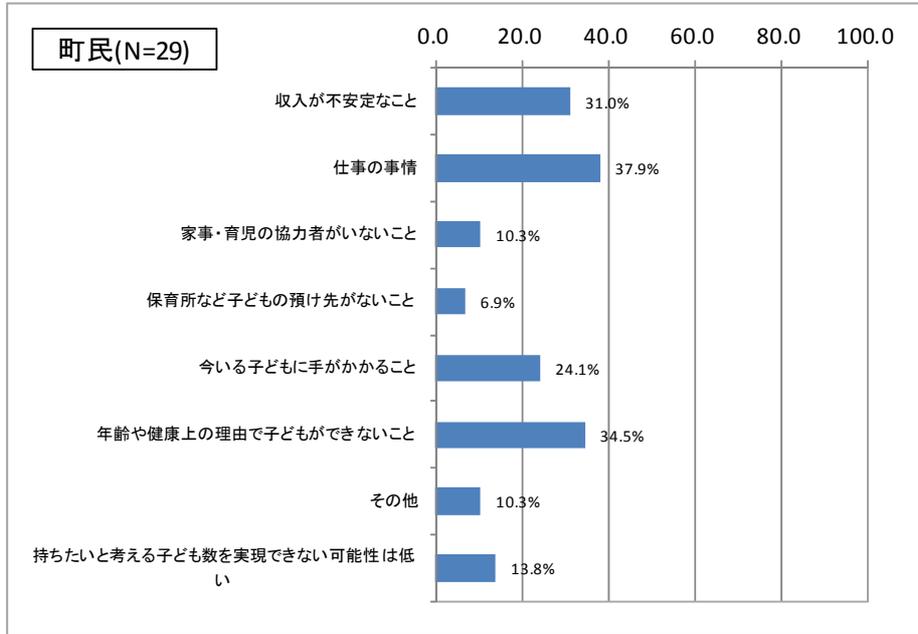
※夫婦子ども数予定実績指標…出生動向基本調査において、結婚15～19年の夫婦の子ども数を完結出生児数として、その夫婦(調査対象は妻)の調査対象期間における子ども予定数の平均値との比率によって算出される値。本市においては、結婚時の予定子ども数との比率により算出を行った。

※平成12年以降に結婚した夫婦は結婚後15年が経過していないため、夫婦子ども数予定実績指標は未確定値である。



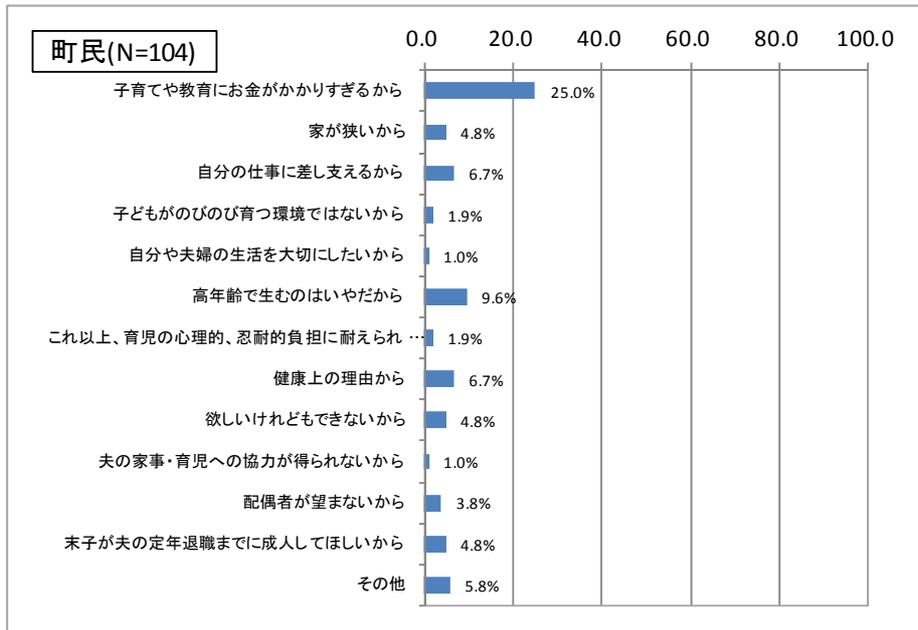
(7) (今後の予定子ども数が1人以上の方) 今後新たに持ちたいと考えるお子さんの数が、結果的に持てないとしたならば、その原因は何である可能性が高いですか。(町民・問30)

「仕事の事情」が37.9%と最も多く、次いで、「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」の34.5%、「収入が不安定なこと」の31.0%の順となっている。



(8) (最終的な予定子ども数が希望子ども数より少ない方) 持ちたいと考えるお子さんの数が、理想とするお子さんの数より少ないのはどうしてですか。(町民・問31)

「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が25.0%と最も多く、次いで、「高年齢で生むのはいやだから」の9.6%、「自分の仕事に差し支えるから」「健康上の理由から」の6.7%の順となっている。

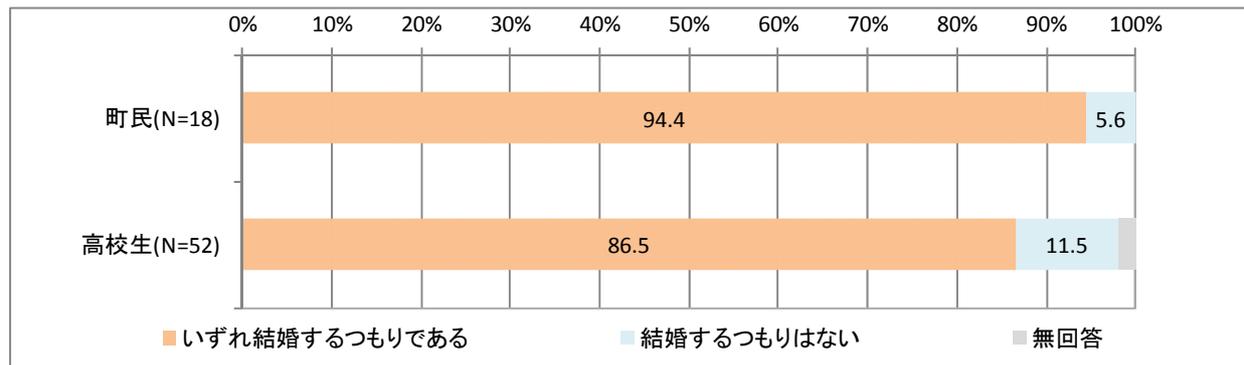


3. 独身者の結婚・出生希望

(1) 自分の今後の人生を考えた場合、結婚したいと思いますか。 (町民・問 32、高校生・問 14)

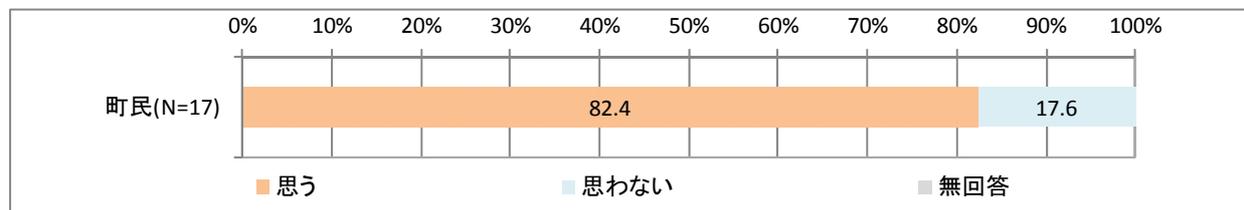
町民においては、「いずれ結婚するつもりである」が94.4%、「結婚するつもりはない」が5.6%となっている。

高校生においては、「いずれ結婚するつもりである」が86.5%、「結婚するつもりはない」が11.5%となっている。



(2) (結婚したい方) 5年以内に結婚したいと思いますか。(町民・問 32-1)

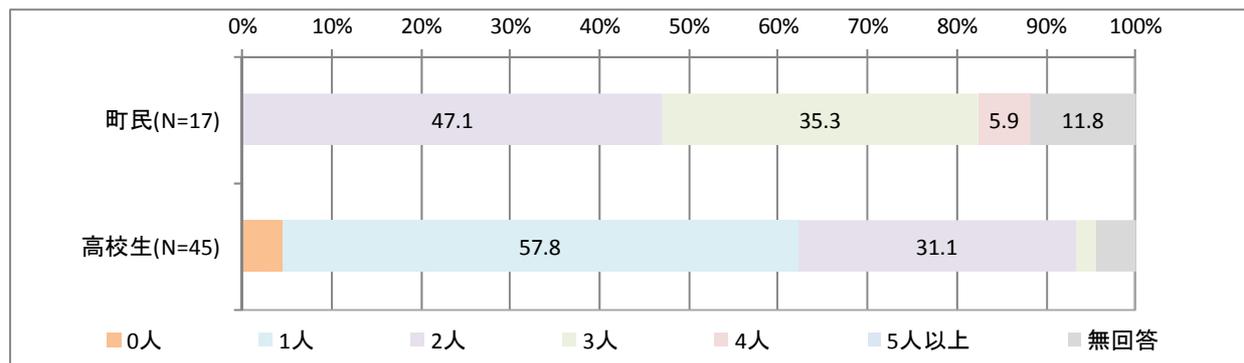
「思う」が82.4%、「思わない」が17.6%となっている。



(3) (結婚したい方) 希望子ども数(町民・問 32-2、高校生・問 14-1)

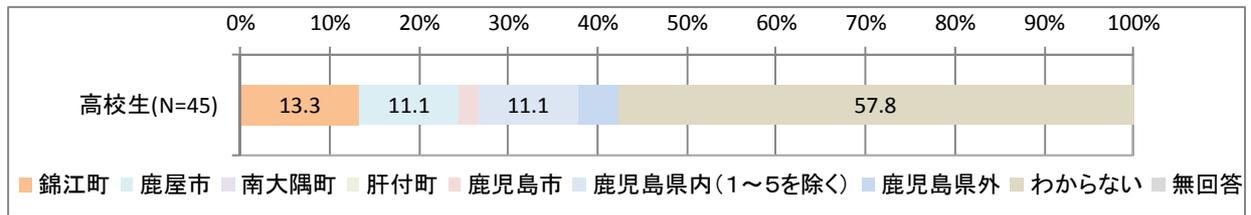
町民においては、「2人」が47.1%と最も多く、次いで、「3人」の35.3%の順となっている。

高校生においては、「1人」が57.8%と最も多く、次いで、「2人」の31.1%の順となっており、希望子ども数が町民を下回っている。



(4) (結婚したい方) 結婚した場合の生活場所 (高校生・問 14-2)

「わからない」が57.8%と最も多く、次いで、「錦江町」の13.3%の順となっている。



IV 観光について

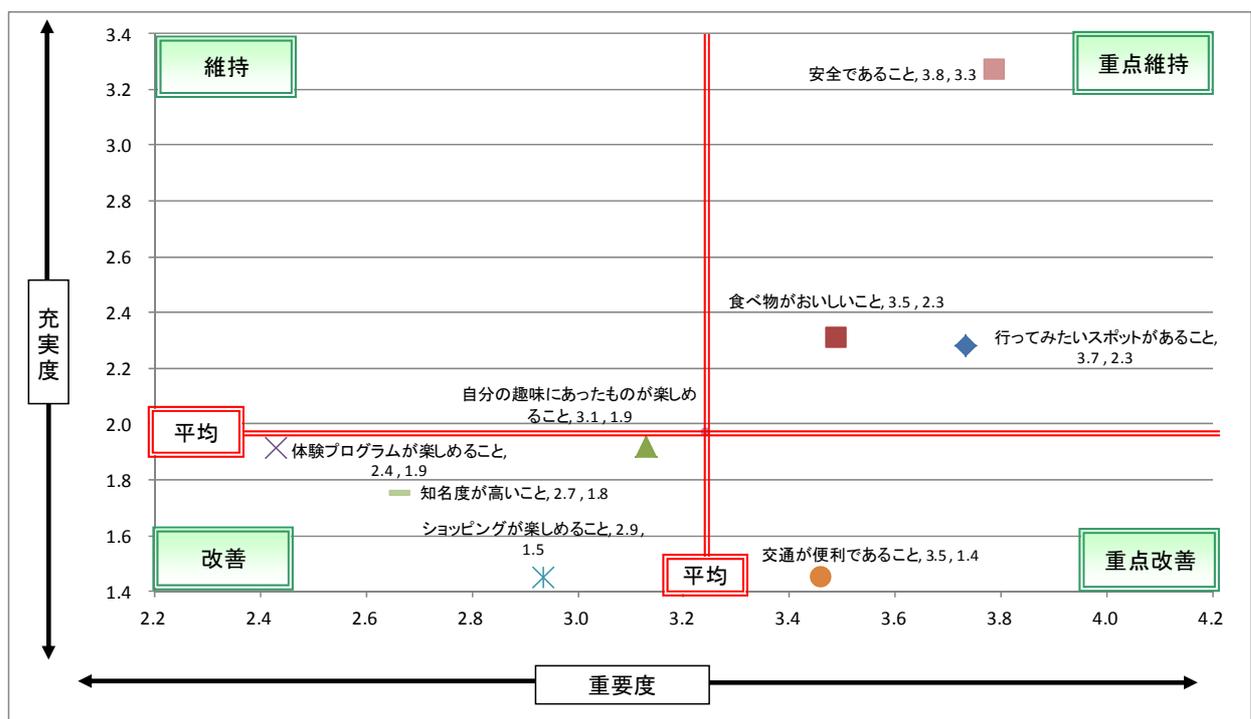
1. 観光の状況

(1) 観光に求める条件と錦江町の評価（町民・問 40、41）

錦江町民の考える「観光に求める条件」「錦江町の評価」より、錦江町の観光における課題分析を行った。

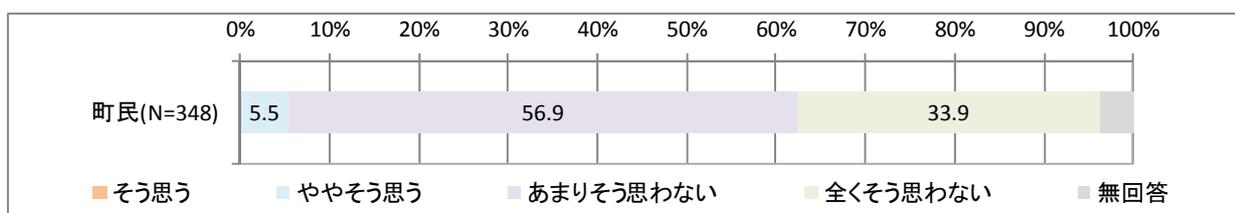
「交通が便利であること」の観光に求める度合いが高く、錦江町への評価が低くなっていることから、観光において重点的に改善されるべき課題であると考えられる。

また、充実度の平均が2点を下回っており、全体的に評価が低くなっている。



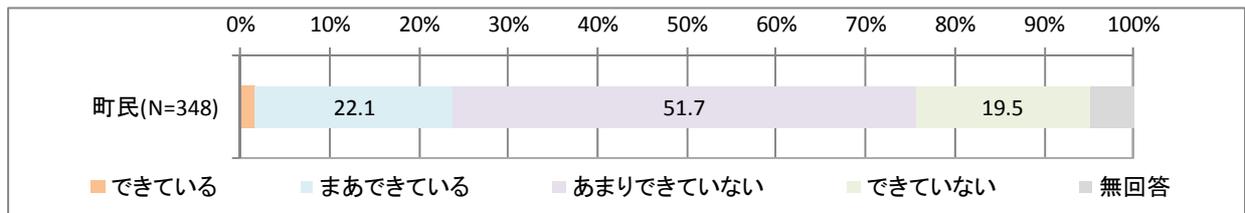
(2) 錦江町は観光客の数が多いと思いますか。（町民・問 42）

「あまりそう思わない」が56.9%と最も多く、次いで、「全くそう思わない」の33.9%、「ややそう思う」の5.5%の順となっており、「そう思う」とした回答は得られなかった。



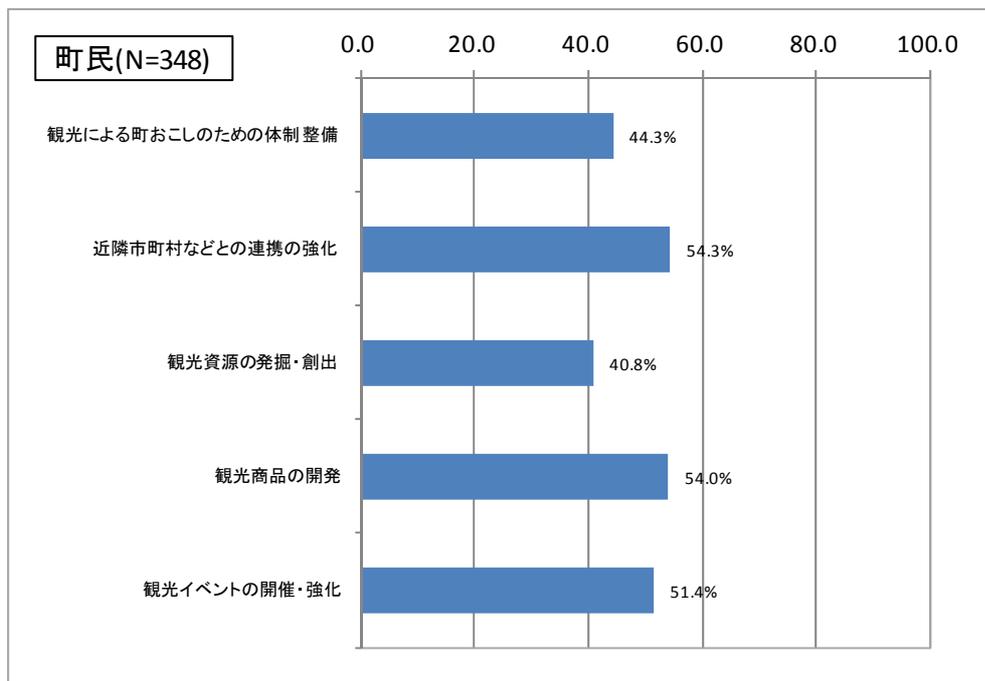
**(3) 錦江町は、現在、観光振興が図れていると思いますか。
(町民・問 43)**

「あまりできていない」が51.7%と最も多く、次いで、「まあできている」の22.1%、「できていない」の19.5%の順となっており、「できている」「まあできている」を合わせた割合は23.8%にとどまっている。



**(4) 錦江町の観光振興を図る上で、重要だと思う施策は次のうちどれですか。
(町民・問 44)**

「近隣市町村などとの連携強化」が54.3%と最も多く、次いで、「観光商品の開発」の54.0%、「観光イベントの開催・強化」の51.4%の順となっている。



V 地域に対するイメージについて

1. 地域に対するイメージ

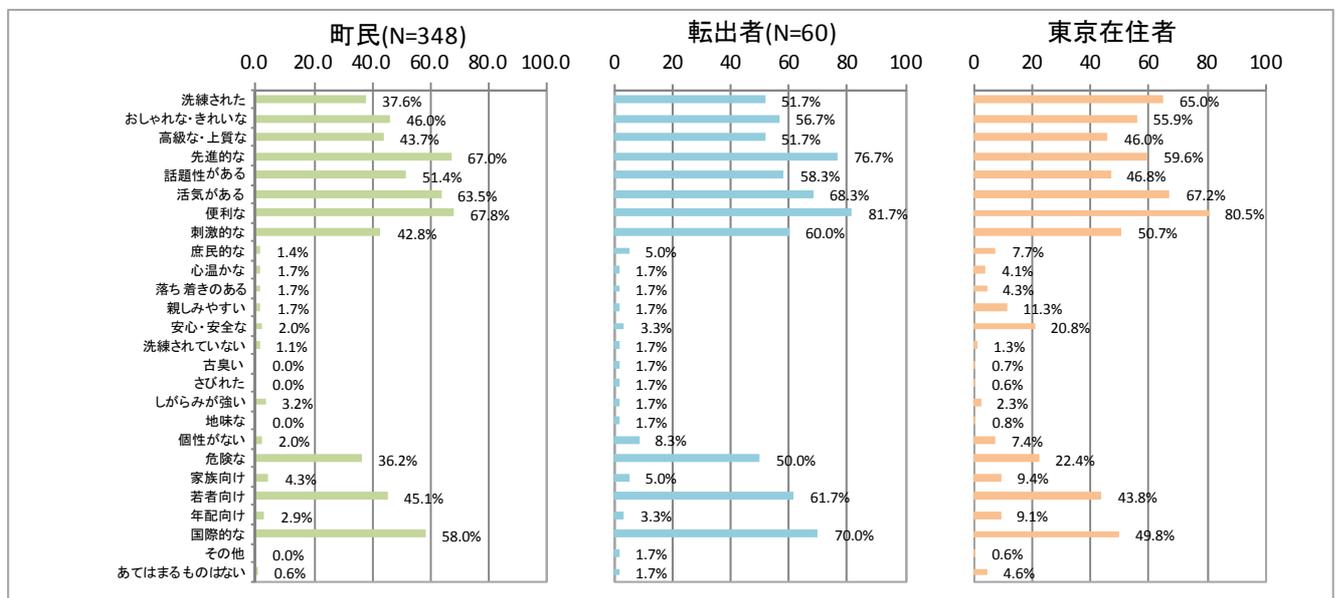
(1) 地域に対するイメージ（町民・問19、転出者・問14）

地域に対するイメージについて、町民・転出者を比較するとともに、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局が行った「東京在住者の今後の移住に関する意向調査」の調査結果との比較を行った。

・首都圏に対するイメージ

町民・転出・東京在住者の調査のすべてにおいて「便利な」の割合が最も高くなっており、「先進的な」「活気がある」はすべての調査において上位5項目として挙げられた。

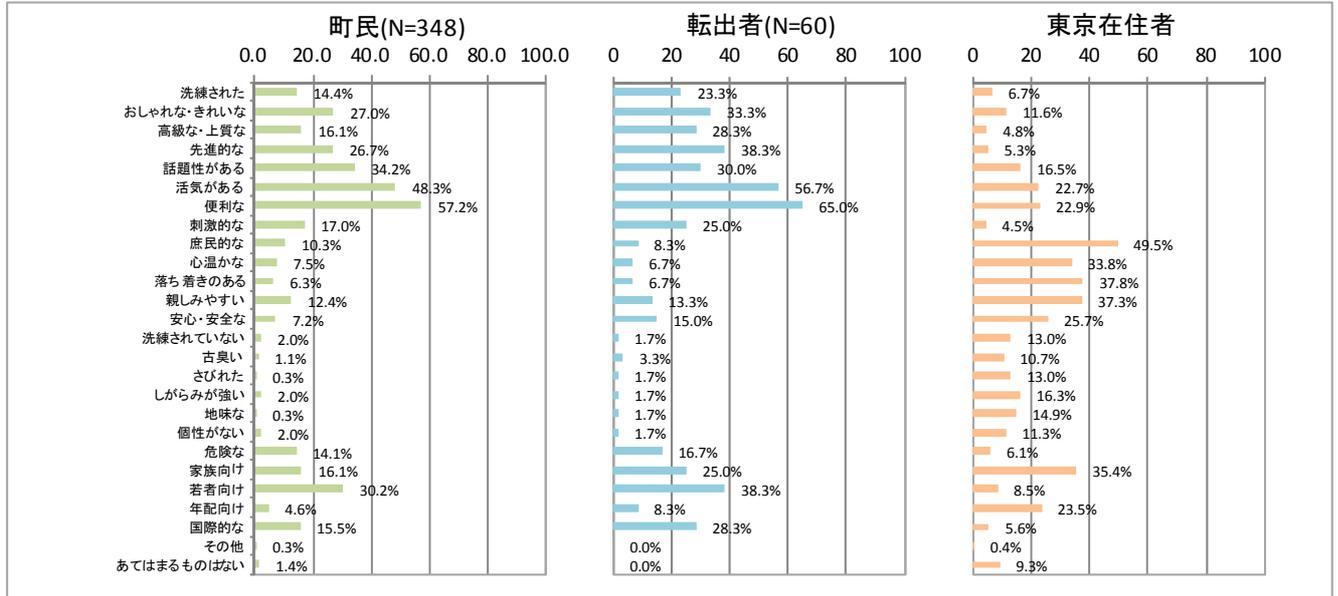
※首都圏…東京・神奈川・千葉・埼玉の1都3県



・地方中核・拠点都市に対するイメージ

町民・転出者ともに「活気がある」「便利な」の割合が半数近くに達していたが、東京在住者は4分の1に満たない等、町民・転出者と東京在住者の間に意識の違いが見られた。

※地方中核・拠点都市…東京、名古屋、大阪の都市圏を除く主に人口20万人以上の都市

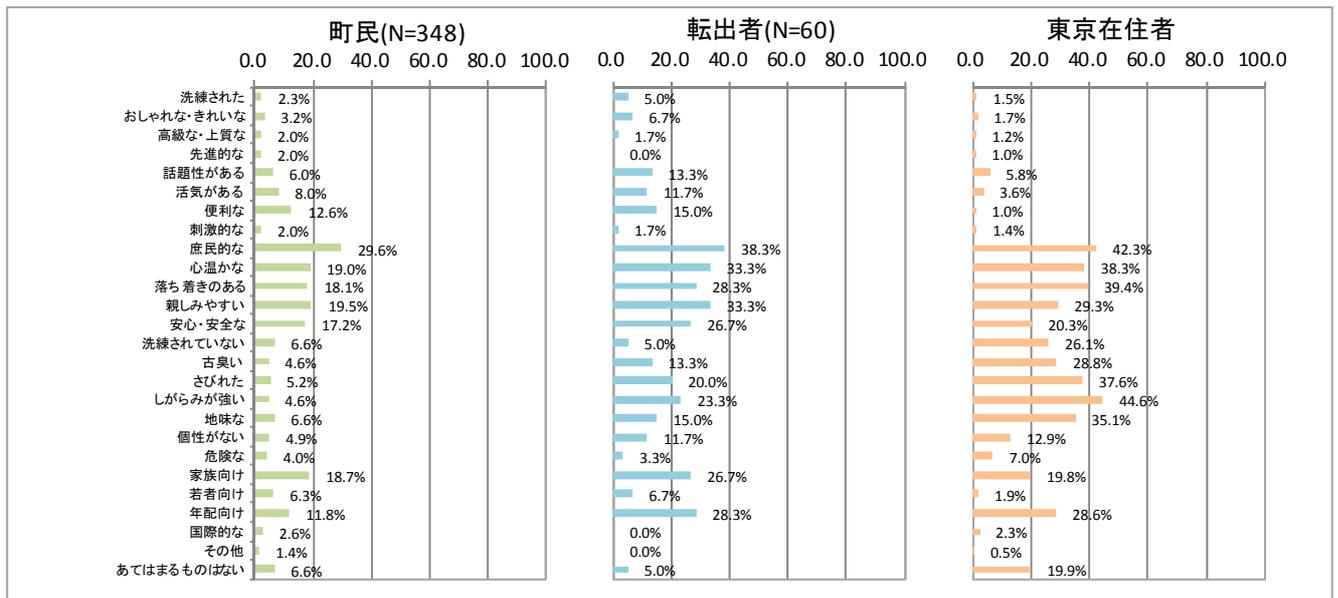


・その他のエリアに対するイメージ

すべての調査において「庶民的な」「心温かな」「落ち着いたのがある」が上位5項目内に挙げられた。

東京在住者の「洗練されていない」「古臭い」「さびれた」「しがらみ強い」「地味な」の割合が他の調査と比較して高くなっており、特に「しがらみ強い」は東京在住者の中で最も回答割合が高い項目になっている。

※その他のエリア…首都圏、地方中核・拠点都市を除くエリア

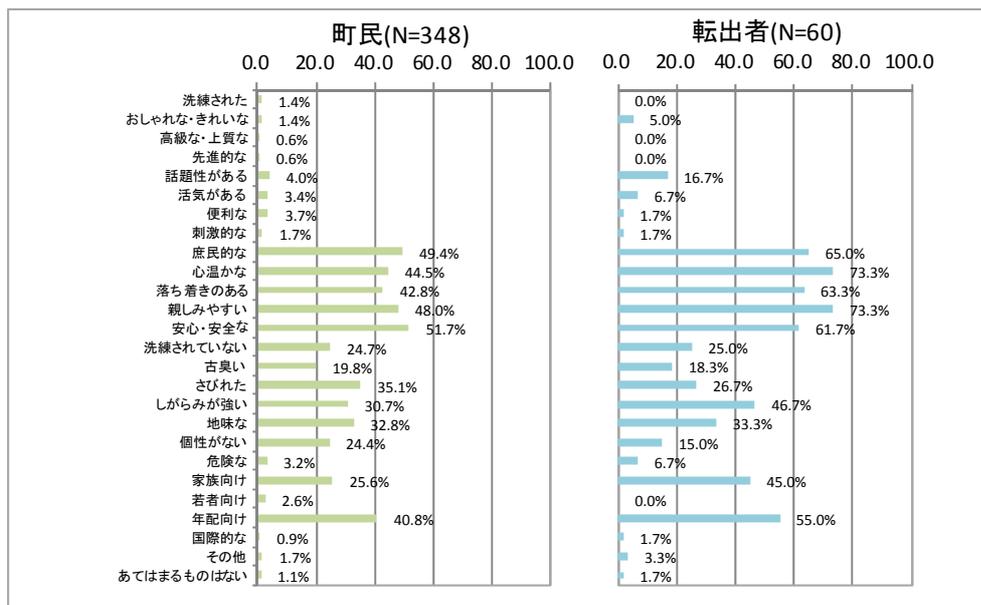


・ 錦江町に対するイメージ

町民・転出者ともに「庶民的な」「心温かな」「落ち着いたある」「親しみやすい」「安心・安全な」が上位5項目として挙げられた。

町民・転出者の錦江町に対するイメージは前述した3つのエリアのうち、「その他のエリア」に対するイメージと近くなっている。

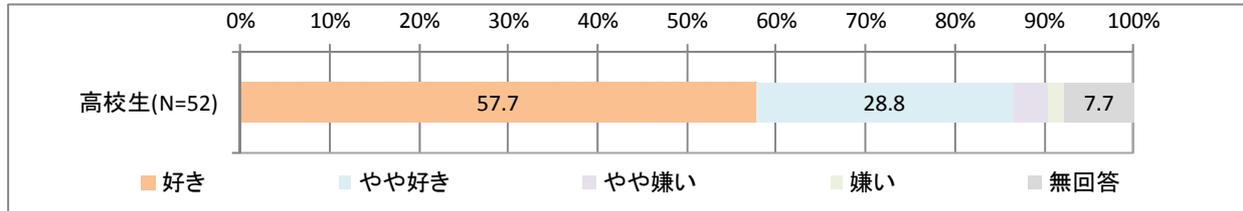
「その他のエリア」と錦江町のイメージを比較すると、町民・転出者ともに「安心・安全な」の割合が30ポイント以上、錦江町の割合が高くなっている。



2. 高校生の錦江町に対するイメージ

(1) 錦江町は好きですか。(高校生・問15)

「好き」が57.7%と最も多く、次いで、「やや好き」の28.8%の順となっている。

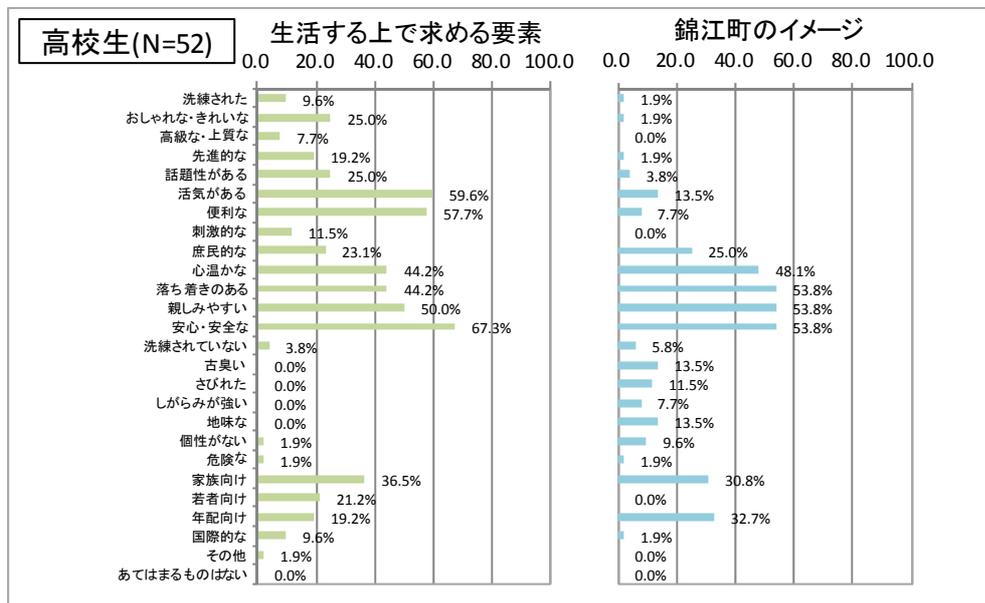


(2) 生活する上で求める要素と錦江町のイメージ (高校生・問16)

生活する上で求める要素においては、「安心・安全な」が67.3%と最も多く、次いで、「活気がある」の59.6%、「便利な」の57.7%の順となっている。

錦江町のイメージにおいては、「落ち着いたある」「親しみやすい」「安心・安全な」が53.8%と最も多くなっている。

半数以上の高校生が「活気がある」「便利な」を生活する上で求める要素としているが、錦江町のイメージではこれらの要素は2割を下回っている。

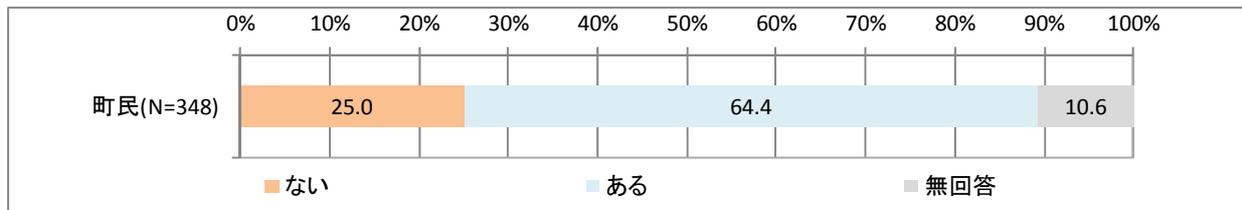


VI 錦江町への定住・移住について

1. 転出の状況

(1) 中学校卒業時から現在までの錦江町からの転出経験の有無 (町民・問20)

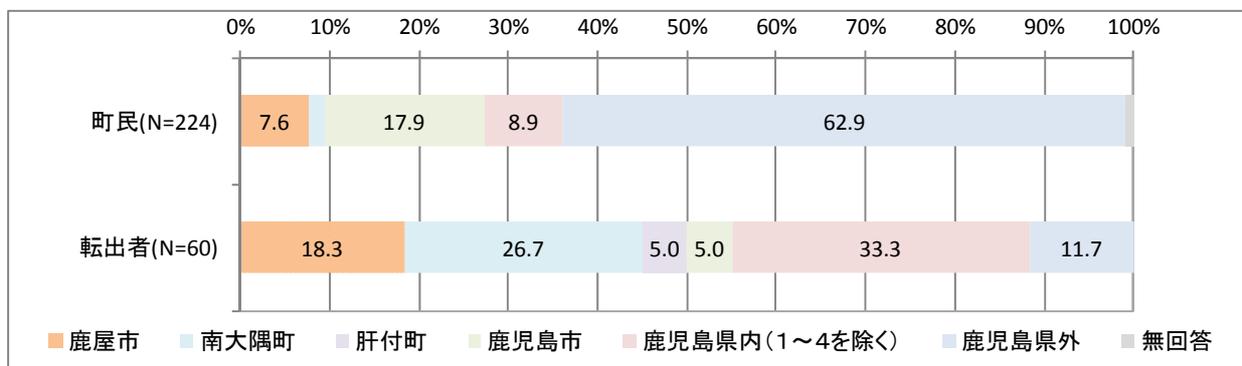
「ある」が64.4%、「ない」が25.0%となっている。



(2) 転出先 (町民・問20-1、転出者問10)

町民においては、「鹿児島県外」が62.9%と最も多く、次いで、「鹿児島市」の17.9%、「鹿児島県内(1～4を除く)」の8.9%の順となっている。

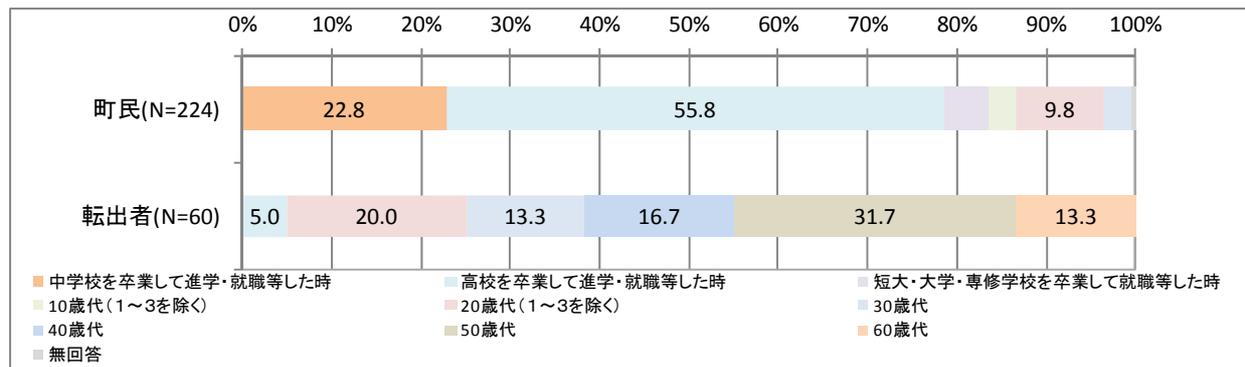
転出者においては、「鹿児島県内(1～4を除く)」が33.3%と最も多く、次いで、「南大隅町」の26.7%、「鹿屋市」の18.3%の順となっている。



(3) 転出時期（町民・問 20-2、転出者問 11）

町民においては、「高校を卒業して進学・就職等した時」が 55.8%と最も多く、次いで、「中学を卒業して進学・就職等した時」の 22.8%、「20 歳代（1～3 を除く）」の 9.8%の順となっている。

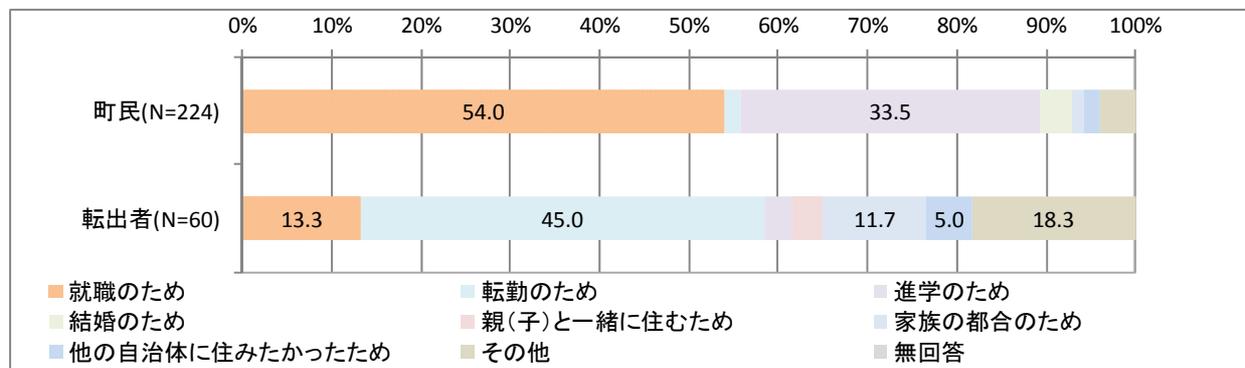
転出者においては、「50 歳代」が 31.7%と最も多く、次いで、「20 歳代（1～3 を除く）」の 20.0%、「40 歳代」の 16.7%の順となっている。



(4) 転出理由（町民・問 20-3、転出者問 12）

町民においては、「就職のため」が 54.0%と最も多く、次いで、「進学のため」の 33.5%の順となっている。

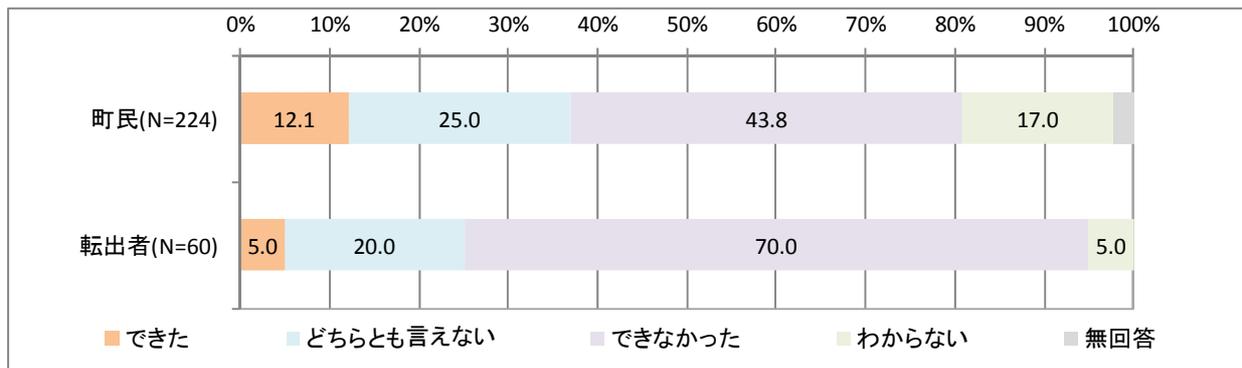
転出者においては、「転勤のため」が 45.0%と最も多く、次いで、「その他」の 18.3%、「就職のため」の 13.3%の順となっている。



(5) 錦江町で何らかの取り組みが行われていれば、錦江町にとどまることができましたか。(町民・問 20-4、転出者問 13)

町民においては、「できなかった」が43.8%と最も多く、次いで、「どちらとも言えない」の25.0%、「わからない」の17.0%の順となっている。

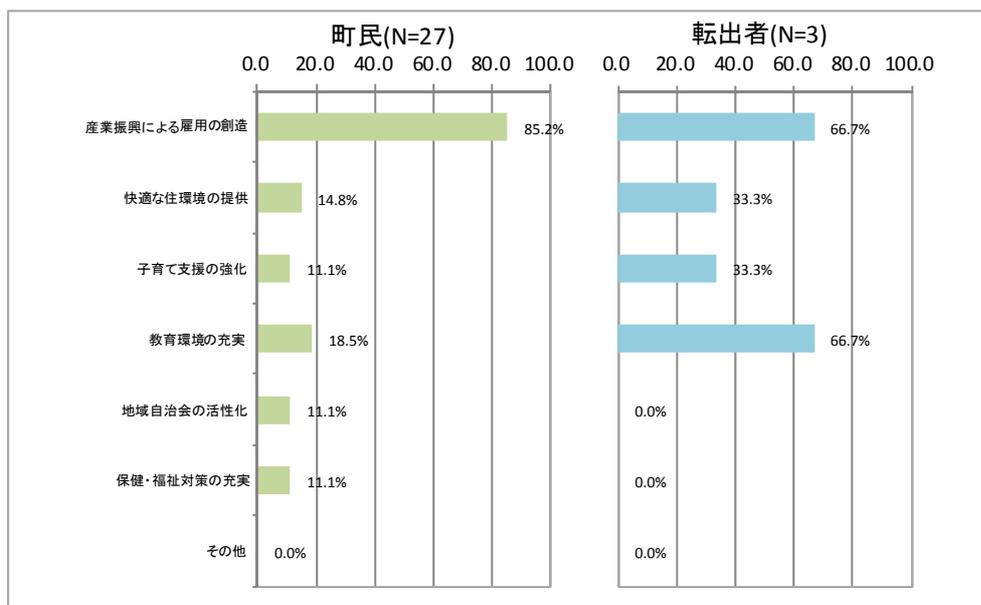
転出者においては、「できなかった」が70.0%と最も多く、次いで、「どちらとも言えない」の20.0%、「できた」「わからない」の5.0%の順となっている。



(6) どのような取り組みが行われていれば、とどまることができましたか。(町民・問 20-5、転出者問 13-1)

町民においては、「産業振興による雇用の創造」が85.2%と最も多く、次いで、「教育環境の充実」の18.5%、「快適な住環境の提供」の14.8%の順となっている。

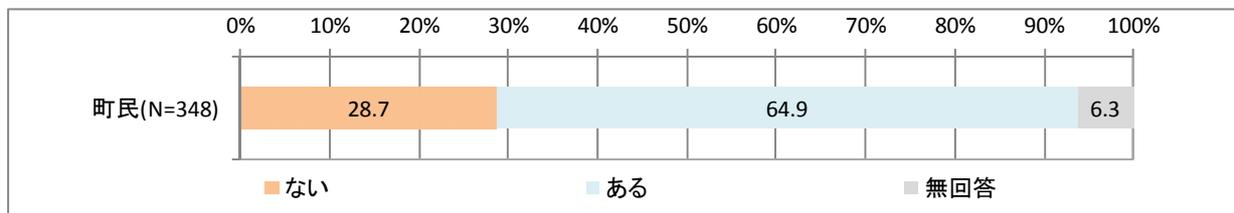
転出者においては、「産業振興による雇用の創造」「教育環境の充実」が66.7%と最も多くなっている。



2. 転入の状況

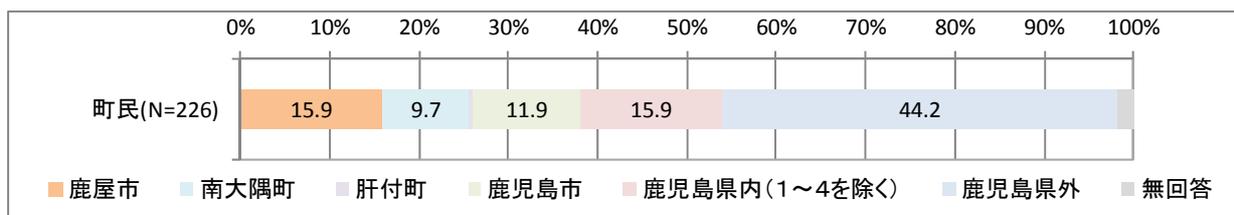
(1) 中学校卒業時から現在までに錦江町以外から錦江町に転入したことがありますか。(町民・問21)

「ある」が64.9%、「ない」が28.7%となっている。



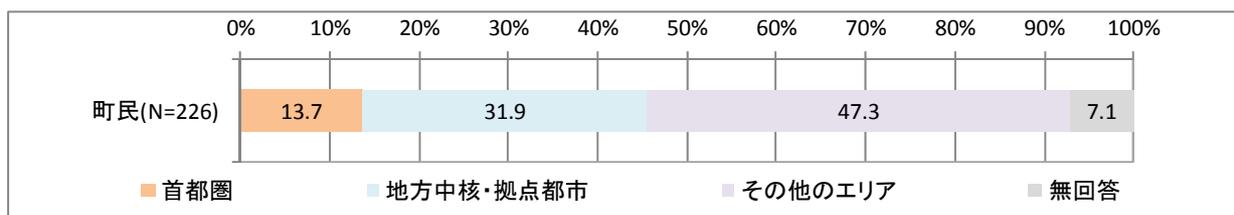
(2) 転入前に住んでいた場所 (町民・問21-1)

「鹿児島県外」が44.2%と最も多く、次いで、「鹿屋市」「鹿児島県内(1~4を除く)」の15.9%の順となっている。



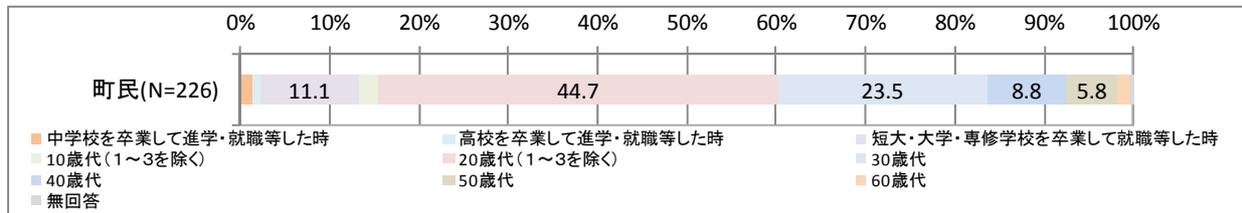
(3) 転入前に住んでいたエリア (町民・問21-2)

「その他のエリア」が47.3%と最も多く、次いで、「地方中核・拠点都市」の31.9%、「首都圏」の13.7%の順となっている。



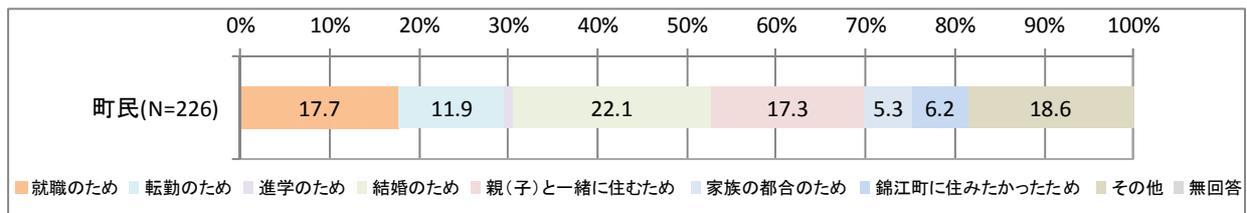
(4) 転入時期（町民・問 21-3）

「20歳代（1～3を除く）」が44.7%と最も多く、次いで、「30歳代」の23.5%、「短大・大学・専修学校を卒業して就職等した時」の11.1%の順となっており、20歳代以下で6割を占めている。



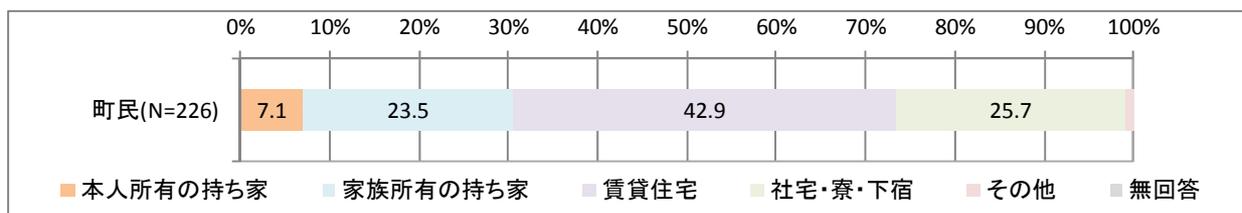
(5) 転入理由（町民・問 21-4）

「結婚のため」が22.1%と最も多く、次いで、「その他」の18.6%、「就職のため」の17.7%の順となっている。



(6) 転入前の住まい（町民・問 21-5）

「賃貸住宅」が42.9%と最も多く、次いで、「社宅・寮・下宿」の25.7%、「家族所有の持ち家」の23.5%の順となっている。



3. 定住・移住意向

(1) 錦江町への定住・移住意向

(町民・問46、高校生・問11、転出者・問15)

錦江町への今後の定住・移住意向について、町民の52.6%が今後も錦江町に住み続けたいと回答している一方、41.4%が市外に移り住みたいまたは分からないと回答している。

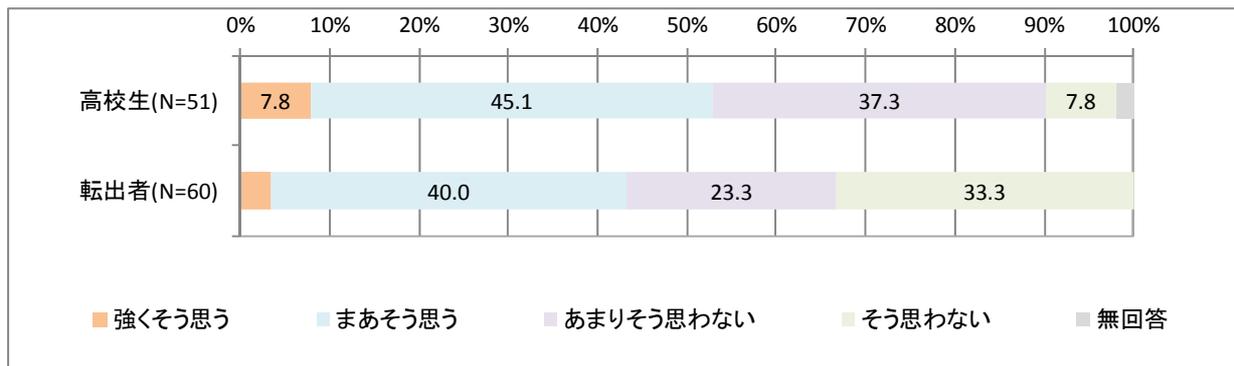
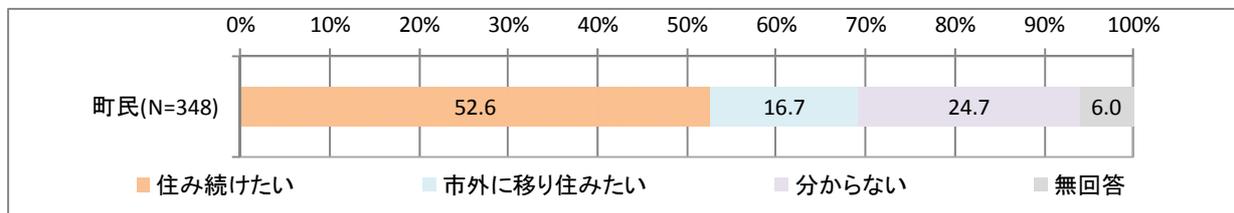
高校生においては、52.9%が将来錦江町で生活したいと思っている一方、45.1%はそう思わないと回答している。

転出者においては、43.4%が将来錦江町に帰って生活したいと考えている一方、56.6%がそう思わないと回答している。

※町民の設問内容…これからも錦江町に住み続けたいと思うか。

※高校生の設問内容…進学・就職で市外へ転出した場合でも将来錦江町で生活したいと思うか。

※転出者の設問内容…将来錦江町に帰って生活したいと思うか。



(2) 錦江町で生活したいと思う理由 (町民・問46-1、高校生・問11-1、転出者・問15-2)

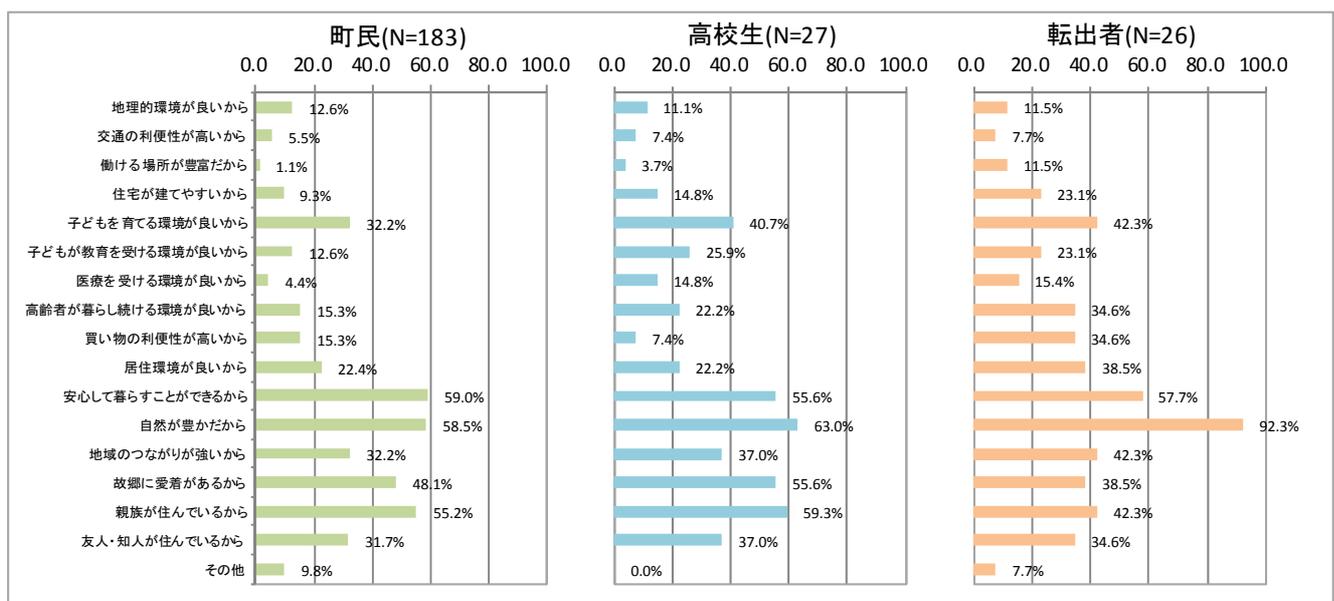
町民においては、「安心して暮らすことができるから」が59.0%と最も多く、次いで、「自然が豊かだから」の58.5%、「親族が住んでいるから」の55.2%の順となっている。

高校生においては、「自然が豊かだから」が63.0%と最も多く、次いで、「親族が住んでいるから」の59.3%、「安心して暮らすことができるから」「故郷に愛着があるから」の55.6%の順となっている。

転出者においては、「自然が豊かだから」が92.3%と最も多く、次いで、「安心して暮らすことができるから」の57.7%、「子どもを育てる環境が良いから」「地域のつながりが強いから」「親族が住んでいるから」の42.3%の順となっている。

3種類の調査すべてにおいて「安心して暮らすことができるから」「自然が豊かだから」「親族が住んでいるから」が上位3項目として挙げられた。

転出者の「自然が豊かだから」の割合が他の調査と比較して高くなっている。



(3) 錦江町で生活したいと思わない理由 (町民・問46-2、高校生・問11-2、転出者・問15-3)

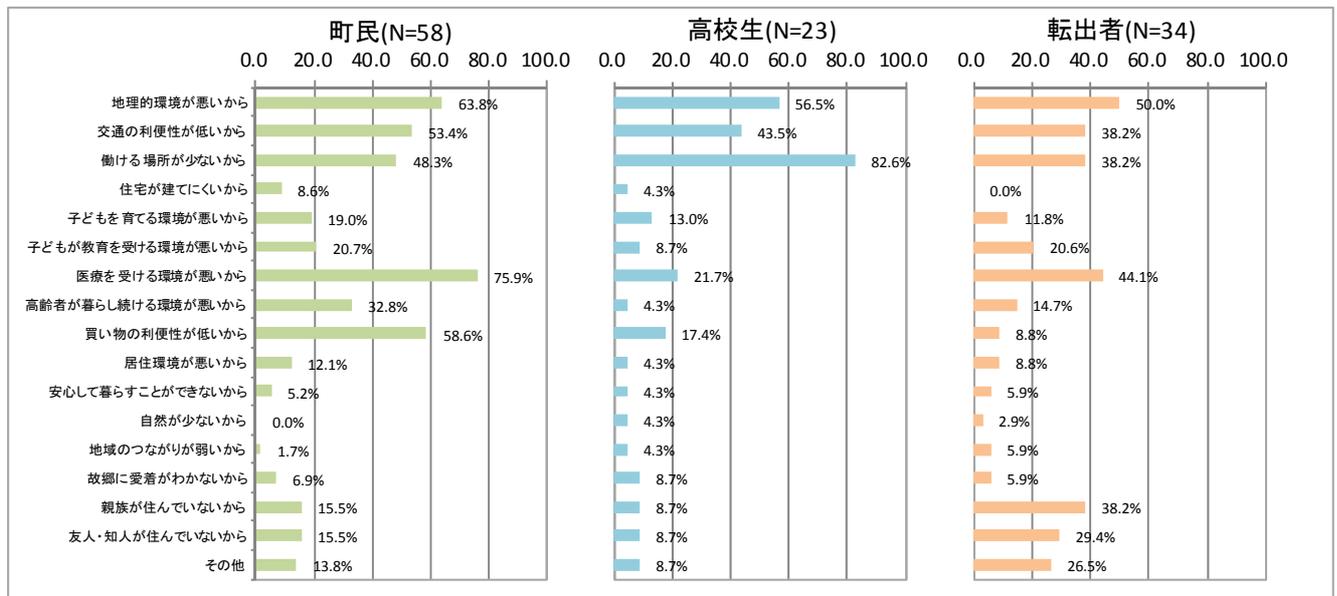
町民においては、「医療を受ける環境が悪いから」が75.9%と最も多く、次いで、「地理的環境が悪いから」の63.8%、「買い物の利便性が低いから」の58.6%の順となっている。

高校生においては、「働ける場所が少ないから」が82.6%と最も多く、次いで、「地理的環境が悪いから」の56.5%、「交通の利便性が低いから」の43.5%の順となっている。

転出者においては、「地理的環境が悪いから」が50.0%と最も多く、次いで、「医療を受ける環境が悪いから」の44.1%、「交通の利便性が低いから」「働ける場所が少ないから」「親族が住んでいないから」の38.2%の順となっている。

「地理的環境が悪いから」は3種類の調査すべてにおいて上位3項目として挙げられた。

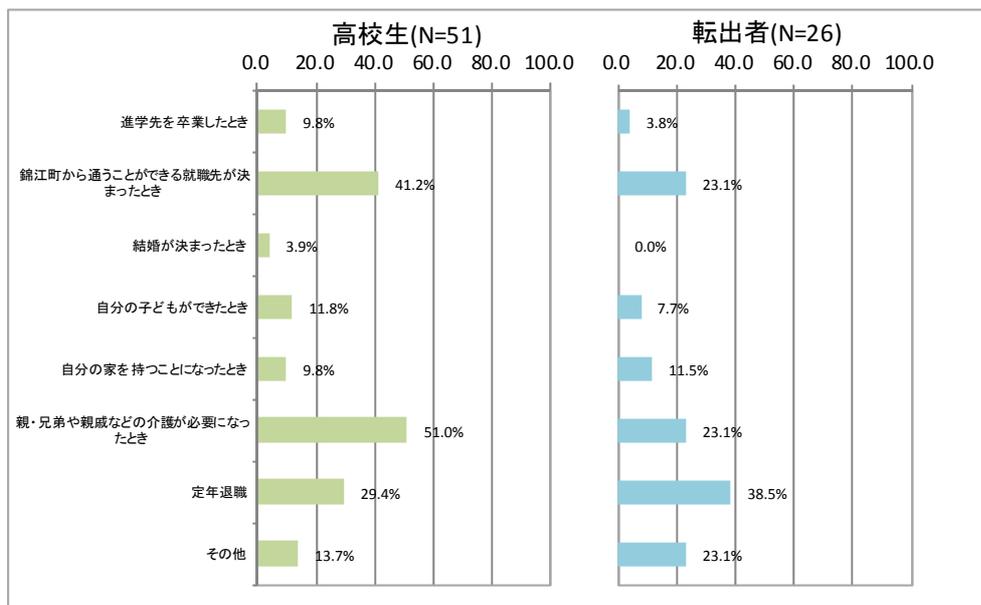
町民の「医療を受ける環境が悪いから」「買い物の利便性が低いから」、高校生の「働ける場所が少ないから」の割合がそれぞれ他の調査と比較して高くなっている。



(4) 錦江町に戻るきっかけとして考えられる理由 (高校生・問12、転出者・問15-1)

高校生においては、「親・兄弟や親戚などの介護が必要になったとき」が51.0%と最も多く、次いで、「錦江町から通うことができる就職先が決まったとき」の41.2%、「定年退職」の29.4%の順となっている。

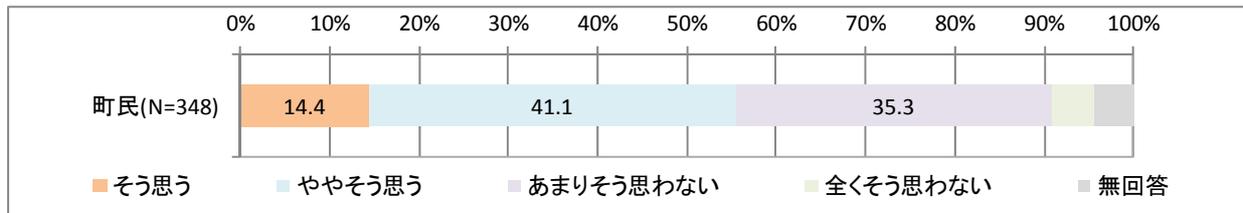
転出者においては、「定年退職」が38.5%と最も多く、次いで、「錦江町から通うことができる就職先が決まったとき」「親・兄弟や親戚などの介護が必要になったとき」「その他」の23.1%の順となっている。



4. 錦江町への評価

(1) 錦江町は暮らし続けることができる環境にあると思いますか。 (町民・問45)

「ややそう思う」が41.1%と最も多く、次いで、「あまりそう思わない」の35.3%、「そう思う」の14.4%の順となっており、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合は55.5%となっている。

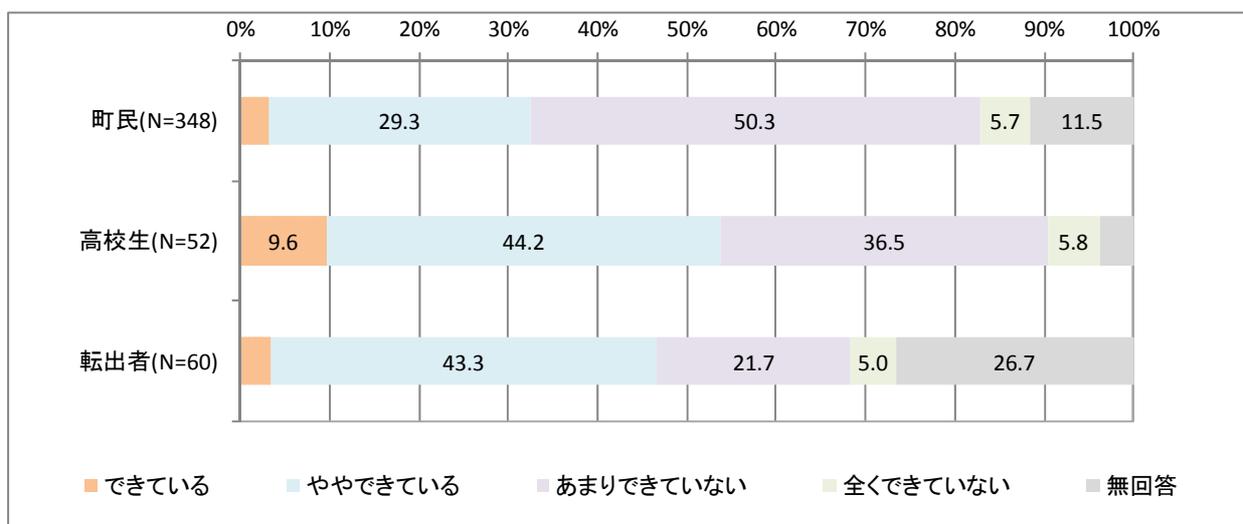


(2) 現在の錦江町は、「住みたい・住み続けたい」と実感できるまちづくりができていると思いますか。 (町民・問47、高校生・問17、転出者・問16)

町民においては、「あまりできていない」が50.3%と最も多く、次いで、「ややできている」の29.3%の順となっており、「できている」「ややできている」を合わせた割合は32.5%にとどまっている。

高校生においては、「ややできている」が44.2%と最も多く、次いで、「あまりできていない」の36.5%の順となっており、「できている」「ややできている」を合わせた割合は53.8%となっている。

転出者においては、「ややできている」が43.3%と最も多くなっており、「できている」「ややできている」を合わせた割合は46.6%となっている。



(3) 移住・定住促進対策施策への評価 (町民・問47-1、高校生・問17-1、転出者・問16-1)

錦江町創生総合戦略策定において、現在検討している6つの施策のうち、「安定したしごとの創出」は3種類の調査すべてにおいて重点改善として抽出され、重点的に施策に取り組む必要があると考えられる。

・町民

施策	重要度	満足度	評価
安定したしごとの創出	3.72	2.05	重点改善施策
町への新しい人の流れをつくる	3.48	1.93	改善施策
結婚・出産・子育ての希望をかなえる	3.63	2.37	重点維持施策
時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る	3.65	2.40	重点維持施策
情報通信環境の充実化	3.18	2.26	維持施策
平均	3.53	2.20	

・高校生

施策	重要度	満足度	評価
安定したしごとの創出	3.69	2.23	重点改善施策
町への新しい人の流れをつくる	3.51	2.21	改善施策
結婚・出産・子育ての希望をかなえる	3.71	2.66	重点維持施策
時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る	3.73	2.66	重点維持施策
情報通信環境の充実化	3.57	2.45	維持施策
平均	3.64	2.44	

・転出者

施策	重要度	満足度	評価
安定したしごとの創出	3.61	1.98	重点改善施策
町への新しい人の流れをつくる	3.44	2.07	改善施策
結婚・出産・子育ての希望をかなえる	3.66	2.89	重点維持施策
時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る	3.44	2.64	維持施策
情報通信環境の充実化	3.11	2.22	改善施策
平均	3.45	2.36	

※赤字…重要度は平均値以上、満足度は平均値以下、評価は重点改善施策を示す。

**(4) 錦江町総合振興計画・基本施策への評価
(町民・問47、高校生・問17、転出者・問16)**

錦江町総合振興計画で掲げられた10の基本計画のうち、「地域で安心、快適に働けるまちづくり」「災害に強く、住民の生命・財産を守るまちづくり」が重点改善として抽出された。

調査種類	重点的に取り組む必要がある施策【重点改善施策】
町民	「地域で安心、快適に働けるまちづくり」
高校生	「地域で安心、快適に働けるまちづくり」「災害に強く、住民の生命・財産を守るまちづくり」
転出者	「地域で安心、快適に働けるまちづくり」「災害に強く、住民の生命・財産を守るまちづくり」

・町民

施策	重要度	満足度	評価
住民と行政がともに歩むまちづくり	3.56	2.58	維持施策
支え合い、助け合いのまちづくり	3.68	2.77	重点維持施策
赤ちゃんから高齢者までの健康を守るまちづくり	3.63	2.79	重点維持施策
生活環境を維持するまちづくり	3.51	2.85	維持施策
地域で安心、快適に働けるまちづくり	3.70	2.12	重点改善施策
地域資源を活かした、活力あふれるまちづくり	3.53	2.22	改善施策
人の交流で活気に満ちたまちづくり	3.41	2.12	改善施策
住民が快適に暮らせるまちづくり	3.64	2.59	重点維持施策
災害に強く、住民の生命・財産を守るまちづくり	3.70	2.63	重点維持施策
幅広い世代が学びあうまちづくり	3.41	2.58	維持施策
平均	3.58	2.53	

・高校生

施策	重要度	満足度	評価
住民と行政がともに歩むまちづくり	3.64	2.87	改善施策
支え合い、助け合いのまちづくり	3.85	3.04	重点維持施策
赤ちゃんから高齢者までの健康を守るまちづくり	3.87	3.30	重点維持施策
生活環境を維持するまちづくり	3.76	3.26	維持施策
地域で安心、快適に働けるまちづくり	3.89	2.57	重点改善施策
地域資源を活かした、活力あふれるまちづくり	3.55	2.87	改善施策
人の交流で活気に満ちたまちづくり	3.70	2.57	改善施策
住民が快適に暮らせるまちづくり	3.87	3.04	重点維持施策
災害に強く、住民の生命・財産を守るまちづくり	3.91	2.79	重点改善施策
幅広い世代が学びあうまちづくり	3.60	2.79	改善施策
平均	3.77	2.91	

・転出者

施策	重要度	満足度	評価
住民と行政がともに歩むまちづくり	3.40	2.72	維持施策
支え合い、助け合いのまちづくり	3.58	3.06	重点維持施策
赤ちゃんから高齢者までの健康を守るまちづくり	3.57	2.87	重点維持施策
生活環境を維持するまちづくり	3.42	2.94	維持施策
地域で安心、快適に働けるまちづくり	3.62	2.28	重点改善施策
地域資源を活かした、活力あふれるまちづくり	3.46	2.62	改善施策
人の交流で活気に満ちたまちづくり	3.47	2.46	改善施策
住民が快適に暮らせるまちづくり	3.48	2.70	維持施策
災害に強く、住民の生命・財産を守るまちづくり	3.56	2.65	重点改善施策
幅広い世代が学びあうまちづくり	3.31	2.65	改善施策
平均	3.49	2.70	

※赤字…重要度は平均値以上、満足度は平均値以下、評価は重点改善施策を示す。

VII 自由意見

錦江町が活性化していくために、錦江町で生活していくために必要なこと等について、116件の回答が得られた。

・町民

施策別分類	件数
住民と行政がともに歩むまちづくり	11
支え合い、助け合いのまちづくり	29
赤ちゃんから高齢者までの健康を守るまちづくり	0
生活環境を維持するまちづくり	2
地域で安心、快適に働けるまちづくり	35
地域資源を活かした、活力あふれるまちづくり	13
人の交流で活気に満ちたまちづくり	21
住民が快適に暮らせるまちづくり	28
災害に強く、住民の生命・財産を守るまちづくり	0
幅広い世代が学びあうまちづくり	5
その他(施策に関する意見)	14
その他(施策以外に関する意見等)	7
回答件数	116

※1件の回答について、複数の施策別分類において件数としてカウントしている場合があるため、回答件数は施策別分類件数の合計を上回る。

自由意見(原文ママ)	地区	性別	年代
南大隅町と連携し、雄川の滝、神川大滝、佐多岬等の自然を活用した観光名所をアピールし、道路整備にも力を入れたほうが良いと思う。また、ツーリング等の来客が紙いことから「お勧めツーリングコース」等をサイト等で紹介し、錦江町全域を観光できるようすれば良いと思う。	馬場	男	20歳代
少子高齢化が進み、人口は減少していく今の流れでは、小さな街が独自に対策を行ってもほとんど効果はでないでしょう。大隅と言う大きな範囲で行動を行さなければこれから錦江町は遠退していくだけです。必要な事は他地域との連携。	馬場	男	20歳代
・土木関係の仕事も活性化できないだろうか？福祉施設との町が関わりを持つこと重要だと思われる。現在の施設状況把握すべきだし、数少ない施設、利用者の方々に楽しみ持って頂くこと大切だと思う。(今までの大根占をきづいてきた方々を大事にする)福祉施設、職員不足である。・生活保護もらっている人の方が生活リッチな人も居る。皆、汗水かき仕事している中、のほほんと一日イスにすわって世間を眺めている人達を中には居る。正直腹たつ。見直すべき点もあるのではなかろうか？(パチンコしたり、のん気に昼からビールのもんでる奴も居る)	馬場	女	20歳代
私は、2児の母をしていますがお恥ずかしい話収入に対して1ヵ月生活していくのが大変で車も1台しかない為子供が熱を出してもすぐ病院へ連れて行ってあげる事がむずかしいのでいつも子供の体調(熱が出るのが)こわいです。錦江町にも小児科などの医療の充実を願っています。そして、今住んでいる家も子供達が大きく成長すれば部屋がない為ゆくゆくは引越さなければいけませんが錦江町は家賃が高い所ばかりなので頭を悩ませています…活性化とは別の話になりましたが一意見として取り入れて頂ければ幸いです。よりよい地域になりますようよろしくお願い致します。	馬場	女	20歳代
錦江町内には自然に満ちた好スポットが多数存在している。しかし、同じ県内に住んでいたが、好スポットについて耳にすることがほとんどなく、住んでみて、初めて知った。また、花瀬駅伝などは、県下にほかれるイベントだと感じた。町の活性化には、自然をピーアールすると同時に、自然を活かした施設、イベントを計画し、継続的に活動を続けることで全国から人が訪ずれ、産業が活性化すると思う。その流れができれば、通路交通網を整備すればよいと思う。	馬場	男	30歳代
医療施設、若いDrの少なさ(量)に不安を感じる。	馬場	女	30歳代
☆町をアピールできるような他の町にない特徴を見いだすこと☆自然を活かしたレジャー施設(季節問わず町外の人々が来たいと思えるような)☆町内の住民がいつでも遊びに行けるレジャー施設など、町外だけでなく町内の住民の毎日を活性化できることも考えてほしいです。	馬場	女	30歳代
他の町と同じことをしない。差別化をする。	馬場	女	30歳代

自由意見(原文ママ)	地区	性別	年代
肝属医師会病院を何とかできないですか。救急でも診察してもらえない、はっきり言って為にならない病院です。救急搬送の場合、鹿屋まで行く間に手遅りなる場合もある。しっかりした病院にして下さい。	馬場	男	40歳代
一次産業だけでは若者は本町に定住しない。企業誘致、独自の6次産業の起業が実現できれば町外からの人の流れも起こると思う。本町の特産物を活かした付加価値のある物づくり。	馬場	男	40歳代
若者を雇用できる事業の創造や、インターネットを活用した起業家の育成など、若者が定住できるような環境になれば活性化につながると思います。	馬場	男	40歳代
鹿屋市、肝付町、南大隅町と連携を深め大隅半島全体で取りくむ必要性は多いと思う。レゲエ祭りや花瀬祭りは吹上浜の砂まつりに負けないくらいPRしても良いと思います。自転車レースもツールドフランス目指しても良いと思います。	馬場	男	40歳代
・仕事(働く場所)・福祉の充実・交通便の発達・介護しながらでも子供が安心して働ける町内・介護のために子供が夢、仕事、希望をすて、あきらめないですむようにしてほしい・介護している人、特に1人でW介護の負担は心身に大きい。介護者の方が先に倒れそうです。←倒れかけてます。すでに心身にボロボロ疲れきっています!! ◎何度もアンケートを取られています、しっかり活用されていますか? 全く活用されていないように感じます。※検診など、県内すべての自分のかかりつけ医で検診を受けられる制度を導入してほしい。(1番主治医が自分の体を分かっている)	馬場	女	40歳代
今やネット社会において地域に住みながら大きく言えば世界を相手に商売もできる。空港へ、鹿児島市内へもっと近い交通整備も重要と思う。錦江町に住みながら仕事はできる。環境アクセスを良くして富裕層の別荘地開拓なども手だと思ふ。逆にネット環境を利用して錦江町をアピールをしていく事も大事。お金をかけない手法もある。あと、子育て支援を次男の時に利用したかったが、ボスの存在がいて彼女の下につかないといけないという理由で利用できなかった。上辺の事ばかりではなく内部調査をし、皆が利用できるようにしてほしい。	馬場	女	40歳代
空家を借り上げ整備し、安価で定住促進できる様にして町外からの転入者を増やす。街中の小さい道路の整備。	馬場	男	50歳代
・少しでもお得な情報を常に町の放送を通じて、知らせたい。	馬場	女	50歳代
・子供たちが安心して遊べる場所、公園遊具など少ない。・雇用問題の充実(障害者の雇用問題ももう少し考えてあげてほしい)・道の駅の食飲店がない。・農業の活性化→(若者、後継者の減少をくい止める)	馬場	女	50歳代
人材育成、新しい起業誘致、IターンUターンの促進、高齢者が多く、病院、買い物等に小型乗り合いバスを本通りだけでなく海岸通りにも運行出来れば利用者も増える	馬場	女	50歳代
大隅半島は、山と海が美しい所なので、もっと自信を持って、P. Rしていいと思います。錦江町も、そのうちのひとつで、楽しめる所たくさんあります。近隣の市、町と、(特に、南大隅町とは)連携して行くべきだと思います。立ち寄ってもらえれば、いろいろな相乗効果が、期待できそうな気がします。(バイパスの舗道の雑草が、生い茂っているのが、気になります。タイヨを過ぎたあたりから…)	馬場	女	50歳代
生活に対して不便である。	馬場	女	50歳代
錦江町へ住んで月日がたつてないのでよくわかりませんが、これからも安心していけるような気がします。佐多・田代・根占・大根占に住んでいますが、良かったと思っています。鹿屋も近いし病院も近い、これからも住みやすい町づくりをお願いします。	馬場	女	50歳代
問48について1~10の設問に答えられるほど、移住して浅いので感じられておりませんすみません。まちづくりについて意識をたかめていこうにします。	馬場	女	50歳代
個人個人が自分に合った仕事に就く為に努力と世間に協力して貰い、一生働ける場所を確保する事だと思います。そして、家庭を作り家族5人位で生活できる状況を創れたら理想だと思います。何組も何組も。まず、人口流出を防ぐ事、その課題は、私には難しすぎます。	馬場	男	60歳以上
1. 埋没化又はデッド化している錦江町の個人又は公共の資産を活かす。(1)道の駅錦の里の駐車場を拡張し、出入りの円滑化ともに来場者の促進を図る。具体的には道の駅隣の保有の空き地を整備し、出入りしやすくする。全国的に道の駅は増加しており、単なる物産館にとどまらず、地域の活性化につながっている。(2)錦江町内の個人の空き家を無償で提供してもらい、町のホームページ等を活用者に全国に呼びかけ活用者を募集する。活用者には無償で貸与する。無償提供者には固定資産税を免除する。空き家は使用しなければ、益々劣化するだけであり、活用することで保存が図れる。全国的に空き家が増加の為、国の法律で危険と思われる特別指定空き家対策が実施されつつありチャンスでもある。但し、労働可能な50歳までの健常者に限る。(3)錦江町の海岸線を磯釣り公園化する。錦江町には磯釣り出来るポイントが多く、現状でも鹿屋市や都市、志布志市等から釣りにきている人は多い。特に、現状出入り困難な次の場所にも通路を設け、全体として磯釣りの町として人の交流促進活性化を図る。 〈出入り通路設定場所〉皆倉集落のタンサキとタタンゼ	馬場	男	60歳以上
役場内に政策推進課が設けられ出前講座をして頂いているようですが、積極的に各集落、グループを回り町民の今思っている意見を聞いて頂きたい。この欄には、書ききれないほど意見はあると思います。アンケートに頼るよりずっと貴重な意見が出ると思います。もっともっと出前講座をアピールして役場が取りくんでいる事業なりを町民に教えてほしい!	馬場	女	60歳以上

自由意見(原文ママ)	地区	性別	年代
・移住者、交流人口の増加を図り、空屋対策や観光の充実を図ること。・高齢者が元気にくらせる為の対策を構じる。・出産祝金等の整備。・新作物の導入で興す農業振興。・専門学校等の導入で教育の町へ。	馬場	女	60歳以上
近年人口減に対しての対策が必要かと思われます。南大隅町では三人目四人目出生のたびに支援されたりしていますよね。錦江町にも若い人がたくさん住んでくれるように努力してもらいたい。又神川など海水浴設備などで観光面でも人を呼び活性化する必要がありますと思います。	馬場	女	60歳以上
この以上介護保険料とかの出費が増えない様に希望します。ふる里館やにしきの里など地域外からの客が増えて、交流人口は増大していますが町の活性の為に定住者の増加しかないとします。以前テレビでどこかの小さな村が全国に発信して保育料無料とかいろんなメリットで村に移住者が増え子ども達がにぎやかに過ごしてる放送がありました。空家、空地を利用して、農業の後継者を育てていける様な支援をうち出し、県外からの移住者をよびこめないものでしょうか。	馬場	女	60歳以上
若者の働く場所がないから本町にも製造業などがあるといいと思う。そして子供の遊ぶ公園もあるといい。	馬場	女	60歳以上
人口は減って行き、高齢化率はあがる中、人々を錦江町へ買物がてら遊びに来ていただく思索はどうでしょう。農作物をあらず猪を使ってみたらどうでしょうか。専門家に依頼して、加工を指導してもらい特産を作り上げ、たとえば(クンセイ・焼イノシシ・ハム・ポタン鍋の素)他色々直販をかねイベント・そして来客にはシシ鍋をふるまい、猪肉の美味を矢つてもらう。	馬場	女	60歳以上
・小児科が近くにあると安心できると思う。・保育料免除があり、とても助かっている。子どもを育てやすい環境に感謝している。・若い人が入ってこれるように、どんどん住む場所を作り、アピールするべきだと思う。	城元	女	20歳代
税金を大切に。学校の統廃合をすみやかに。	城元	男	30歳代
どんどん、少子高齢化が進んでいく中、人口が年々激減しています。外からの入居者を入れるために、雇用を少しでも増やして、現在町内に居る方をささないようにしてほしい。	城元	男	30歳代
役場の企画課の人材の選び方が悪いのか、青年団等かわからないけど、錦江町民すべての人々が楽しく、また、町外からも、錦江町に住みたい、勤めたいと思うような企画、案を作ってもらい町内に住んでいる人も、今まで以上に、町内に残りたいと思うような、政策を考えてもらいたいものです。	城元	男	30歳代
自分の個人的な感想です。実際は錦江町はいろんな取り組みをしているとは思いますが周知が足りないような気がします。町報という媒体があるのですからもっと活用したらよいと思います。	城元	女	30歳代
子育てをしていく上で今一番困っている事は、小児科の病院が近くにないことです。又、仕事をこれから始める時、病児預りができる所がないのも、困ります。又、錦江町で、子供を遊ばせる公園(遊興)があれば嬉しいです。	城元	女	30歳代
公園やお店、レストランなどできるといいと思う。	城元	女	30歳代
若い世代特に子育てをする世代が住みやすく、子供達がのびのびと暮らせて、しかし、他県の中心的な都市の教育環境やスポーツ設備にひけを取らないような教育を受ける事ができて、地元の間でなくても住んでみたいと思えるような町になって欲しいです。	城元	女	30歳代
家を探している人が多いのに、空家ながら住める状態の家が少なく、不動産などにも町内の物件は出ていないので、もったいないと思う。家主の方に、貸出しの話などを進めてほしい。	城元	女	40歳代
若い人達の定住促進を考えて欲しい。錦江町にこれと言った産業が無く、高校・大学を卒業しても、地元に戻り就職する人が少ないです。見かける人は高齢者ばかり、自分たちが高齢者になった時は、人口の何%占めるのか不安です。若い人に魅力のある仕事、魅力のある町に…農業、漁業も取り組み次第で活性化するのは、ないでしょうか。	城元	女	50歳代
もっと、史跡や名所など整備をされ、観光開発を進めてほしい。	城元	女	50歳代
草が道路に出ていて白線が見えにくい。大木や竹が道路にはみ出していたり垂れ下がっているの、観光バスは通りにくいと思う。	城元	女	50歳代
錦江町が活性化することはうれしいことで、私もそうあってほしいと思っています。でも現在の所どうですか、人口減・高齢化・少子化です。中長期的な地域活性化が必要とありますが、あと20年もすれば人口は何人になるのでしょうか。そういう状態のなかで、活性化がほんとうにできるのでしょうか。消極的な考えですがわかりません。これが本音です。まず人口が増える政策をお考え下さい。お願いします。	城元	男	60歳以上
子供達の明るい挨拶が最高によい。地域の良さの象徴に思える。が、少子化の影響もあるが、これからの時代には必ず競走力に対する強さは必要で、現実を受け入れ、目標に対して向き合う強さが必要です。小人数の学校には行かせられないので、町外への移住しか現状では選択する事が出来ません。そういった事も含めての、学校教育であり、子育て支援なのではないでしょうか。住民含め、役場の方々の頑張りもすぐ伝わっています。こういった形でも、町づくりに参加出来る事をうれしく思います。	神川	男	30歳代
働く場所	神川	女	30歳代
雇用を安定させてもその個人が働く意志がなければ意味がない。我が子供が人なみに生活を送ること、学習をさせてあげたいと願うため親は働いていますが、生命保険や色々出費も多い。預金もできていない。	神川	女	30歳代

自由意見(原文ママ)	地区	性別	年代
結婚の出会いの場は少ない。夫婦共働きのため、小学生の登下校は子どもも減ったため心配である。帰宅後も、子どもだけで自宅にいる。地域の方が、公民館などで、昔の遊びを教えてくれるなどして親が帰宅するまでみてくれるとありがたい。家では、ゲームやテレビしかみてないので、それも心配である。	神川	女	40歳代
子どもの遊び場、娯楽施設が無いので、幅広い年齢が集まれる場が欲しい。例えばカフェや休憩の場を合わせもつ大きな図書館など。	神川	女	40歳代
若い人達が働ける場所がほしいです。学校を卒業しても、働く場所が少なく、都会へ出て行ってしまいます。そのため、高齢者の人口が、若年者に対して多くなってしまいます。	神川	女	50歳代
簡単ですみませんが、町外の人から、1つでも、うらやましがられる、住んでみたいと思って頂けるような、町になればと思っています。協力できる事があれば、何かできるかわかりませんが、少しでも力になりたいです。etc、廃校を利用して野菜の加工場を作るというのは、どうでしょうか？	神川	女	50歳代
年間スローガンみたいなのを立ててみたらどうだろう。1年で無理なら2ヶ年計画でとか、まず簡単な身近な問題から。	神川	女	50歳代
10年後の町人口は？20年後の人口は？役場の人たちはどのように考えているのか知りたい。役場の人たちはどのように考えているのかわからない。	神川	女	50歳代
・交流民を大切にする施策の実施。・人材の域を築くこと。・人を活かす施策の実施。・恵まれた自然環境の活用を図ること。	神川	男	60歳以上
活性化するには、もっと行動力、冒険心のある人が、上に立つ人が居るといいと思います。錦江町の人々はぬるま湯に入ってるみたいです。	神川	女	60歳以上
この町には、花瀬、神川大滝等いくつも有ますが、インパクトが弱い。拡大しない様に思います。例えば、神川キャンプ場から大滝までつらなる桜並木(河川法とのせいやくは有ると思いますが…)ここでしか見れない又、行きたいと思える観光地作りに取組むべきだと思います。相撲取り節、鳥居建て、踊り、火の神講、等々郷土芸能も三味線を弾ける方がほとんどおられなくなり風前の灯です。ぜひ御一考を。	神川	女	60歳以上
若者、家族連れ、年配の方、みんなが参加して楽しめるようなイベントをたくさん増やしてほしい。	池田	男	30歳代
福利厚生が充実し将来性豊かな企業等の誘致や、産業を発展させ、多量の雇用の安定化を促進させるような施策を講じることにより、若年層の町内居住定着の拡大を図る。	池田	女	50歳代
道の駅も夜はさみしいと感じる。町内に働く所が増えて欲しい。加工場(会社)など。古里納税を活用してふるさとをアピール。年を取った時が大変になると思う。	池田	女	50歳代
子どもを四人設けたがお金がかかるので、もう少し援助してもらおう事を希望する	池田	男	
職場の提供は勿論、安心して働き続けられる環境を作って頂ければと思います。まず、今は住んでいる方々が、安心してこの町に住み続けられる環境をつくる事で、人の流れがなければいいなと思います。	宿利原	女	20歳代
毎月町の人口が減っている。さびしいです。町職員は何とと思っているのだろう。町の女性公務員は出産してもらいたい。町に限らず、国、地方の女性公務員は政策(人口増)に協力すべきである。	宿利原	男	60歳以上
住宅があまりにもボロボロ。働ける所が無いので常に金欠。	麓	女	20歳代
公共性のある分野を行政だけが担うのではなく、行政と民間が協働して、さらには、民間の団体が主体的に担っていく、新しい公共の形成が必要であると思う。コミュニティで考えれば「住御自治の力を高めることによって住民主体の活動を広げ、地域の課題を地域で解決できる」コミュニティの形成。そのような考えの人が増えれば、活性化すると思います。(社会教育の充実)	麓	男	30歳代
やはり、雇用が一番大切だと思います。あとは、住居で、一人でも、住める所があれば良いかと。	麓	男	30歳代
・若い人達がいろいろな行事に積極的に参加していけばいいと思う。・空き家(身内の方が町外に住んでいる等)になっている所や土地を有効活用できないか。←(錦江町に住みたいが、家が見つからない)等よく耳にする。・子育て支援に力を入れて子供が増えても(保育園に空きがない。学童が人数オーバーで受け入れてもらえない)では話にならない。←支援活動には大変満足していますが、今後の対策に期待します。	麓	女	30歳代
☆家を建てるための支援。住宅が空けば他の土地から錦各町に帰ってくる方もいるはず。☆錦江町は交通の便が悪いだけで、良い観光場所、おいしい食物もあるので、もっと錦江町を知ってもらうようにPRを工夫されたら…。☆南大隅町のように子ども3人目～お祝い金という制度があればもっと子供が増えるのでは。	麓	女	30歳代
子育てがしやすい町！錦江町だと思います。これからも期待しています。	麓	女	30歳代
錦江町ならではのアピールポイントがないので、何か新しく作って町外からの人を呼び込んだり、新しく雇用先などを作って欲しいです。人が働ける場所を作る事が重要だと思います。	麓	女	30歳代
錦江町の素晴らしさを伝えていき、子供たちが進学、就職等で一時離れても、いつか帰郷し、戻ってきたいと思えるような町でありたいと思う。一番の産業である、農業に力を入れて農家の方達が潤えるような、町としての対策も練ってほしい。	麓	女	30歳代
町を出て行かなくて済むような、生活費を稼げる働ける場所を確保すること。農業所得が向上するような施策。子育て世帯及び子どもを産める世帯への減税施策。	麓	男	40歳代
現在の一次産業者が、一人は必ず雇用できる経営をすることで、活性化するのでは、ないか	麓	男	40歳代

自由意見(原文ママ)	地区	性別	年代
色々なしがらみにとらわれることなく、広い視野で客観的に判断して町をどうしたら良くなるか考えなくてはいけない。今だに田代の方が…大根占の方が…南大隅町よりも、鹿屋よりもなど言っているようでは、何もならない。大隅半島がひとつというくらいの気持ちでお互い支え合わないと、ダメになる一方。高齢化している事実をきちんととらえ医療や福祉に力を入れて大きな施設もありだと思ふ。雇用にもなるし若者が働けば、子供も増える。少子化だからと育てる能力の向上をせず、産むことの優先にはいけないと思ふ。育てる環境、能力を整えてから出産率をあげるべきだと思います。	麓	女	40歳代
少子高齢化が進んでいる錦江町ですが、今まで頑張って来られた高齢者の方の保障もそうですが、やはり重要なのは、子どもを育てるにはすくお金がかかります。出産祝い金、多子世帯への保障は必要です。こども医療手当、児童手当、中学校まででうち切られる…。せめて18才まで(高校卒業時)は児童手当等はあれば本当に助かると思ふ。	麓	女	40歳代
若者が残って働ける場所がないのが残念。中学、高校から町外や市内に移り、やがて錦江町に帰ってくるのがない。	麓	女	40歳代
学校を統合させない。交通の不便さ。娯楽の充実。	麓	女	40歳代
もっと、町外からの移住者が増えるような、移り住みやすいような環境を備えていくと良いのではないかと思ふところです。	麓	女	40歳代
毎年かいているが本当に役に立っているのか??結構20ページかくのは大変です	麓	女	40歳代
地域活性化のために日々まちづくりに努力されていることに感謝しています。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されればその一つ一つの事業(戦略)を町民にどんどんPRすることが必要だと思います。	麓	男	50歳代
旧大根占町と田代町の接点が意外に少ない気がします。錦江町という一体感が感じられる取組を増やしていけたらと思ふ。	麓	男	50歳代
私は錦江町に一生住み続けたいので、行政にたよるだけでなく町民と行政が協力し合っ、住みやすい町になってほしい、自分に出来る事は何でもしたいと思ふ。	麓	女	50歳代
人口減少や高齢化はもはや避けられません。さらに老人ホームなど福祉の充実や保育園等子育て環境の整備が必要と考へます。また農業水産業の振興も重要かと思ふ	麓	女	50歳代
林業、農業を生かして、高齢の方も収入を得る事ができそうな、何か自然がいっぱいあるのでこの自然の良さを知ってもらいたい	麓	女	50歳代
錦江町は、高齢化率が県内でも高い町で、人口減少が続いています。独自路線を行くよりも近隣市町村との連携を強化し、この美しい自然の中で、皆が健康で、幸せに暮らしていくことを望みます。	麓	女	50歳代
・若者が定住できる環境づくり→地場産業だけでは雇用拡大にも限界を感じる。鹿屋市等と連携した企業誘致→これによる勤労者向け住宅等の整備。・どうすれば人口が増やせるか、特に若年詔、子供の人口増	麓	男	60歳以上
現在の車社会において病院等に行くための交通手段のない者は、年を取って足腰等が悪いと非常に困ります	麓	女	60歳以上
独身者用1Kマンションの建設の計画。錦江町、南大隅町、合同で商店街、娯楽施設のモール街の建設。都会からの移住者の受入(新しい風を入れ意見も聞ける)仕事場の増加	上部	男	40歳代
全国どこも同じようなことだと思ふ。一町でなく、これからの長い目で考えると大隅米島全体で取組み他にない新しい農・林・水産業の開発・雇用促進等、この大自然を生かした観光や資源の活用等、海外からも行きたい、住みたいと思える地域づくり、ものづくり、人づくりが必要と思われる。	上部	男	60歳以上
・錦江町に小児科病院が欲しい。・若者の住宅確保(新しい住宅や空き家の提供等)・雇用の安定	大原	女	30歳代
活性化の前に大原地区には、町水道さえ整備されていないことを理解していただきたい!!観光客、子供、老人に井戸水、わき水を飲ますのですか?この様な、アンケートに不快を感じます!	大原	男	40歳代
錦江町は安定して働ける職場が少ない。もっと事業主への雇用奨励金等の強化をはかり、事業主が安心して人を雇えるようにすれば、人も集まり錦江町以外で職場を探す必要もなくなると思ふ。	大原	男	40歳代
アンケートの質問が多すぎる。アンケートは何回でも取れるので、何かにしぼった質問が良いと思ふ。又、行政にたよる町では駄目。自分の事は自分でしてほしい。	大原	男	40歳代
屋外で、子供や高齢者の人達をよくみかける町、若者が若者同志で会話が多い町になれば、町が明るくなり、なにか生まれそうである。町出身者で、町外に現在居住しているシングルマザー及びシングルファザーのUターン支援(子育ての支援・雇用の創出)をしたら良いのでは。	大原	男	50歳代
よそから工場、会社などもってくる。はたらく場所つくってもらおう。	大原	男	50歳代
政治活動で人と人が心からつながった町にしてほしい	大原	女	50歳代
むずかしい質問が多いでした。※道路の水たまりが多くて、対向車や歩行者との通過が、事故につながりそうです。排水が悪いと思ふ。	大原	女	50歳代
企業誘置、林業の推進、(若者向け雇用促進)観光ガイド、土産品の開発、宿泊施設の充実。	大原	男	60歳以上
若い人が安心して働ける会社などが出来たら町外に出なくても人も増えると思ふ。	大原	女	60歳以上

自由意見(原文ママ)	地区	性別	年代
使われていない土地を産業、工業(大型)に提供して使ってもらえばもっと人も流れてくる気もする。環境汚染とか言われるが、東京、福岡のようにビルだらけになるわけではないし、ある程度考えての産業工場ならそこまで変わらないと思う。何もせずに、やほ払いなどにお金ばかりかけていく方が負担が大きい気がする。	川原	男	20歳代
統計的に処理されるのであれば、アンケートの結果を町報などで公表するべきだと思う。町民の考えを公表し、それが今後の町政にどの様に活かされていくのしるためにも必要である。その情報を公表せずに役所管内のみとするなら外部に移す必要はない！！税金のムダ使い	川原	女	30歳代
・公共交通機関が少なく、移動手段の自由化が原則だと考えます。高齢者の運転(自動車等)を、安全の為に制限する事で、乗り合いや、低価なタクシーなど必須です。・働き手の所得が最低限度しかなく、賃金アップが町の活性へと直結します。	川原	女	30歳代
鹿屋市のように、中途職員を受け入れる等、雇用の充実を図ることをのぞみます。	川原	女	30歳代
錦江町に住む場所、仕事があれば住みつけられる人がもっと増えると思います。家を借りたくてもなかなか貸してくれるところがなくて困った経験がある為いざ若い人が住もうとしても住むところがないし、家を建てる場所もないのでは定住はむりだと思います。あと今の時代ネット環境も重要です。地理的不理を少しでもネットでうめることができればと思います。	川原	女	30歳代
活性化とはつながらないが、高齢者の多いこの地区で、その対応が少なすぎる。自宅で生活するための、サービス、交通、商業など、必須のものが足りないため、錦江町で、今後の生活を送るという思いにならない。	川原	女	40歳代
今ある物で生活するのに不自由はないです。ある資源を利用して、雇用にも繋がり、若い世代の人達が1人でも多く住めるような地域になってくれたらいいと思います。	川原	女	40歳代
自然を生かした町づくりを推進し、他にない自然レクリエーション施設等をつくり町外・県外からの観光客を誘致できる設備を。又、南大隅町や、近隣の町とも提携し、本土最南端の観光づくりを整備。そこに雇用も生まれ、町外からの収入も増え、町の活性化につながる。レジャー施設、宿泊温泉施設、商業施設等の開発推進を提言。大隅半島全体での観光推進を実験してもらいたい。鹿屋市、パラ園、志布志のイルカランド、南大隅の自然を活用し、大隅半島にも立派な宿泊温泉施設をつくり、観光客を増やす地域づくりを目指して欲しい。今の半島には活気が全くない！！	川原	男	50歳代
大部分が山林に囲まれた地域にもかかわらず、山林資源を生かすことができていない。杉や桧の建築材としての活用、広葉樹を植木、木工材として活かす、あるいは山に林間に植えて育てる作物等。他県でできていることに手をつけられていない。観光も自然を中心とした、人が来なくなる地域創りを望む。	川原	男	60歳以上
道路も広くなり、田んぼのあぜ道も利用されている所はコンクリートをぬり、よく出来ていると思う。(水利費の活用で)大根占の方もスーパーが変わってゆくし、田代は鹿銀閉店でだいたい不自由をしている。高齢者になるとバス利用は不可欠、個人的に足になってくれる、小型タクシーのようなそんなわがままで、でも交通事故も少ないので今の所はいいですが。	川原	男	60歳以上
錦江町大根占田代地区は、以前農業生産活動が、高水準で牛、園芸等生産量、技術が高く、色んなスポーツ剣道なども全国に名が残っており、古を知り、現在を伸ばす行政を希望します。	川原	男	60歳以上
他の行事は、仕方ないけど、町民運動会だけは、それぞれのグラウンドで、別々にしてほしい。障害者でもあるし、地区の人々と楽しみたい。地区別で、点数を付ける大会はいらない。前の議会で、大根占のある議員がずっと大根占で開催したらいいと意見したと聞いた時、ハラがたった。	川原	男	60歳以上
若者が定住するための1つの要素 インターネット回線は非常に重要です。今のままでは定住は難しいでしょう。20年、30年、50年先に目を向けて下さい。	川原	男	
故郷を守る為に、高齢者の敬いと同時に若者(生産世代)の確保が不可欠である。保育料軽減や医療費の無料化を前出しにして言われるが、それを受ける“人”が極端に減ってきているのは、いなめない。それを転入したいとする若者たちを拒否する様な町に発展はない！もっと、他の市町村を見習い、学習してほしい。人の減少により、商工、教育、農業etcすべてに影響する事を考え、ばかげた、目論みに左右されない町に期待したい。	花瀬	女	30歳代
むずかしい 人口減少はとめられない	花瀬	男	40歳代
・若者の働く場所がないから、人口もどんどん減少していく。土地提供でもして、大きな工場を建てたり、農業をもっと活性化させたりして、若者を留めさせたい。・高齢者も田んぼ等作らなくなり、手付かずの田んぼ、畑がたくさんあると思う。今も、してはいるがそういう土地を、どうにか利用して、もっと農作物作りの活性化を図るとか…。	花瀬	女	40歳代
人口が減少している中で活性化はないと思う。今の人口も維持できない、働く場のない町に特別期待はしていない。高校卒業したら都会へ出て行くのもは当たり前だから過疎化は、とめられない。観光、知名度という前にもっとやるべき事があるはず、福祉がどれだけ錦江町は遅れているのかを把握し動くべきでは？働ける、企業をもって来ないと、人口は増えない。若い人の住む場所もない。田代地区にもっと住宅を作るべきでは？10年後が心配です。	花瀬	女	40歳代

自由意見(原文ママ)	地区	性別	年代
<p>南大隅高、鹿屋体育大等の自転車練習が近年ふえています。もっと快適にそして安心して練習が続けられる様に、錦江町の観光と結んで応援していきたいものです。◎町内一円のガードレール清掃と塗り直し(特徴のあるカラー)とか。◎ガードレールの網フェンスもさびて破れた所も点検、工事してほしい。</p>	花瀬	男	60歳以上
<p>住民と行政が情報交換をし合えばよいと思う。</p>			

・高校生

施策別分類	件数
住民と行政がともに歩むまちづくり	0
支え合い、助け合いのまちづくり	0
赤ちゃんから高齢者までの健康を守るまちづくり	0
生活環境を維持するまちづくり	0
地域で安心、快適に働けるまちづくり	6
地域資源を活かした、活力あふれるまちづくり	2
人の交流で活気に満ちたまちづくり	12
住民が快適に暮らせるまちづくり	4
災害に強く、住民の生命・財産を守るまちづくり	0
幅広い世代が学びあうまちづくり	2
その他(施策に関する意見)	1
その他(施策以外に関する意見等)	1
回答件数	23

※1件の回答について、複数の施策別分類において件数としてカウントしている場合があるため、回答件数は施策別分類件数の合計を上回る。

自由意見(原文ママ)	地区	性別
もう少し仕事を増やす。高速道路を近くまで通す。	馬場	男
新しい雇用を増やす。	馬場	男
安定した職場をもっと増やした方が良いと思う。	馬場	男
世代を超えたコミュニケーションが取れる場所や時間があれば活性化すると思う。	馬場	男
町報に載っている技術者、生産者のコメントを見ると地元で頑張っていると感じます。こんなに素晴らしい人達がいるので、町で外に向けたアピールをすもっと物流に関しての生産が増す方法はないものかと考える。また、高校の存続にあたり、学校説明会では、欠席者が少ない楽しい学校のイメージを受けたが、生徒が行こうと思う魅力がいま一つ不足しているのではないだろうか。希望する学科があれば、交通の面でも便利なため、親の希望も含め南大に通ったと思う。	馬場	女
若い人を増やすこと。	馬場	女
町をあげてのイベントを増やす。ジャンボリーとかは特に、もっと情報を発信していけばいいと思う。	城元	男
もっと活性化すべきだと思う。店など	城元	女
もっと錦江町をアピールする	城元	女
もっと農業がしやすい環境をつくって欲しい。耕作放棄地などなくすために、少しでも安く田畑を農家に貸してもらえるなどの制度を作って欲しい。他にも、機械などの整備を整える時の補助などを、兼業農家などでも補助してもらえるようにしてほしいです。このような支援などを少しでもしてもらえれば、地元の錦江町で農業をしたいと思っています。	神川	男
子どもや若い人が遊べる場所が大滝公園くらいしかない。少しアトラクション系の場所ができればもっと活気が出ると思う。	神川	男
アンケートの内容が難しかった。錦江町の状況も分からなかった。	神川	男
砂浜が少ない。海辺で遊ぶことが少なくなってしまった。海水浴や遊べる場所が少ない。買物に行くにも親の送り迎えをしてもらえないとできない。また、通学もバスの便が少なく不便である。友達と話をするカフェも近くにない。不便。町おこしイベントで人を呼び込むものがあれば良い。パワースポットツアー。	神川	女
お祭りなど町での大きな行事ごとを増やした方がいいと思う。	神川	女
一人一人を大切に。今よりずっと。自然を使ったアクティビティを安全第一で出来るところをつくる。さらに、気軽できるようにする。	神川	女
高校生が遊べるような場所を作って欲しい。	神川	女
イベントを増やす。	池田	男
若者が増えることと、店を増やす事だと思う。錦江町と言っても範囲が広く、店が多い地区と少ない地区があり、不便であるので、商店が増えることで、もっと活性化していくのではと思う。	池田	女
両親の大変な姿を見て、雇用と給与などに不安を感じる。また、教育現場にも、不安がある。「いじめ問題」などに関しても、学校などあまり動いてくれているように感じない。むしろ、世間体を保つような感じが目撃されたと思う。これでは、将来「帰って来よう」という気持にはなれない。もう少し、寄り添った形をとってくれてもいいのではないかと思います。	麓	女
まず、働く場所を増やしてほしいです。就職しようと思っても、近くて鹿屋が多いので、町内で働きたいという人のために、職場がもう少しあればいいと思います。	麓	女

自由意見(原文ママ)	地区	性別
お店が欲しいです。コンビニなど。	麓	女
沢山の人々に錦江町の良さを知ってもらい、拡散していき、それに伴い、この町に住みたいと思われるまちづくりをしていく。イベントを通して、錦江町の良さを発信していく。	川原	男
雇用の確保。		

・転出者

施策別分類	件数
住民と行政がともに歩むまちづくり	1
支え合い、助け合いのまちづくり	6
赤ちゃんから高齢者までの健康を守るまちづくり	0
生活環境を維持するまちづくり	1
地域で安心、快適に働けるまちづくり	32
地域資源を活かした、活力あふれるまちづくり	10
人の交流で活気に満ちたまちづくり	21
住民が快適に暮らせるまちづくり	31
災害に強く、住民の生命・財産を守るまちづくり	0
幅広い世代が学びあうまちづくり	8
その他(施策に関する意見)	18
その他(施策以外に関する意見等)	4
回答件数	28

※1件の回答について、複数の施策別分類において件数としてカウントしている場合があるため、回答件数は施策別分類件数の合計を上回る。

自由意見(原文ママ)	地区	性別	年代
全体的に活気が少ない。イベント等行うことがあっても、気が付かないので、もっと発信した方が分かりやすいと思う。観光地の活性化や特産品を使ったものなど、錦江町を知らない人にいいなと思ってもらえる特徴が何かもっとあれば、賑やかになる。	県内	女	20歳代
日本の礎を築いてこられたご年配の方々への福祉充実はもちろん大切だけれども、これから町で過ごす子ども、若い世代への支援の充実に力を入れて行った方が未来はあると思う。議員の方にか申し訳ないが、「自分たちは全体への奉仕者である」という覚悟のもと、身を削って仕事をして頂いた方が町民としては行政への信頼が増すのではと思う。既得権益を手放すことができるかは、議員の皆さんの意識の高さにかかっているのではないのでしょうか。それでも、最近の錦江町は町をあげて「盛り上げていこう!」という行政の皆さんの活躍をメディアにて拝見する機会が増え、嬉しく思っていることも確かです。	県内	女	30歳代
お店をもう少し増やしてほしい。電車を通してほしい。	県内	女	30歳代
自家用車がない場合の交通面が不便。	県内	女	30歳代
自然豊かで、優しい人の多い錦江町が、とても好きでした。転勤で町外へ引越すことになり、離れてみて、錦江町の良さを改めて感じています。知り合ったすべての方々と、これからも繋がっていきたくと切に願うばかりです。お世話になりました。子育て支援は、充実してます。もっともっと充実させてください。	県内	男	40歳代
農林水産業を中心に活性化を図り、新たな産業を創造、都市部への発信。転入者への住居の提供、あるいは補助。空き家を利用しやすい体制。学校の統廃合、教育環境の充実。	県内	男	40歳代
若者が定住し子育てをするための雇用、住宅が必要だと思います。	県内	男	40歳代
とても住みやすい町だと思っています。(交通・買い物・医療・教育)町内外の方にその良さが十分に伝わっていない気がします。今後、生活のしやすさという視点でPRできると、関心を持つ方ももっと増えると思います。	県内	男	40歳代
子どもが小さいうちは、のどかで良い環境なのですが、大きくなると(高校生)交通機関で通学するのが大変。費用がかかる等の理由で大変不便になります。また、少子化による子どもの減少で、教育水準の低下も心配になる所です。その他、高校卒業と共に進学・就職で町外へ出ることが当たり前になっています。	県内	女	40歳代
大切な故郷で落ち着ける場所ではありますが、生活するうえで不便なことが多すぎて、生活する選択を見いだせません。町の将来に期待が持てない気がします。	県内	女	40歳代
1. 交通機関の充実。2. 雇用の充実。3. 福利厚生の充実。	県内	男	50歳代
役場の方々が地域根ざした活動をしているのは良く分かっています。良く頑張っておられると思います。しかし、人口の流出はなかなか止められません。やはり、雇用がないと住み続けるのは難しいのだと思います。それでは…。特効薬はなかなか見つかりませんね。でも、錦江町が大好きです。とにかく、イベントを頑張って、交流人口を増やしてください。私もまた行きます。	県内	男	50歳代
自分は生活地域(自宅)が他町にあり、退職後も錦江町に住むことはないのですが、それがなければ住んでみたい町ではあります。若者を呼び込める町であること、雇用が町内の細部までであること、中心部に住んでいなくても、生活できる環境であること(住宅、公共サービス等)	県内	男	50歳代
自然が豊かなので、観光やスポーツイベントに力を入れたら良いと思います。また、飲食店で特色のあるものをアピール(農産物・土産物)して、人の交流が盛んになる様にしたらよいですね。	県内	男	50歳代

自由意見(原文ママ)	地区	性別	年代
県のことを知ってもらうためや、特産品のために東京都などにアンテナショップを作っています。同じように、鹿児島市や鹿屋市街地に錦江町の拠点となるアンテナショップ的なものがあればと思います。それも町の体制ではなく、常にイベント等を仕掛けていく、改める施設が欲しいと考えます。	県内	男	50歳代
スポーツや観光など、ますます人の流れが動く様、頑張ってください。	県内	男	50歳代
首都圏の高齢者を引き受ける政策に立候補する。	県内	男	50歳代
錦江町は自然がいっぱいです。新しい試みもやっています。生涯学習における文化面の遅れが気になります。学校教育では、とてもお金を使って頂いたと思っています。今後の発達を御祈念します。	県内	女	50歳代
若者が希望を持って働ける場があったらいいと思う。	県内	男	60歳以上
学校関係でお世話になりました。学校から様々な要望に対して、適切に対応して頂きました。教育環境に恵まれていました。ただ、児童数の減少は心配です。住宅等の整備が必要だと思います。	県内	男	60歳以上
鹿児島市と錦江町を結ぶ直行船(小型船)土・日だけでも運行し、各イベントを開催したら多くの人が集まると思いますが、寄付を募る等したらいかがでしょうか。	県内	男	60歳以上
あまり参考にならずに、申し訳ありません。錦江町は、本当に良い所でした。行政の皆様、今後も頑張ってください。	県内	男	60歳以上
家を買いたい他家を借りたい人の情報を役場や大手スーパー等の掲示板やネットに掲載してほしい。	県内	女	60歳以上
交通の便利性と働く場所、町の活性化が必要。いかに若者に認知してもらえるかが必要だと思う。	県外	男	20歳代
若者に対する受け入れ、地域レベルでは難しいと考えるので、県として取組を行う。宮崎県の一部地域のように、家を建てるのに大きな補助金等を出す。子育て世代を多く受け入れること。また、鹿屋「やねだん」のように特殊な行政を行い、メディア等の注目を集めることに努めるのもよいかもしれない。	県外	男	20歳代
高齢者が多いので、高齢者が活動できる環境づくりに力を入れてもらいたい。地域住民と気軽に交流できる場所をたくさん作って欲しいです。	県外	女	30歳代
町内に小児科が無いこと、公園が少なすぎる、幼稚園や保育園の園庭開放がないなど、子どもの小さい親には困る事が多々あるので改善してほしいと思いました。	県外	女	40歳代
家族単位、地区・町単位の人とのつながりも必要。道ですれ違う人、お互いが挨拶できる町。病院は、ほとんどが5時までなので、夜間もあれば安心。	県外	女	60歳以上

